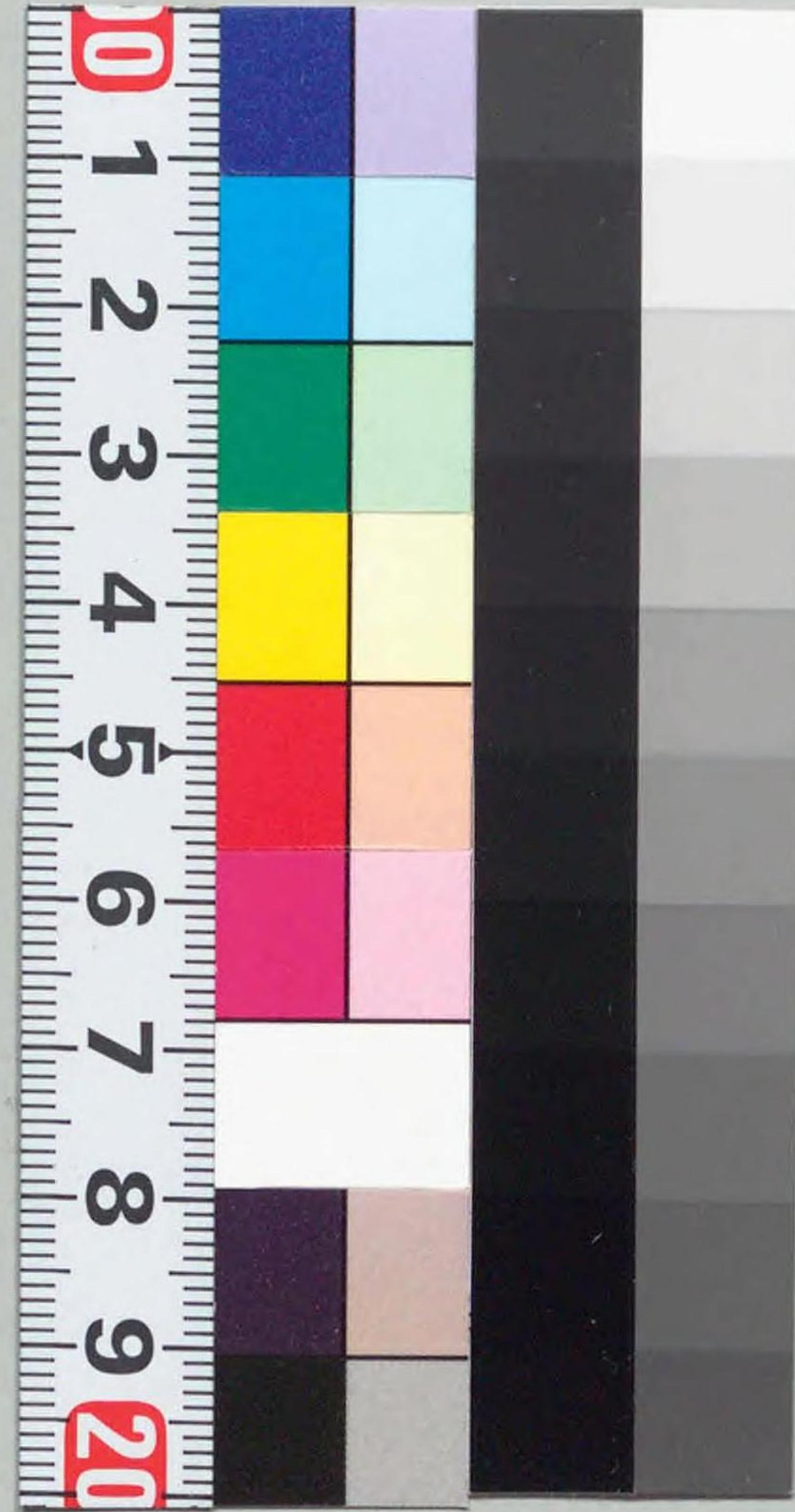
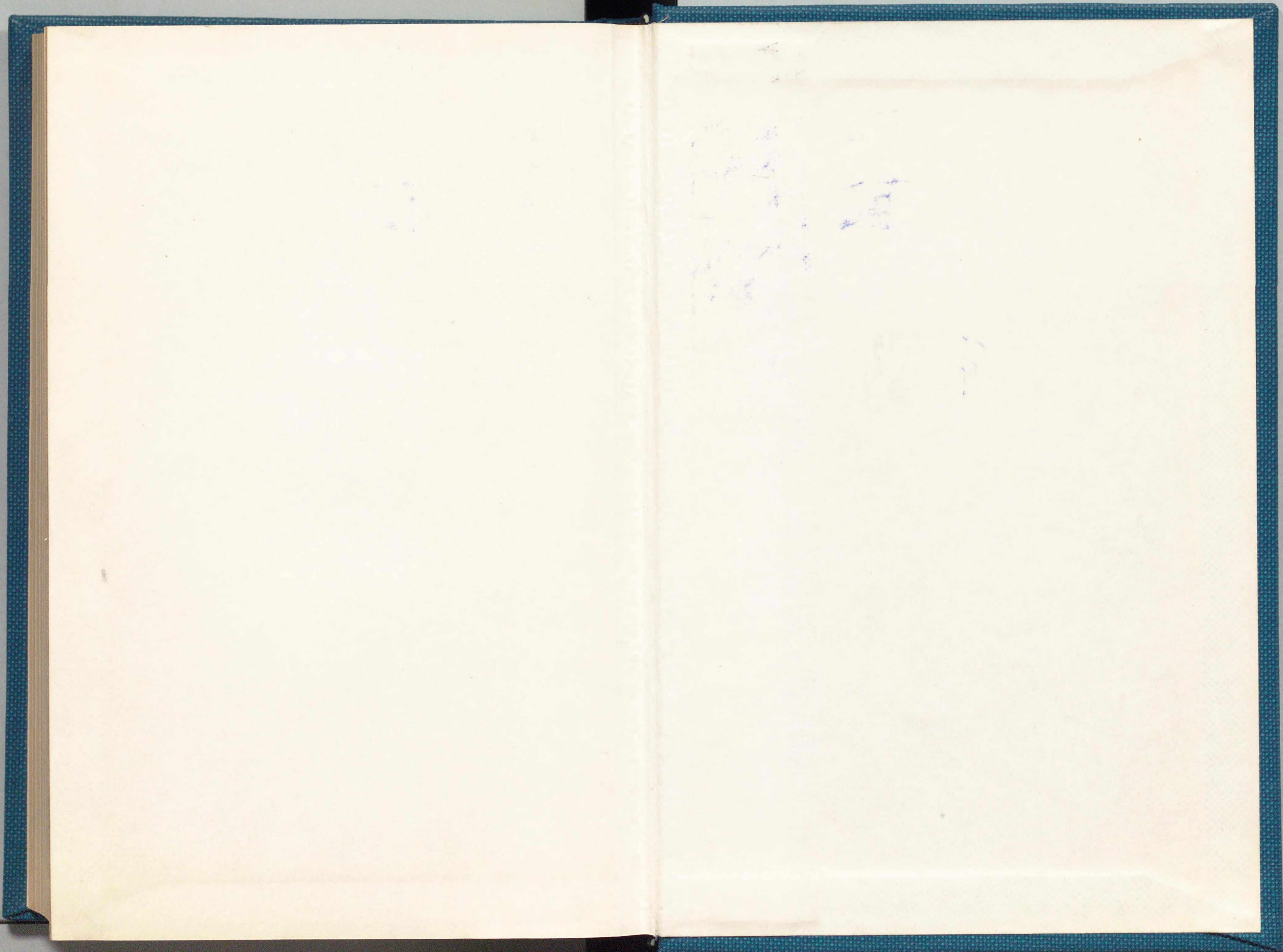


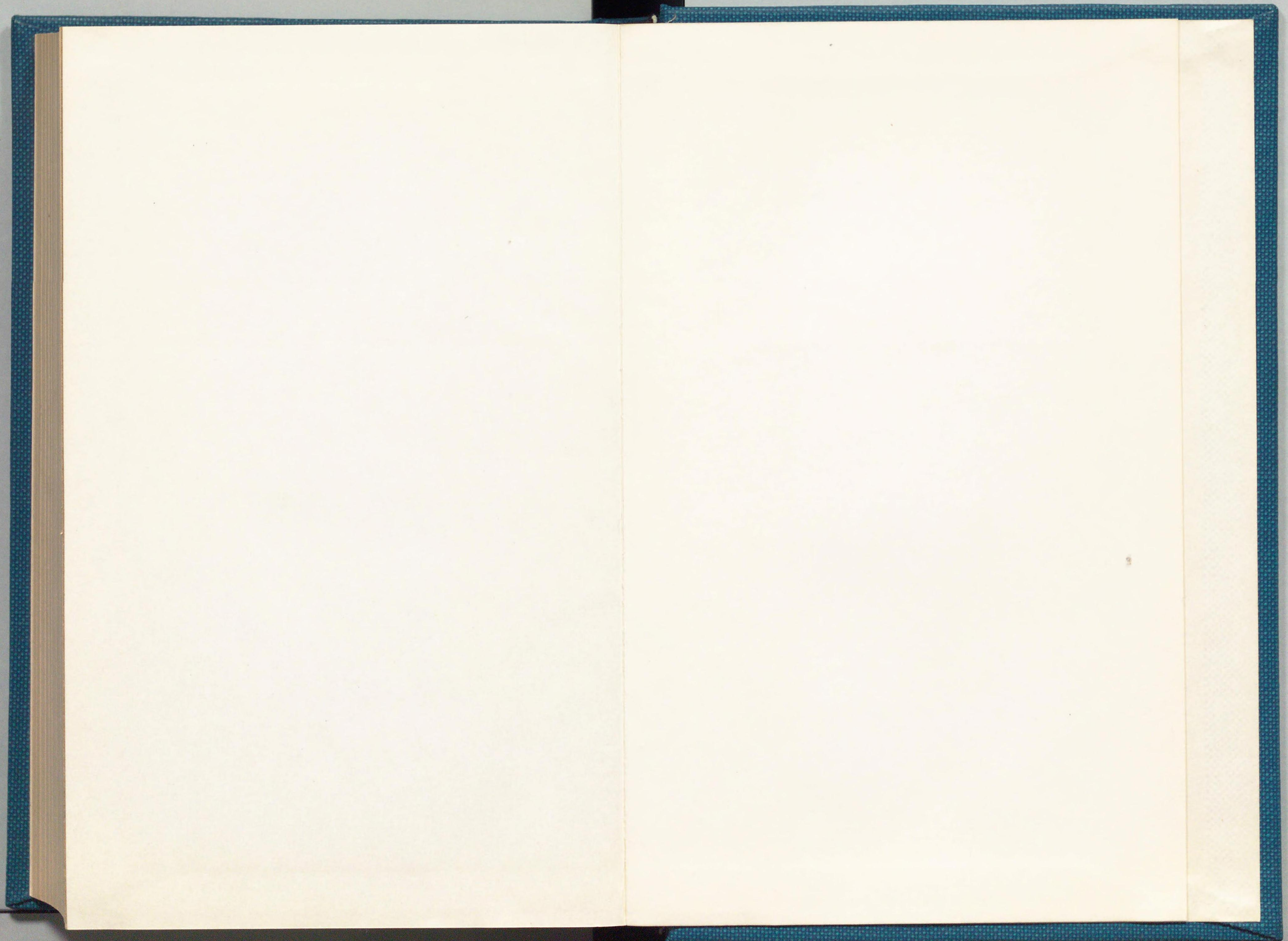
CZ
431
116



00776107







池 A-58

昭和十一年三月

蠶絲業關係法規

農林省蠶絲局



CZ
431
116



776107

正誤表

七	五	三	三	二	一	同	同	同	同	目次	頁
一	三	二	一	四	一	一	一	一	一	一	一
下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下
甲)	稱名	北國	六十二條	讓渡サントスル者	又ハ	七四三	蠶繭	試驗	手續	廢止	誤
(甲)	稱名	北見國	六十二條	讓渡サントスル者	又ハ	七三四	産繭	試驗場	手續	廢止	正

八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	頁
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
一段六目	一段四目	一段八目	一段七目	一段六目	一段三目	一段五目	一段四目	一段七目	一段四目	一段七目	行
Bijanne e ja is doré é fem. jaune	Bigiallo Dora o	Bi jallo	Inrocio c jinese oro No. 201	Croisement chinois é fem. jaune	Croisement japonais é fem. jaune	Tosca o	Sferico roseo a l'avo moro	Jaune Ascoli	Sferico roseo a l'avo moro	Jaune Ascoli	誤
Bijanne chinois doré é fem. jaune	Bigiallo Doraino	Bigiallo	Inrocio chine-oro No. 201	Croisement chinois é fem. jaune	Croisement japonais é fem. jaune	Toscano	Sferico roseo a l'avo moro	Jaune Ascoli	Sferico roseo a l'avo moro	Jaune Ascoli	正

八五	下	一段目	Chinese
八九	上	蠶絲業法施行ニ關スル件	蠶絲業法施行ニ關スル件
九三	下	渡スルコトヲ	渡スコトヲ
一〇六	上	蠶種製造	原種製造
一五一	下	製造業者タラン	製絲業者タラン
一五三	上	設立セントスル	設立セントスル
一五五	上	施行ノ日ハ	施行ノ期日ハ
一五九	上	規定依ニリテ	規定ニ依リテ
一六一	下	理由ヲ	事由ヲ
一六三	下	掲ゲル	掲グル
一七六	下	開クコトヲ	開クコトヲ
一七七	上	面ヲ書	書面ヲ
一七八	上	七第四九九〇號	七蠶第四九九〇號
一八七		ト載スベシト	記載スベシ
		司法省令第二十六條	司法省令第二十六條

一九七	上	一九	其ノ他ノ欄ノ次ニ計
二〇三	下	一六	ノ欄ヲ入レルコト
二一〇	下	一六	取扱生絲ニ
二一〇	上	一三	備ヘザルトモ
二二一	上	一三	製絲ヲ爲ス場合
二二二	上	一三	工場
二二六	下	一二	以テ之ヲ定ム
二二八	下	一〇	改選ス
二四一	上	一二	蠶絲局第
二四四	下	一二	場所
二四六	上	一二	指令
二五二	下	一九	融資補審査會
二五四	下	六	付スルコトヲ得
二五九	上	二四	指令
二六四	下	一一	成年者
二六五	下	五	一年間
二六八	下	五	在ニ

二七九	上	一二	ハ之ヲ以テ
二八〇	上	五	最大、差検査
二八二	下	六	指揮
三三一	下	一二	検査定所
三三四	上	二	重量止合
同	上	一	一粒ニ、スル
同	下	一六	控、シタル
同	下	二一	二區ヲ分チテ
三四〇	上	二〇	今般御場
三五一	下	三	昭和四年七月
三五六	下	八	三月、日附
三七三	下	四	抄カラズ、産業組合
三七四	下	一九	左ノ事項ヲ
三七七	上	一九	明記スルニト
三七九	上	一七	産額
四〇〇	下	九	第一二四八號

四二二	上	三	三行四行及五行ヲ削除
四二〇	上	三	建物關係
四二四	上	二、三、四	圖及點線
四二六	上	二	員數
同	上	六	設備標準
四二七	上	一三	生絲検査用
四五一	上	九	職合
四五八	上	五	満了シタル
四六六	上	一七	通常總會臨時總會
四六九	下	二〇	検査スルニトヲ得
四七〇	下	一七	關スル規程ハ
四七二	上	一二	蠶絲、組合
四七二	上	一	財産ノ收況
四七二	上	六	招集セント
四七三	下	八	出納閉鎖期
四七四	下	六	蠶絲業法、組合

四七七	上	二	スルコトヲ得
四八九	上	八	生絲取引
四九二	上	一四	限ル
四九四	下	一二	收支豫算
四九六	下	四	收支豫算
四九六	下	五	基本財産
四九九	下	一八	信託預金
四九九	下	二〇	基本財産
五〇〇	下	九	半額ヲ減ジ
五一〇	上	一六	セントスルモノ
五一二	上	一一	爲サザル
五一五	上	二〇	徽章
五一五	下	一四	必要ト認メタル
五一八	下	八	補佐
五二五	上	一〇	選任セラレ
五二六	下	七	併託金

五二八	上	二	スリコトヲ得
五二八	上	一四	責ノ任セス
五二八	下	二一	受寄者カ
五三〇	上	一一	其ノ貨物ニ何
五三〇	下	五	ニトキハ
五三〇	下	九	ルモノトス
五四〇	下	一三	第四十條
五四一	下	一八	品號ニ應ジ
五四三	下	一七	組合ハ
五四八	下	九	定ムルコトヲ得
五五二	下	七	中魚沼郡
五七四	上	二一	關スル
五七六	下	一三	技師
五七八	上	七	種牡馬
五七八	下	五	産蠶處理
五八〇	上	九	專任一人

五八〇	下	七	原蠶種營
五八三	上	二	受タル
五八四	上	二	關セザル
五八四	下	二〇	關スル
五九三	下	三	進スル件
五九八	上	一二	林野存廢區別
五九八	上	一四	農業豫定案
五九八	上	二〇	總調査括表
六一六	上	二〇	規定ニ依ル
六一六	下	一七	退脱
六一七	下	一六	保證組合責任
六二七	上	六	區域ニ
六二九	上	一一	條四十條
六三〇	上	一五	産業報告書
六三一	下	一五	條十六條ノ二
六三二	上	一八	市制第六條

六三六	下	二	ノ目的
六三七	下	三	本決施行
六四〇	下	八	在リテハ
六四一	上	一二	倉庫業者タリ
六七九	上	五	其ノ會員
六八三	下	九	除
六八四	下	六	居住
六九一	上	三	第三項
七〇〇	下	二	組合
七七〇	上	三	命ズ
七九三	上	一六	長可
七九八	下	一三	地第
八一	下	一六	定ム
八四八	上	二	處理

六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇

六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇

六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇

六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇

六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇

六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇

六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇

六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇
六三〇

蠶絲業關係法規

蠶絲業關係法規目次

蠶絲業關係法規目次

第一編 蠶絲業法規

一 蠶絲業法關係法規

蠶絲業法(法律) 三

蠶絲業法施行期日ノ件(勅令) 五

蠶種検査手數料ニ關スル件(勅令) 一〇

蠶種検査手數料ニ關スル件(通牒) 二

蠶種検査手數料ニ關スル件(勅令) 二

蠶絲業法施行規則(農林省令) 二

道府縣蠶絲業法施行手續標準 三

蠶業取締所規程(農商務省令) 三

蠶絲業法施行心得(告示) 六

蠶絲業法施行事務取扱規程(訓令) 六

蠶絲業法施行事務取扱ニ關スル件(通牒) 七

蠶絲業法施行事務ニ關スル内訓廢止ノ件(通牒) 七

蠶絲業法施行規則第三百三條ノ蠶業試驗場成績報告ニ關スル件(通牒)	七六
蠶絲業法施行規則第七十四條ノ專任職員ノ資格並同則第三百三條ノ成績報告ニ關スル件(通牒)	七六
文部省直轄學校ヨリ配付スヘキ蠶種ノ件(通牒)	七九
蠶絲業法ニ關スル違反事件報告ノ件(注意事項)	八〇
蠶絲業法施行ニ關スル吏員ノ件(内訓)	八〇
蠶絲業法施行ニ關スル吏員設置ノ件(通牒)	八一
蠶病豫防事務ノ爲地方ニ配置シタル技師及技手ノ件(通牒)	八一
蠶絲業法施行規則第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行フ蠶種ニ關スル検査ニ従事スル者及蠶種検査ノ管理者ノ資格ニ關スル件(告示)	八二
蠶絲業法施行規則第八條ノ解釋ニ關スル件(通牒)	八二
移輸入蠶種ノ品種名記載例(通牒)	八三
蠶品種名ニ關スル件(通牒)	八六
蠶品種名整理統一ニ關スル件(通牒)	八七
蠶ノ新品種性狀報告ニ關スル件(通牒)	八七
地方蠶業試驗場配付新品種ノ打合せニ關スル件(通牒)	八八
蠶絲業法施行ニ關スル件(通牒)	八九
蠶兒飼育場所ニ關スル件(注意事項)	八九
移輸入蠶種ノ検査ニ關スル件(申進)	八九
繭及蠶種ノ検査許可ニ關スル件(通牒)	九〇
蠶種製造取締ニ關スル件(通牒)	九四
蠶蛆ノ豫防驅除ニ關スル件(通牒)	九四
昇汞水及格魯兒石灰水ヲ蠶室及蠶具ノ消毒ニ使用スル場合ニ於ケル注意ノ件(通牒)	九四
昇汞及鹽酸販賣ニ關スル件	九五
二 原蠶種管理法關係法規	九七
原蠶種管理法(法律)	九九
原蠶種管理法施行期日ノ件(勅令)	一〇二
原蠶種管理法施行規則(農林省令)	一〇二
原蠶種管理法施行ニ關スル件(通牒)	一一一
蠶種ノ輸移出入許可ニ關スル件	一一五
蠶種ノ輸出入許可ニ關スル件	一一六
三 蠶絲業組合法關係法規	一一七
蠶絲業組合法(法律)	一一九
蠶絲業組合法施行期日ノ件(勅令)	一二九
蠶絲業組合法施行令(勅令)	一二九

蠶絲業組合法施行規則(農林省令) 一三一

養蠶實行組合及農事實行組合登記取扱手續(司法省令) 一三九

養蠶實行組合解散ノ場合ノ公示ニ關スル件(通牒) 一四〇

養蠶實行組合解散届出報告ニ關スル件(通牒) 一四〇

蠶絲業組合ノ役員ノ選任ニ關スル件(通牒) 一四九

四 製絲業法關係法規

製絲業法 (法律) 一五一

民法中準用條文 一五五

非訟事件手續法中準用條文 一五七

産業組合法中準用條文 一六三

登録稅法抄 一六六

日本勸業銀行法抄 一六六

農工銀行法抄 一六九

北海道拓殖銀行法抄 一六九

製絲業法施行規則(農林省令) 一六九

生絲共同施設組合登記取扱手續(司法省令) 一七六

製絲業法施行ニ關スル件(次官通牒) 一七六

製絲業法施行ニ關スル件(通牒) 一七六

製絲業法施行ニ關スル件(通牒) 一八七

製絲業法施行ニ關スル件(通牒) 二〇九

製絲業法施行規則第九條ニ依ル事業概況書ニ關スル件(通牒) 二〇九

製絲業法施行ニ關スル件(通牒) 二〇九

製絲業法施行ニ關スル件(通牒) 二一〇

製絲業法施行ニ關スル件(地方蠶絲業關係
官會議注意事項) 二一〇

生絲共同施設組合ニ關スル件(通牒) 二二三

生絲共同施設組合法定款例 二二三

製絲業共同施設獎勵規則(農林省令) 二二六

製絲業共同施設獎勵ニ關スル件(次官通牒) 二三〇

製絲業共同施設獎勵規則ニ依ル様式ニ關スル件(通牒) 二三三

製絲業共同施設獎勵ニ關スル件(通牒) 二四一

製絲業共同施設ノ獎勵方針ニ關スル件(地方蠶絲業關係
官會議注意事項) 二四二

附 錄

施行規則第十條ニ依ル諸届書様式 二四三

五 絲價安定融資補償法關係法規

絲價安定融資補償法(法律) 二四九

絲價安定融資補償法施行期日(勅令) 二五二

六 輸出生絲取引法關係法規

- 輸出生絲取引法(法律) 二六三
- 輸出生絲取引法施行期日ノ件(勅令) 二六五
- 輸出生絲取引法施行規則(農林省令) 二六五
- 輸出生絲取引法第一條第二項及第二條ノ地指定ノ件(農林省告示) 二六八
- 輸出生絲登錄令(勅令) 二六八
- 臨時輸出生絲登錄所設置ニ關スル件(勅令) 二六九
- 輸出生絲登錄所ノ名稱及位置ノ件(農林省告示) 二七〇

七 輸出生絲檢查法並ニ生絲檢查所關係法規

- 輸出生絲檢查法(法律) 二七七
- 輸出生絲檢查法施行期日ノ件(勅令) 二七八
- 輸出生絲檢查法施行規則(農林省令) 二七八
- 生絲檢查手數料令(勅令) 二九六
- 輸出生絲檢查法第二條第二項ノ地指定ノ件(告示) 二九六
- 生絲檢查所ノ名稱及位置(告示) 二九六
- 生絲檢查所官制(勅令) 二九七
- 生絲檢查所檢查及鑑定規則(農林省令) 二九八
- 生絲檢查所檢查及鑑定手數料規則(農林省令) 三〇〇
- 生絲檢查所處務規程(訓令) 三〇一
- 檢查受付時間(橫濱、神戸兩生絲檢查所) 三〇二
- 檢查鑑定依頼書書式(橫濱、神戸兩生絲檢查所) 三〇二
- 生絲整理法講習規定(橫濱生絲檢查所) 三〇三
- 生絲整理法講習規定(神戸生絲檢查所) 三〇五
- 地方生絲檢查所規程(農商務省令) 三〇七

八 蠶業試驗場及繭檢定所關係法規

- 蠶業試驗場官制(勅令) 三一〇
- 蠶業試驗場ノ位置並ニ支場及出張所ノ位置及名稱(告示) 三一三

蠶業試驗場附屬飼育所及附屬桑園ノ位置及名稱(告示) 三二二

蠶業試驗場處務規程(訓令) 三二三

蠶業試驗場處務細則(達) 三二三

蠶業試驗場支場處務規程(達) 三二六

蠶業試驗場桑ノ接穗及苗木配付規程(告示) 三二七

蠶業試驗場蠶種配付規程(告示) 三二八

蠶業試驗場配付蠶種品種名、其ノ組合セ及價格(告示) 三二九

蠶業試驗場煮繭分業沈繰法講習規程(內規) 三三〇

蠶業試驗場分折手數料ノ件(勅令) 三三三

蠶業試驗ニ於テ分折ノ依頼ニ應スル件(告示) 三三四

蠶業試驗場ニ分折依頼者心得(告示) 三三四

蠶業試驗場依頼分折事務取扱心得(達) 三三五

道府縣蠶業試驗場規程(農商務省令) 三三九

道府縣蠶業試驗場規程公布ノ件(通牒) 三三一

道府縣繭檢定所規程(農林省令) 三三一

繭檢定規程標準(通牒) 三三二

繭檢定講習規程 三三九

九 海外生絲市場調查事務所關係法規 三四一

臨時海外生絲市場調查事務所設置ニ關スル件(勅令) 三四三

海外生絲市場調查事務所長委任事務規程 三四三

海外生絲市場調查事務所ノ名稱及位置(告示) 三四四

第一編 蠶絲業獎勵規則

一 蠶絲業改良獎勵關係規則 三四七

蠶病豫防費國庫補助規則(農商務省令) 三四九

蠶業取締所設備費ニ對スル國庫補助ノ件(通牒) 三四九

蠶絲業改良獎勵費交付規則(農商務省令) 三五〇

繭質改良獎勵費國庫補助ノ件(通牒) 三五五

蠶絲業改良獎勵費國庫補助ニ關スル件(通牒) 三五五

蠶絲業改良獎勵費國庫補助ニ關スル件(通牒) 三五六

蠶絲業改良獎勵費國庫補助ニ關スル件(通牒) 三五六

蠶絲業改良獎勵費交付規則ニ關スル件(通牒) 三五六

稚蠶共同桑園設置獎勵規則(農林省令) 三五八

夏秋蠶稚蠶共同桑園設置獎勵ニ關スル件(通牒) 三六二

雪害地桑苗圃設置獎勵ニ關スル件(次官通牒) 三六三

稚蠶共同飼育所設置獎勵規則(農林省令) 三六五

二 產繭處理改善助成關係規則

 稚蠶共同飼育所設置獎勵規則ニ關スル件(通牒) 三六八

 產繭處理改善助成規則(農林省令) 三六九

 產繭處理改善助成ニ關スル件(通牒) 三七一

 產繭處理改善助成ニ關スル件(通牒) 三七三

 產繭處理改善助成規則ニ依ル提出書類ノ様式ニ關スル件(通牒) 三七六

 乾繭販賣利用組合定款及業務執行ニ關スル規定變更認可ニ關スル件(通牒) 四〇〇

 共同繭倉庫及共同乾繭所事業報告ニ關スル件(通牒) 四〇〇

 共同繭倉庫及共同乾繭所事業報告ニ關スル件(通牒) 四〇〇

 乾繭販賣組合ト製絲販賣組合ニ關スル件(通牒) 四〇二

 共同繭倉庫ニ製絲事業ヲ認ムルノ件(通牒) 四〇二

 府縣蠶繭處理指導職員設置助成ノ件(次官通牒) 四〇三

 府縣產繭處理指導職員設置助成ノ件(通牒) 四〇三

三 繭檢定事業助成關係規則

 繭檢定事業助成要項(通牒) 四一五

 繭檢定所設備標準(通牒) 四一七

 繭檢定所設備標準(通牒) 四二六

 標準圖面 四二九

 繭檢定所圖面及仕様書作成ニ關スル件(通牒) 四三三

 繭格付研究助成關係規則 四三五

 繭格付研究助成要項(通牒) 四三七

 繭格付研究助成ニ關スル件(通牒) 四三七

四 繭格付研究助成關係規則 四三五

第二編 主要關係團體定款並ニ諸規程

一 蠶絲業組合法ニ依ル團體

 全國養蠶業組合聯合會會則 四四三

 全國養蠶業組合聯合會會則 四四五

 全國蠶種業組合聯合會會則 四五一

 全國產業組合製絲組合聯合會會則 四五七

 全國製絲業組合聯合會會則 四六二

 橫濱生絲問屋業組合定款 四六九

 神戸生絲問屋業組合定款 四七四

 橫濱生絲輸出業組合定款 四八一

 神戸生絲輸出業組合定款 四八六

 日本中央蠶絲會會則 四九二

 日本中央蠶絲會總會議事規程 四九七

 日本中央蠶絲會紛議調停並ニ仲裁規程 四九八

 日本中央蠶絲會基本財産造成管理規程 四九九

 日本中央蠶絲會俵給旅費支給規程 五〇〇

二 民法ニ依ル團體	五〇五
社團又ハ財團法人設立ノ件(農省務省令)	五〇七
社團法人帝國蠶絲組合定款	五〇七
帝國蠶絲組合出資金徵收ニ關スル要綱	五一一
帝國蠶絲組合出資金取扱細則	五一二
社團法人大日本蠶絲會定款	五一四
社團法人日本蠶絲學會定款	五一六
三 商法ニ依ル團體	五二一
帝國蠶絲倉庫株式會社定款	五二三
帝國蠶絲倉庫株式會社營業規則	五二五
帝國蠶絲株式會社定款	五三一
四 産業組合法ニ依ル團體	五三五
有限責任大日本生絲販賣組合聯合會定款	五三七
保證責任全國乾繭販賣購賣組合聯合會定款	五四三
五 生絲取引規約	五五五
輸出生絲賣買取引規約	五五七
生絲取引仲裁規則	五六〇
生絲賣込問屋取扱規約	五六三

第四編 關係諸法規

一 官 規	五六九
農林省官制(勅令)	五七一
農林部內臨時職員設置制(勅令)	五七二
臨時農林省ニ經濟更生部ヲ設置スルノ件(勅令)	五八一
農林省分課規程	五八三
次官專決事項及局長部長官房各課長委任事項	五九〇
場所長委任事務規程	六〇四
二 産業組合法關係法規	六〇七
産業組合法(法律)	六〇九
産業組合法施行規則(農商務省令)	六二六
農業倉庫業法(法律)	六三三
農業倉庫業法施行規則(農商務省令)	六三七
産業組合中央金庫法(法律)	六四一
産業組合中央金庫法施行規則(農商務省令)	六四六
産業組合及産業組合聯合會取扱心得	六四七
三 農會法關係法規	六七五

農會法(法律)	六七七
農會法施行期日ノ件(勅令)	六八三
農會法中改正法律施行期日ノ件	六八三
農會法施行規則(農商務省令)	六八四
四 重要物産同業組合法關係法規	六九三
重要物産同業組合法(法律)	六九五
重要物産同業組合法施行規則(農商務省令)	六九八
重要物産同業組合法第十條ノ四第三項ノ規定ニ依ル重要輸出品ノ種類(告示)	七〇五
重要物産同業組合及同聯合會ノ取扱ニ關スル件(通牒)	七〇五
同業組合準則(達)	七二七
五 工場法關係法規	七二九
工場法(法律)	七三一
工場法施行令(勅令)	七三四
工場法施行規則(農商務省令)	七四三
工場附屬寄宿舎規則(內務省令)	七四八
工場危害豫防及衛生規則(內務省令)	七五一
工業労働者最低年齢法(法律)	七五六
工業労働者最低年齢法施行規則(內務省令)	七五七
労働者募集取締令(內務省令)	七五八
六 工業組合法關係法規	七六七
工業組合法(法律)	七六九
重要輸出品工業組合法施行期日ノ件(勅令)	七七六
重要輸出品工業組合法中改正法律施行期日ノ件(勅令)	七七八
工業組合法施行規則(商工省令)	七七八
工業組合法第一條第二項ノ規定ニ依ル重要工業品指定告示(告示)	七八三
工業組合法第九條第二項ノ規定ニ依ル重要輸出品指定告示(告示)	七八四
七 輸出組合法關係法規	七八五
輸出組合法(法律)	七八七
輸出組合法施行期日ノ件(勅令)	七九五
輸出組合法中改正法律施行期日ノ件(勅令)	七九五
輸出組合法中改正法律施行期日ノ件(勅令)	七九五
輸出組合法施行規則(商工省令)	七九五
輸出組合法ノ規定ニ依ル重要輸出品指定告示(告示)	八〇〇
八 商業組合法關係法規	八〇一
商業組合法(法律)	八〇三

九

其ノ他關係法規

商業組合法施行期日ノ件(勅令) 八二〇

商業組合法施行規則(商工省令) 八二〇

重要産業ノ統制ニ關スル法律 八二七

昭和六年法律第四十號施行ニ關スル件(商工、農林、遞信省令) 八二八

統制委員會官制(勅令) 八二九

昭和六年法律第四十號第一號第二項ノ規定ニ依ル産業ノ種類(商工省告示) 八三〇

間接國稅犯則者處分法(法律) 八三一

間接國稅犯則者處分法施行規則(勅令) 八三三

法人ニ於テ租稅ニ關シ事犯アリタル場合ニ關スル法律(法律) 八三五

道府縣手数料令(勅令) 八三五

重要物産ノ檢査手数料ニ關スル件(農商務省令) 八三六

重要物産ノ檢査ニ關スル取扱方ノ件(通牒) 八三九

預金部普通地方資金融通規則(大藏省令) 八三九

預金部普通地方資金融通規則實施取扱規程(通牒) 八三六

附 錄

蠶絲業法中改正法律案 八四一

蠶絲業組合法中改正法律案 八四四

產繭處理統制法案 八四八

追 補

養蠶實行組合指導員設置助成規則 八四九

第一編 蠶絲業法規

蠶絲業法規

一 蠶絲業法規

蠶絲業法

明治四十四年三月法律第四十七號
改正昭和四年三月法律第十六號
改正昭和六年三月法律第十八號
改正昭和九年三月法律第二十五號(一部施行)

- 第一條 本法ニ於テ蠶絲業者ト稱スルハ養蠶、蠶種製造、生絲製造、眞綿製造、殺蛹乾繭又ハ蠶種、繭、生絲、屑物類ノ賣買、仲立若ハ保管ヲ業トスル者ヲ謂フ
- 第二條 本法ニ於テ蠶種製造者ト稱スルハ府縣ヲ除クノ外他人ニ讓渡スノ目的ヲ以テ蠶種ヲ製造スル者ヲ謂フ
- 第三條 本法ニ於テ蠶病ト稱スルハ微粒子病、軟化病、硬化病、膿病及蠶蛆病ヲ謂フ
- 第四條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ病蠶及斃蠶ノ病原微生物並蠶蛆及其ノ蛹、蠶ヲ滅殺シ其ノ他蠶病豫防ノ爲必要ナル施設ヲ爲スヘシ
- 第五條 主務大臣ハ學術研究ノ爲蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニ對シ前項ノ規定ヲ適用セサルコトヲ得
- 第六條 蠶種製造者タラムトスル者ハ地方長官ノ免許ヲ受クヘシ
- 第七條 蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶室及蠶具ノ消毒ヲ行フヘシ

蠶絲業法

第七條 蠶種製造者ハ原蠶種ヨリ産出シタル繭ヲ用ウルニ非サレハ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス(大正六年法律第十

六號本條改正)

第八條 削除(大正六年法律第十六號本條削除)

第九條 蠶種製造者ハ現ニ普通蠶種ノ蠶兒ノ掃立又ハ其ノ飼育ヲ爲ス建物内ニ於テ蠶種製造用蠶兒ノ掃立ヨリ蠶種ノ製造ヲ終ル迄ノ作業ヲ爲スコトヲ得ス(昭和四年法律

第十八號第二項削除)

第十條 府縣及原蠶種管理法第九條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者原蠶種ヲ製造セントスルトキハ一蛾別ニ産卵セシムベシ(昭和四年法律第十八號本條改正)

第十一條 蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶種ノ製造ニ用フル繭ノ検査ヲ受クベシ

蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ母蛾ニ付蠶種ノ検査ヲ受クベシ

前項ノ検査ハ普通蠶種ニ在リテハ掃立口毎ノ歩合検査トシ蠶種製造者ハ歩合検査ニ合格セザル普通蠶種ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ再検査ヲ受クルコトヲ得(昭和四年法律第十八號本條改正)

第十一條ノ二 蠶種業組合、同業組合、同業組合聯合會又ハ蠶種製造者ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ前條ノ検査ニ代ヘ組

蠶絲業法關係法規

合員、所屬組合ノ組合員又ハ自己ノ製造スル蠶種ニ關シ
検査ヲ行フコトヲ得(昭和六年法律第二十五號本項改正)
前項ノ検査ニ關スル方法ハ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ
(昭和四年法律第十八號本條追加)
府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ自己ノ製造スル蠶種ニ關シ
検査ヲ行フベシ

第十二條 主務大臣ハ第十一條ノ規定ニ拘ラス學校、講習
所、試験場等ニ於テ製造シタル蠶種及第十七條ノ検査ニ
合格シタル蠶種ヲ原蠶種又ハ普通蠶種ト指定スルコトヲ
得(大正六年法律第十六號及昭和四年法律第十八號本條
改正)

第十三條 地方長官ハ第十一條及第十七條ノ検査ニ合格シ
タル蠶種ニハ證明ヲ捺捺シ其ノ検査ニ合格セザル蠶種ハ
之ヲ燒棄スヘシ但シ第十一條ノ歩合検査ニ合格セザル蠶
種ニ付テハ地方長官ノ定ムル期間内ニ同條第四項ノ規定
ニ依ル検査ノ請求ナキトキハ其ノ期間ヲ經過シタル後之
ヲ燒棄スヘシ(大正六年法律第十六號及昭和四年法律第
十八號本項改正)

第十一條ノ二ノ規定ニ依リ蠶種ニ關スル検査ヲ行フ者ハ
其ノ検査ニ合格シタル蠶種ニハ證明ヲ捺捺シ其ノ検査ニ
合格セザル蠶種ハ之ヲ燒棄スベシ(昭和四年法律第十八

正六年法律第十六號本條改正)

第十八條 主務大臣必要ト認ムルトキハ原蠶種ノ製造若ハ
其ノ讓渡讓受又ハ原蠶種ノ種類ヲ制限スルコトヲ得
主務大臣ハ地方特別ノ狀況ニ依リ地方長官ヲシテ前項ノ
制限ヲ爲サシムルコトヲ得

第十九條 主務大臣又ハ地方長官ハ桑苗ノ仕立、繭ノ乾燥、
蠶絲類ノ検査若ハ賣買又ハ桑苗、蠶種若ハ繭ノ賣買若ハ
取引市場ニ關シ取締上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得但
シ地方長官ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス(大正
六年法律第十六號及昭和四年法律第十八號本條改正)

第二十條 蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ關シ取締上必要ナル事項
ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム(大正六年法律第十六號本條改正)
第二十一條 削除(大正六年法律第十六號本條削除)
第二十二條 府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第十一條及第十
七條ノ検査其ノ他蠶病豫防ノ爲必要ナル吏員ヲ置クヘシ
(大正六年法律第十六號本條改正)

第二十三條 削除(大正六年法律第十六號本條削除)
第二十四條 第五條、第七條、第九條乃至第十一條、第十
七條及第三十八條乃至第四十一條ノ規定ハ府縣ニ之ヲ適
用セス(大正六年法律第十六號本條改正)
第二十五條 地方長官必要ト認ムルトキハ野蠶ノ飼育、採

蠶絲業法

號本項追加)

第十四條 検査合格ノ證明ナキ蠶種及其ノ蠶兒ハ之ヲ讓渡
シ又ハ飼育スルコトヲ得ス但シ第十二條ノ規定ニ依リ指
定セラレタル蠶種及其ノ蠶兒ハ此ノ限ニ在ラス(大正六
年法律第十六號本條改正)

第十五條 地方長官ハ錯誤ニ依リ又ハ不法ニ捺捺セラレタ
ル検査合格ノ證明ヲ發見シタルトキハ遲滯ナク之ヲ抹消
スヘシ
第十六條 蠶種製造者ニ非サル者ハ蠶種ヲ製造スルコトヲ
得ス

學術研究ノ爲ニスル場合ニ於テハ主務大臣ノ許可ヲ受ケ
第十四條及前項ノ規定ニ拘ラス蠶種ノ製造又ハ蠶兒ノ飼
育ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依
リ本法中蠶種製造者ニ關スル規定ノ全部又ハ一部ヲ準用
スルコトヲ得(大正六年法律第十六號本條改正)

第十七條 本法ヲ施行セザル地又ハ外國ニ於テ製造シタル
蠶種ヲ移入又ハ輸入シタル者ハ其ノ蠶種ニ對シ母蛾又ハ
卵ニ付検査ヲ受クヘシ但シ前條第二項ノ規定ニ依リ許可
ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラス

移入又ハ輸入前官署公署ノ證明ヲ得タル蠶種ニ對シテハ
前項ノ検査ニ代ヘ其ノ證明ニ付検査ヲ爲スコトヲ得(大
種又ハ野蠶生繭ノ取扱ヲ業トスル者ニ第四條第一項ノ規
定ヲ準用スルコトヲ得

第二十六條 第十一條及第十七條ノ検査其ノ他蠶病豫防ニ
關シ必要ナル費用ハ府縣ノ負擔トス但シ國庫ハ其ノ半額
以內ヲ補助スルコトヲ得(大正六年法律第十六號本條改
正)

第二十七條 府縣ハ第十一條第四項ノ検査ヲ受ケタル蠶種
ニ對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ検査手数料ヲ徵收スル
コトヲ得(大正六年法律第十六號及昭和四年法律第十八
號本條改正)

第二十八條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ設
置ニ付テハ重要物産同業組合法第三條及第四條ノ規定ヲ
準用ス
第二十九條乃至第三十四條 削除(昭和六年法律第二十五
號各條削除)

第三十五條 當該官吏吏員ハ蠶病若ハ桑ノ病蟲害ノ豫防、
繭ノ乾燥又ハ蠶絲類ノ検査若ハ賣買ニ關シ蠶種、繭、桑
苗又ハ蠶絲類ノ取扱ヲ爲ス者ノ店舗、倉庫、製造場、飼
育場、検査場、乾燥場、圃場等ニ臨檢シ物品及帳簿其ノ
他ノ書類ヲ調査シ又ハ必要ナル分量ニ限り無償ニテ物品
ヲ收去スルコトヲ得(大正六年法律第十六號及昭和四年

法律第十八號本項改正)

主務大臣又ハ地方長官本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲アリト認ムルトキハ當該官吏更員ヲシテ前項ニ掲ケタル場所ニ臨檢シ被疑者若ハ參考人ヲ尋問シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件、帳簿、書類ヲ搜索シ若ハ之カ差押ヲ爲サシムルコトヲ得(昭和四年法律第十八號本項改正)

臨檢、尋問、搜索又ハ差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス

第三十五條ノ二 行政官廳ハ蠶種業組合、同業組合、同業組合聯合會又ハ蠶種製造者ガ第十一條ノ二ノ規定ニ依リ行フ検査ニ關シ検査ノ補正ヲ爲サシメ合格ノ決定ヲ取消シ證印ノ抹消ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得(昭和四年法律第十八號本條追加昭和六年法律第二十五號本條改正)

第三十六條 當該官吏更員又ハ蠶種業組合、同業組合若ハ同業組合聯合會ノ検査員ハ自己、親族又ハ同居者ニ對シ第十一條、第十一條ノ二及第十七條ノ検査ヲ爲スコトヲ得ス(昭和四年法律第十八號及同六年法律第二十五號本條改正)

第三十七條 蠶絲業者ノ所爲ニシテ本法若ハ原蠶種管理法

金ニ處ス

一 免許ヲ受ケスシテ他人ニ讓渡スノ目的ヲ以テ蠶種ヲ製造シタル者

二 第四條第一項又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者

三 第七條ノ規定ニ違反シタル者(大正六年法律第十六號本號改正)

第四十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ貳百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第九條ノ規定ニ違反シタル者(大正六年法律第十六號本號改正)

二 第十六條第一項ノ規定ニ違反シタル者

第四十一條 第三十七條ノ二、第三十八條、第三十九條第一號第三號又ハ前條第二號ノ犯罪ニ係ル蠶種、蠶兒又ハ繭ハ之ヲ沒收シ既ニ讓渡シタル場合ニ於テハ其ノ價額ヲ追徵ス(大正六年法律第十六號及昭和四年法律第十八號本項改正)

前項ノ蠶種又ハ蠶兒犯人以外ノ者ニ屬スルトキハ行政官廳ノ處分ヲ以テ之ヲ沒收スルコトヲ得

第四十二條 第三十五條ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ妨ケタル者又ハ臨檢ノ際當該官吏更員ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲ササル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

又ハ之ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ地方長官ハ其ノ業務ヲ停止シ若ハ制限シ又ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得(昭和九年法律第二十五號本項改正)

前項ノ處分ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得其ノ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十七條ノ二 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス(昭和四年法律第十八號本條追加)

一 第十一條ノ二第二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル方法ニ違反シテ検査ヲ行ヒタル者

二 第十三條第二項ノ規定ニ違反シテ蠶種ヲ燒棄セザル者

第三十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 詐欺ノ所爲ヲ以テ第十一條、第十一條ノ二又ハ第十七條ノ検査ヲ受ケタル者(昭和四年法律第十八號本號改正)

二 第十四條ノ規定ニ違反シタル者(大正六年法律第十六號本號改正)

第三十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ參百圓以下ノ罰

第四十三條 蠶絲業者未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本

法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十四條 蠶絲業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得但シ相當ノ注意ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十五條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

第四十六條 本法中府縣ニ關スル規定ハ北海道ニ於テハ北海道地方費ニ之ヲ準用ス

附 則 (明治四十四年法律第四十七號)

第四十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
蠶病豫防法ハ之ヲ廢止ス
第四十八條 本法ハ命令ヲ以テ指定スル地域ニ之ヲ施行セス(昭和四年法律第十八號本項改正)

本法ヲ施行セザル地域ガ本法ヲ施行スル地域ト爲リタル際ニ於ケル必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和四年法律第十八號本項追加)

蠶絲業法關係法規

第四十九條 蠶病豫防法ニ依ル検査合格ノ證印ハ之ヲ本法

ニ依ル検査合格ノ證印ト看做ス

第五十條 蠶病豫防法ニ依リ検査ニ合格シタル原種ハ之ヲ特別蠶種ト看做ス

第五十一條 本法施行前製造シタル自家用蠶種ノ蠶兒ハ本法施行後ト雖之ヲ飼育スルコトヲ得

第五十二條 本法施行ノ際蠶種ノ冷蔵ヲ業トスル者ハ本法施行後一年ヲ限り免許ヲ受ケスシテ其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得

附 則 (大正六年法律第十六號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

從前ノ規定ニ依ル特別蠶種ハ之ヲ原蠶種ト看做ス

附 則 (昭和四年法律第十八號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則 (昭和六年法律第二十五號)

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則 (昭和九年法律第二十五號)

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

備考

蠶絲業法本文中「ハ昭和九年法律第二十五號ニ依リ削除セラルベキ規定ヲ、ハ昭和九年法律第二十五號ニ依リ

昭和六年法律第二十五號中第二十九條乃至第三十四條削除ノ規定ハ昭和八年五月十日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和十年八月二十四日勅令第二百五十八號)

原蠶種管理法附則第八項ノ規定ハ昭和十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス(蠶絲業法第三十七條第一項改正)

蠶種検査手数料ニ關スル件

大正六年十二月十二日勅令第二百二十七號

第一條 蠶絲業法第二十七條ノ規定ニ依ル蠶種検査手数料左ノ如シ

一 同條第一項ノ規定ニ依ルモノ

一枚又ハ一容器ニ付 十五錢

二 同條第二項ノ規定ニ依ルモノ

框製又ハ袋製 一枚又ハ一容器ニ付 五錢以內

平附又ハ散卵 一枚又ハ一容器ニ付 四錢以內

第二條 前條ノ手数料ハ原蠶種ニ在リテハ母蛾ノ検査ヲ、

普通蠶種ニ在リテハ卵又ハ母蛾ノ検査ヲ行ヒタル府縣又ハ北海道地方費ニ於テ之ヲ徴收スヘシ

蠶絲業法施行期日ノ件 蠶種検査手数料ニ關スル件

改正セラルベキ規定ヲ示ス

蠶絲業法施行期日ノ件

(明治四十四年十一月二十一日勅令第二百七十五號)

蠶絲業法ハ明治四十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

(大正六年十二月十二日勅令第二百二十六號)

大正六年法律第十六號ハ大正七年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

ス

(昭和四年十二月二十六日勅令第三百六十四號)

昭和四年法律第十八號ハ昭和五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和六年七月九日勅令第七十三號)

昭和六年法律第二十五號中第十一條ノ二第一項、第三十五條ノ二及第三十六條ノ改正規定ハ蠶絲業組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和八年五月三日勅令第九十二號)

附 則

本令ハ大正六年法律第十六號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正七年一月十五日ヨリ施行)

明治四十四年勅令第二百十四號ハ之ヲ廢止ス

蠶種検査手数料ニ關スル件

大正七年六月十七日附農第八〇二六號農務局長通牒

蠶絲業法改正ノ結果原蠶種ノ検査及普通蠶種ノ歩合検査ニ關スル手数料ハ之ヲ廢止シタルモ普通蠶種ノ再検査ニ關スル手数料ハ地方財政ノ現狀ニ鑑ミ已ムヲ得サルモノト認め之カ徴收ノ途ヲ設ケ置カレ候處今回蠶病豫防費國庫補助規則ヲ改正セラレ國庫補助金額ヲ増加交付可相成管ニ有之候ニ就テハ右手数料ハ已ムヲ得サル場合ヲ除クノ外ハ斯業獎勵ノ爲可成之ヲ徴收セサル様致度依命此段及通牒候也

蠶種検査手数料ニ關スル件

昭和四年十二月二十六日勅令第三百六十五號

蠶絲業法關係法規

蠶絲業法第二十七條ノ規定ニ依ル蠶種検査手数料ハ平附ニ在リテハ蠶種一枚ニ付、散卵ニ在リテハ産卵用紙布一枚ニ付四錢以内トス

附 則

本令ハ昭和四年法律第十八號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

蠶絲業法施行規則

- 明治四十四年十月農商務省令第三十號
- 改正 大正六年三月農商務省令第五號
- 全部 大正六年十二月農商務省令第三十三號
- 改正 大正八年四月農商務省令第九號
- 改正 大正十年四月農商務省令第七號
- 改正 大正十五年五月農林省令第十一號
- 全部 昭和四年十二月農林省令第二十九號
- 改正 昭和六年七月農林省令第十八號
- 改正 昭和八年五月農林省令第七號
- 改正 昭和十年八月農林省令第二十二號

第一條 蠶絲業法第五條ノ規定ニ依リ蠶種製造ノ免許ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ

- 一 氏名又ハ名稱及住所
 - 二 蠶種製造ノ管理者ヲ置キタルトキハ其ノ氏名及住所
 - 三 蠶種製造場所及蠶兒飼育場所
 - 四 蠶種製造又ハ蠶兒飼育ノ用ニ供スル建物ノ棟數竝ニ蠶室ノ數及其ノ平面積
 - 五 掃立蟻量及蠶種製造額ノ概定數
- 地方長官蠶種製造ノ免許ヲ爲シタルトキハ蠶種製造ノ免許證ヲ交付スベシ
- 第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ蠶種製造ノ免許ヲ受ケルコトヲ得ズ
- 一 一年間ノ蠶種製造額概定數十萬蛾ニ滿タザル者
 - 二 掃立蟻量及蠶種製造額ノ概定數ニ相當スル蠶室ノ設備ナキ者
 - 三 蠶絲業ニ關スル知識經驗ナキ者但シ蠶種製造ノ管理者ヲ置ク者ヲ除ク
 - 四 蠶絲業法第三十八條又ハ第三十九條ノ規定ニ依リ處罰ヲ受ケタル後一年ヲ經過セザル者
 - 五 蠶種製造ノ免許ヲ取消サレタル後一年ヲ經過セザル者

者

第三條 蠶種製造者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ地方長官ハ蠶種製造ノ免許ヲ取消スコトヲ得

- 一 正當ノ事由ナクシテ一年間蠶種ノ製造ヲ爲サズ若ハ一年間ノ蠶種製造額十萬蛾ニ滿タザルトキ又ハ前條第一號ニ該當スルニ至リタルトキ
 - 二 蠶絲業ニ關スル知識經驗ナキ者蠶種製造ノ管理者ヲ置カザルニ至リタルトキ
 - 三 蠶絲業法第三十八條又ハ第三十九條ノ規定ニ依リ處罰ヲ受ケタルトキ
- 第四條 蠶種製造ノ管理者ハ蠶絲業ニ關スル知識經驗アル者ニシテ第二條第四號及第五號ニ該當セザルモノタルコトヲ要ス
- 蠶種製造ノ管理者ハ同時ニ二人以上ノ蠶種製造者ノ蠶種製造ノ管理者タルコトヲ得ズ
- 蠶種製造者ハ蠶種製造ノ管理者タルコトヲ得ズ
- 地方長官蠶種製造者又ハ蠶種製造ノ管理者ガ業務ヲ管理シ難シト認ムルトキハ管理者ノ設置、増員又ハ變更ヲ命ズルコトヲ得
- 第五條 蠶種製造者ハ蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル地方長官ノ定ムル所ニ依リ毎年左ノ事項ヲ地方長官ニ届出ヅ

蠶絲業法施行規則

ベシ

- 一 蠶種製造場所及蠶兒飼育場所
 - 二 原蠶種製造額豫定數
 - 三 普通蠶種製造額豫定數
- 第六條 生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ生繭取扱場所所在地ヲ管轄スル地方長官ノ定ムル所ニ依リ左ノ事項ヲ地方長官ニ届出ヅベシ
- 一 氏名又ハ名稱、住所及蠶絲業ニ關スル業種
 - 二 生繭取扱場所
 - 三 生繭取扱豫定期間
 - 四 生繭取扱豫定數量
- 生繭ノ取扱ヲ爲ス者自ラ生繭取扱場所ヲ管理セザルトキハ自己ニ代ルベキ管理者ヲ置キ其ノ氏名及住所ヲ地方長官ニ届出ヅベシ
- 前二項ノ規定ハ養蠶者、蠶種製造者及自家用ノ眞綿、生絲等ヲ製造スル爲生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニ付テハ之ヲ適用セズ
- 第七條 蠶種製造者又ハ前條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル者死亡シ若ハ業務ヲ廢止シ又ハ第一條ノ規定ニ依リ提出シタル願書ノ記載事項若ハ前條ノ規定ニ依リ届出デタル事項ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク地方長官ニ之ヲ届出

蠶絲業法關係法規

ツベシ但シ死亡ノ場合ニ於テハ其ノ相續人、戸主又ハ家族ヨリ之ヲ届出ツベシ

第八條 蠶種製造者ノ相續人被相續人ノ業務ヲ承繼セントスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クベシ但シ被相續人ノ死亡後十五日以内ニ許可ノ申請ヲ爲シタルトキハ之ニ對スル處分アル迄被相續人ノ業務ヲ繼續スルコトヲ得

第九條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者蠶蛆又ハ其ノ蛹若ハ蠅ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ壓殺シ、熱殺シ又ハ水殺スベシ

第十條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者病患アリト認ムル蠶兒、蠶蛹、蠶蛾又ハ其ノ屍體ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ燒棄シ又ハ熱湯、「フオルマリン」若ハ石灰水中ニ投入シ、死籠繭又ハ薄皮繭ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ乾燥シ又ハ熱湯中ニ投入シテ其ノ病原體ヲ滅殺スベシ
第十一條 蠶兒ノ飼育ヲ爲ス者ハ多數ノ病蠶ヲ生ジ蠶病蔓延ノ虞アル場合ニ於テハ健蠶ヲ他ニ移シ病蠶及斃蠶ハ前條ニ規定スル方法ニ依リ之ヲ處理シ其ノ蠶室及蠶具ハ第十五條ニ規定スル方法ニ依リ之ヲ消毒スベシ

第十二條 生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ生繭ヲ集散シ又ハ保存スル場所ノ床又ハ其ノ場所ノ底部ニ蠶蛆及其ノ蛹又ハ蠅ノ散逸ヲ防グニ足ル設備ヲ爲シ且其ノ場所ノ周圍ニ高サ六

センチメートル以上ノ障板ヲ設クベシ但シ蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ヲ防グニ足ル構造ノ場所ニ於テ生繭ヲ集散シ若ハ保存シ又ハ蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ヲ防グニ足ル構造ノ容器ニ生繭ヲ保存スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
前項ノ障板ト生繭トガ接觸スル場合ニ於テハ障板ノ高サハ接觸部ノ上端ヨリ測リテ六センチメートル以上アルコトヲ要ス

地方長官必要ト認ムルトキハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニ對シ生繭ヲ集散シ又ハ保存スル室ノ床下ニ蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ヲ防グニ足ル設備ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得
生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ生繭ヲ集散シ又ハ保存スル室ノ床下ニ蠶蛆ノ潜伏ノ虞アル場合ニ於テハ床下掃除ヲ行ヒ之ヲ驅除ヲ爲スベシ但シ床下ニ蠶蛆ノ飛散ヲ防グニ足ル設備アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 生繭ノ取扱ヲ爲ス者生繭ヲ運搬シ又ハ之ヲ運搬セシムルトキハ蠶蛆又ハ其ノ蛹ノ散逸ヲ防グニ足ル容器ニ之ヲ納ムベシ

第十四條 地方長官ハ蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ノ虞ナキ季節又ハ土地ニ付テハ第六條、第十二條又ハ前條ノ規定ヲ適用セザルコトヲ得

第十五條 蠶種製造者ハ第一號、第四號又ハ第五號ノ方法

キ亦同シ

第十八條 化性、品種名、記號又ハ製造者ノ異ナル原蠶種ヨリ産出シタル蠶兒、繭、蛾及卵並ニ蠶兒飼育場所又ハ掃立月日ノ異ナル蠶兒、繭、蛾及卵ハ掃立口ヲ異ニスベシ
地方長官必要ト認ムルトキハ原蠶種ノ記號、原蠶種ノ製造者、蠶兒飼育場所若ハ掃立月日ノ異ナル蠶兒、繭、蛾及卵ノ掃立口ヲ合併シ又ハ上蒞月日若ハ産卵月日ノ異ナル繭、蛾及卵、孵化期ノ變化ヲ生ズベキ卵若ハ交雜ニ依リ産出シタル卵ノ掃立口ヲ分割スルコトヲ得

同一掃立口ノ繭ヲ用ヒテ原蠶種及普通蠶種ヲ製造セントスルトキハ原蠶種及普通蠶種別ニ掃立口ヲ分割スベシ
掃立口ノ異ナル蠶兒、繭、蛾及卵ハ之ヲ混同スルコトヲ得ズ

第十九條 蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終ル迄之ニ用ヒタル原蠶種ノ臺紙又ハ容器ヲ保存スベシ

第二十條 蠶種製造者蠶種製造用蠶兒ヲ蠶種製造者ニ讓渡シタルトキハ遲滞ナク左ノ事項ヲ蠶兒飼育場所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ届出ツベシ

- 一 化性、品種名及原蠶種製造者ノ氏名又ハ名稱
- 二 掃立月日
- 三 掃立口ノ記號

ニ依リ蠶室ヲ、第一號乃至第四號ノ一ノ方法ニ依リ蠶具ヲ消毒スベシ但シ新築ノ蠶室又ハ新調ノ蠶具ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 「フオルマリン」撒布消毒
- 二 蒸汽消毒
- 三 蟻酸「アルデヒド」瓦斯消毒
- 四 昇汞水消毒
- 五 「クロール」石灰水消毒

第十六條 蠶種製造者蠶種製造用蠶兒ノ掃立ヲ終リタルトキハ蠶兒飼育場所所在地ヲ管轄スル地方長官ノ定ムル所ニ依リ左ノ事項ヲ記載シタル掃立届ヲ地方長官ニ提出スベシ

- 一 蠶兒飼育場所
- 二 化性、品種名及原蠶種製造者ノ氏名又ハ名稱
- 三 掃立月日
- 四 蛾數又ハ卵量及蟻量
- 五 掃立口ノ記號

第十七條 蠶種製造者ハ蠶種製造用蠶兒ノ掃立ヲ終リタルトキハ掃立口毎ニ掃立口ノ記號ヲ附シ蠶種ノ製造ヲ終ル迄蠶兒、繭、蛾及卵ニ付其ノ屬スル掃立口ヲ明ニスベシ
合併、分割其ノ他ノ事由ニ因リ掃立口ニ變更アリタルト

蠶絲業法施行規則

- 四 讓渡數量(掃立口ヲ分割シテ讓渡シタル場合ニ於テハ全部ニ對スル割合)
- 五 讓渡前及後ノ蠶兒飼育場所
- 六 讓受人ノ氏名又ハ名稱及住所
- 七 讓渡月日

第二十一條 蠶種製造者蠶絲業法第十一條第一項ノ繭ノ検査ヲ受ケントスルトキハ蠶種製造用蠶兒ノ上簇ヲ終リタル後遲滞ナク左ノ事項ヲ記載シタル繭検査請求書ヲ蠶兒飼育場所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ但シ第二十二條第二項但書ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テハ繭ノ検査ヲ受ケントスル場所ヲ附記シ其ノ場所ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ

- 一 蠶兒飼育場所
- 二 化性、品種名及掃立口ノ記載
- 三 上簇ノ始期及終期
- 四 收購豫定月日

第二十二條 蠶絲業法第十一條第一項ノ繭ノ検査ハ蠶兒飼育場所ニ於テ之ヲ行フ但シ地方長官特別ノ事由アリト認ムルトキハ蠶兒飼育場所以外ノ場所ニ於テ之ヲ行フコトヲ得

前項ノ検査ヲ受ケントスル繭ハ其ノ検査ヲ終ル迄之ヲ蠶

前ニ於テ蠶種ノ製造ヲ廢止シタルトキハ其ノ廢止シタル蠶兒又ハ繭ニ付第十六條各號ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ遲滞ナク蠶兒飼育場所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ但シ第二十條ノ手續ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十六條 蠶種ノ臺紙ハ縦三五・四センチメートル横二二・四センチメートルノ厚紙ヲ用フベシ
検査合格證印ノ押捺アル蠶種ノ臺紙又ハ容器ハ之ヲ再用スルコトヲ得ズ

第二十七條 蠶種製造者原蠶種ヲ製造セントスルトキハ框製、袋製其ノ他ノ一蛾別製ト爲スベシ

框製ニ在リテハ其ノ臺紙ヲ二十八區ニ區劃シ一母蛾ヲシテ一區ニ産卵セシメ母蛾ト其ノ區トニ同一ノ符號ヲ附シ一母蛾毎ニ隔離シテ一枚分ノ母蛾ヲ一容器ニ納ムベシ
袋製ニ在リテハ紙若ハ布製ノ袋ニ一母蛾ヲシテ産卵セシメ其ノ他ノ一蛾別製ニ在リテハ紙布片ニ一蛾別ニ産卵セシメ二十八蛾分以内ヲ一容器ニ納メ、母蛾ト卵トヲ分離スル場合ニ於テハ母蛾ト其ノ卵ノ袋又ハ紙布片トニ同一ノ符號ヲ附シ一母蛾毎ニ隔離シテ一容器分ノ母蛾ヲ一容器ニ納ムベシ
前二項ノ母蛾ノ容器ニハ蠶種ノ記號及番號並ニ蛾數ヲ記

蠶絲業法施行規則

兒飼育場所以外ニ搬出スルコトヲ得ズ但シ天災其ノ他不可抗力ノ場合又ハ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十三條 蠶絲業法第十一條第一項ノ繭ノ検査ハ掃立口毎ニ之ヲ行ヒ當該品種固有ノ繭色及繭形ヲ有シ且其ノ齊一ナルモノヲ合格トシ然ラザルモノヲ不合格トス
検査ヲ行ヒタル繭ヲ産出シタル原蠶種ノ臺紙又ハ容器ニハ様式第一號ニ依ル繭検査濟印ヲ押捺ス
検査ニ合格シタル繭ニ對シテハ掃立口毎ニ様式第二號ニ依ル繭検査合格證ヲ交付ス

第二十四條 蠶種製造者蠶絲業法第十一條第一項ノ繭ノ検査ニ合格シタル繭ヲ讓渡シタルトキハ掃立口全部ノ讓渡ノ場合ニ於テハ繭検査合格證ヲ返納シ、一部ノ讓渡ノ場合ニ於テハ繭検査合格證ノ裏書ヲ申請スベシ
前項ノ場合ニ於テ讓受人蠶種製造者ナルトキハ其ノ讓受ケタル繭繭ニ付種繭證明書ノ交付ヲ繭検査合格證ヲ交付シタル地方長官ニ申請スベシ此ノ場合ニ於テハ様式第三號ニ依ル種繭證明書ヲ交付ス

前二項ノ規定ハ前項ノ種繭證明書アル種繭ノ讓渡及讓受ノ場合ニ付之ヲ準用ス

第二十五條 蠶種製造者蠶種製造用蠶兒ノ掃立後繭ノ検査

載スベシ

第二十八條 蠶種製造者普通蠶種ヲ製造セントスルトキハ平附又ハ散卵ト爲スベシ
平附ニ在リテハ臺紙一枚毎ニ七十蛾以内ヲ産卵セシメ一枚分ノ母蛾ヲ一容器ニ納ムベシ但シ再検査ニ供セザル蠶種ニ在リテハ二枚以上ノ臺紙ニ臺紙一枚ニ付七十蛾以内ノ割合ヲ以テ産卵セシメ又ハ一掃立口ノ母蛾ヲ混同シテ容器ニ納ムルコトヲ得

散卵ニ在リテハ産卵用紙布一枚毎ニ三十蛾以上百蛾以内ヲ産卵セシメ一枚分ノ母蛾ヲ一容器ニ納メ蠶種ノ検査後散卵ト爲スベシ但シ再検査ニ供セザル蠶種ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

散卵ハ之ヲ容器ニ納ムベシ一容器ニ納ムベキ散卵ノ量ハ三十グラム、十五グラム又ハ十グラムタルコトヲ要ス
(昭和十年省令第二十二號本項改正)
第二項但書又ハ第三項但書ノ場合ニ於テハ百蛾以内ノ母蛾ヲ一容器ニ納ムベシ

前條第四項ノ規定ハ第二項及第三項ノ母蛾ノ容器ニ付之ヲ準用ス

第二十九條 蠶種製造者蠶種ノ製造ヲ終リタルトキハ其ノ蠶種ニ記號及番號ヲ附スベシ
蠶種ノ記號ハ卵ノ屬スル掃立口ノ記號ヲ用フベシ但シ交

雜ニ依リ製造シタル蠶種ニハ雌蛾及雄蛾ノ屬スル掃立口ノ記號ヲ併用スベシ

蠶種ノ番號ハ記號別ニ蠶種ノ臺紙、産卵用紙布又ハ容器毎ニ之ヲ附スベシ

第三十條 蠶種製造者ハ蠶種ノ検査前左ノ事項ヲ様式第四號ニ依リ蠶種ノ臺紙又ハ容器ノ表面ニ記載スベシ但シ蠶種ノ検査後卵ヲ容器ニ納ムルモノニ在リテハ検査合格證印ノ押捺前之ヲ爲スベシ

一 化性、品種名、越年不越年ノ別、記號及番號

二 蠶種製造者ノ氏名又ハ名稱、住所及蠶種製造場所

三 繭色

四 系統

五 産卵月日

六 框製以外ノ一蛾別製ニ在リテハ産卵蛾數、平附ニ在リテハ臺紙ノ重量、卵量及其ノ秤量月日、散卵ニ在リテハ卵量及其ノ秤量月日

蠶種ヲ移入シ又ハ輸入シタル者ハ蠶絲業法第十七條ノ検査前左ノ事項ヲ様式第四號ニ依リ其ノ臺紙又ハ容器ニ記載スベシ

一 化性及品種名

二 移入シ又ハ輸入シタル者ノ氏名又ハ名稱及住所

地方長官前項但書ノ規定ニ依リ文字ノ訂正、増加又ハ抹消ヲ承認シタルトキハ様式第五號ニ依リ變更證印ヲ押捺スベシ

第三十三條 蠶種製造者ノ製造スベキ原蠶種ハ純粹種又ハ固定種タルコトヲ要ス但シ地方長官必要ト認ムルトキハ交雜普通蠶種ヲ製造スル爲交雜ニ依リ原蠶種ノ製造ヲ許可スルコトヲ得

第三十四條 蠶種製造者蠶絲業法第十一條第二項ノ規定ニ依リ原蠶種ノ母蛾ニ付蠶種ノ検査ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル原蠶種検査請求書ヲ地方長官ニ、母蛾及蠶種ヲ所轄蠶業取締所ニ提出スベシ

一 蠶種製造場所

二 化性、品種名及記號

三 産卵月日

四 製造方法別ニ依ル製造額

第三十五條 蠶種製造者蠶絲業法第十一條第二項及第三項ノ規定ニ依リ普通蠶種ノ母蛾ニ付蠶種ノ検査(歩合検査)ヲ受ケントスルトキハ前條各號ニ掲グル事項及製造方法別ニ依ル母蛾ノ數竝ニ第二十八條第二項但書又ハ同條第三項但書ノ規定ニ該當スル蠶種ニ在リテハ其ノ旨ヲ記載シタル普通蠶種歩合検査請求書ヲ地方長官ニ、母蛾及蠶

三 蠶種製造地

四 繭色

五 一蛾別製ニ在リテハ産卵蛾數、平附又ハ散卵ニ在リテハ卵量

第三十一條 蠶種ノ化性及品種名ハ其ノ蠶種ノ製造ニ用ヒタル繭ヲ産出シタル原蠶種ノ化性及品種名ヲ用フベシ但シ地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
交雜ニ依リ製造シタル蠶種ノ化性ハ雌蛾ヲ産出シタル原蠶種ノ化性ヲ用ヒ、品種名ハ雌蛾及雄蛾ヲ産出シタル原蠶種ノ品種名ヲ併用シ交雜ノ二字ヲ冠スベシ
地方長官必要ト認ムルトキハ蠶種ノ化性又ハ品種名ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第三十二條 蠶種製造者又ハ蠶種ノ賣買ニ從事スル者ハ第三十條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記載シタル文字ノ訂正、増加若ハ抹消ヲ爲シ、蠶種ノ區、袋若ハ紙布片ノ填補ヲ爲シ又ハ散卵ノ容器ニ卵ノ増加ヲ爲スコトヲ得ズ但シ第六十一條ノ規定ニ該當スル場合及蠶種製造者第四十六條若ハ第六十三條ノ規定ニ依リ原蠶種ノ區、袋若ハ紙布片ノ填補ヲ爲シ又ハ蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル地方長官ノ承認ヲ受ケ文字ノ訂正、増加若ハ抹消ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

種ヲ所轄蠶業取締所ニ提出スベシ

第三十六條 蠶種製造者蠶絲業法第十一條第四項ノ再検査ヲ受ケントスルトキハ再検査ヲ受ケントスル部分ニ付左ノ事項ヲ記載シタル普通蠶種再検査請求書ヲ地方長官ニ提出スベシ

一 化性、品種名、記號及番號

二 製造方法別ニ依ル請求數量及母蛾ノ數

蠶種製造者ハ前條ノ普通蠶種歩合検査請求書ニ再検査ヲ受ケントスル部分ニ付前項各號ノ事項ヲ附記シ豫メ之ガ請求ヲ爲スコトヲ得

左ニ掲グル普通蠶種ニ付テハ再検査ノ請求ヲ爲スコトヲ得ズ

一 第二十八條第二項但書又ハ同條第三項但書ノ規定ニ該當スルモノ

二 臺紙又ハ産卵用紙布ニ十蛾未滿ヲ産卵セシメタルモノ

第三十七條 蠶絲業法第十一條第一項ノ繭ノ検査ニ合格シタル種繭ヨリ製造シタル蠶種ニ非ザレバ前條ノ規定ニ依リ検査ノ請求ヲ爲スコトヲ得ズ但シ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十八條 移入又ハ輸入蠶種ノ検査ヲ受ケントスル者ハ

左ノ事項ヲ記載シタル移入又ハ輸入蠶種検査請求書ヲ地方長官ニ、母蛾アルモノハ母蛾及蠶種ヲ母蛾ナキモノハ蠶種ヲ所轄蠶業取締所ニ提出スベシ

一 製造地

二 化性及品種名

三 原蠶種又ハ普通蠶種ト爲サントスル數量、母蛾アルモノハ其ノ母蛾ノ數

前項ノ検査請求書ニハ原蠶種管理法第十三條ノ規定ニ依ル蠶種ノ移入又ハ輸入ノ許可ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

(昭和十年省令第二十二號本項追加)

第三十九條

蠶種製造者ハ母蛾ニ熱又ハ藥液ヲ加ヘ其ノ他斃死ヲ速ナラシムル方法ヲ用フルコトヲ得ズ但シ不越、年

蠶種ニシテ已ムヲ得ザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

地方長官ハ前項ノ規定ニ違反スル方法ノ用ヒラレタルモノ、故意若ハ過失ニ因リ微粒子ノ検出困難ト爲リタルモノ又ハ母蛾ノ亡失、取替若ハ混合ノ疑アルモノニ對シ蠶種ノ検査ヲ拒ムコトヲ得

第四十條

蠶絲業法第十一條第二項ノ規定ニ依リ原蠶種ノ母蛾ニ付行フ蠶種ノ検査ハ一蛾毎ニ顯微鏡ヲ以テ之ヲ行

ヒ微粒子ヲ發見セザル蛾ノ産卵シタル區、袋又ハ紙布片ヲ合格トシ微粒子ヲ發見シタル蛾ノ産卵シタルモノヲ不合格トス

検査ニ不合格ト爲リタル區、袋又ハ紙布片ニハ様式第六號ニ依ル有毒印ヲ押捺ス

産卵用紙布一枚毎ニ十蛾以上ノ母蛾ヲ採リ之ヲ十等分シ其ノ一分毎ニ顯微鏡ヲ以テ之ヲ行ヒ微粒子ヲ發見セザルモノヲ合格トシ之ヲ發見シタルモノヲ不合格トス

検査ニ合格シタル蠶種ニハ其ノ臺紙又ハ容器ニ様式第十號ニ依ル普通蠶種再検査合格證印ヲ押捺ス但シ検査後卵ヲ容器ニ納ムルモノニ在リテハ様式第十號ニ依ル再検査合格證明書ヲ交付ス

第四十三條 蠶種製造者第四十一條第二項但書又ハ前條第二項但書ノ規定ニ該當スル蠶種ヲ容器ニ納メタルトキハ検査合格證明書又ハ再検査合格證明書ヲ添ヘ之ヲ所轄蠶業取締所ニ提出シ検査合格證印ノ押捺ヲ受クベシ

第四十四條 蠶絲業法第十七條第一項ノ検査ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ行フ

一 原蠶種ト爲スモノノ検査

(イ) 母蛾ニ付検査ヲ行フ場合ニ於テハ一母蛾毎ニ卵ト對照スルコトヲ得ルモノニ付テハ第四十條ノ規定ニ準ジ検査、合格又ハ不合格ノ決定及蠶種ノ處分ヲ行

ヒ、之ヲ對照スルコト能ハザルモノニ付テハ全部ノ母蛾ニ付顯微鏡ヲ以テ検査ヲ行ヒ微粒子ヲ發見セザル場合ニ於テハ全部ノ蠶種ヲ合格トシ微粒子ヲ發見シタル場合ニ於テハ全部ノ蠶種ヲ不合格トス

母蛾ノ亡失シ又ハ混合シタル區、袋又ハ紙布片ニハ様式第七號ニ依ル缺蛾印ヲ押捺ス

検査ニ合格シタル蠶種ニハ其ノ臺紙又ハ容器ニ様式第八號ニ依ル原蠶種検査合格證印ヲ押捺ス但シ有毒印又ハ缺蛾印ヲ押捺シタル區、袋又ハ紙布片ハ之ヲ除去ス

第四十一條 蠶絲業法第十一條第二項及第三項ノ規定ニ依リ普通蠶種ノ母蛾ニ付行フ蠶種ノ検査(歩合検査)ハ一掃

立口ノ母蛾ノ數千蛾以上ノモノニ在リテハ十蛾又ハ其ノ端數毎ニ一蛾ノ割合ヲ以テ母蛾ヲ、百蛾以上千蛾未満ノモノニ在リテハ百蛾ヲ、百蛾未満ノモノニ在リテハ全部ノ母蛾ヲ採リ一蛾毎ニ顯微鏡ヲ以テ之ヲ行ヒ微粒子ヲ發見シタル母蛾ノ數検査蛾數ノ百分ノ一未満ナルトキハ其ノ掃立口全部ノ蠶種ヲ合格トシ百分ノ一以上ナルトキハ之ヲ不合格トス

検査ニ合格シタル蠶種ニハ其ノ臺紙又ハ容器ニ様式第九號ニ依ル普通蠶種検査合格證印ヲ押捺ス但シ検査後卵ヲ容器ニ納ムルモノニ在リテハ様式第十號ニ依ル検査合格證明書ヲ交付ス

検査ニ不合格ト爲リタル蠶種ニ付テハ其ノ旨ヲ蠶種製造者ニ通知ス

第四十二條 蠶絲業法第十一條第四項ノ再検査ハ臺紙又ハ

(ロ) 卵ニ付検査ヲ行フ場合ニ於テハ一枚又ハ一容器毎ニ百粒以上ノ卵ヲ採リ之ヲ十等分シ其ノ一分毎ニ顯微鏡ヲ以テ検査ヲ行ヒ微粒子ヲ發見セザルモノヲ合格トシ之ヲ發見シタルモノヲ不合格トス

二 普通蠶種ト爲スモノノ検査

(イ) 母蛾ニ付検査ヲ行フ場合ニ於テハ第四十一條第一項ノ規定ニ準ジ検査及合格又ハ不合格ノ決定ヲ行フ

(ロ) 卵ニ付検査ヲ行フ場合ニ於テハ前號(イ)ノ規定ニ準ジ検査及合格又ハ不合格ノ決定ヲ行フ

前項第一號(ロ)及第二號(ロ)ノ検査ハ母蛾ナキ場合ニ限り之ヲ行フ

検査ニ合格シタル蠶種(蠶絲業法第十七條第二項ノ検査ニ合格シタルモノヲ含ム)ニハ其ノ臺紙又ハ容器ニ様式第十二號ニ依ル移入又ハ輸入原蠶種検査合格證印又ハ様式第十三號ニ依ル移入又ハ輸入普通蠶種検査合格證印ヲ押捺ス

第四十五條 前五條又ハ第六十二條ノ規定ニ依リ検査合格證印ヲ容器ニ押捺シタル場合ニ於テハ様式第十四號ニ依ル封緘證印ヲ押捺シ又ハ様式第十五號ニ依ル封緘證紙ヲ貼附ス

容器ニ封緘證印又ハ封緘證紙ナキ蠶種ハ之ヲ讓渡シ又ハ

護受クルコトヲ得ズ

第四十六條 蠶業取締所ニ付蠶種ノ検査ヲ受ケタル者其ノ原蠶種ノ區、袋又ハ紙布片ヲ填補セントスルトキハ其ノ蠶業取締所ニ於テ之ヲ行ヒ框製蠶種ノ填補區ニハ様式第十六號ニ依ル繼印ノ押捺ヲ受クベシ

全部ノ區、袋又ハ紙布片ヲ填補ニ用ヒタル爲不用ト爲リタル臺紙又ハ容器ノ検査合格證印ハ其ノ抹消ヲ受クベシ
第一項ノ規定ニ依リ區、袋又ハ紙布片ヲ填補セントスルトキハ検査ニ合格シタル同一記號ノ蠶種ノ區、袋又ハ紙布片ヲ用フベシ

第四十七條 蠶業取締所ニ付蠶種ノ検査ヲ受ケタル者其ノ検査合格證印アル蠶種ヲ散卵ト爲シタルトキ又ハ已ムヲ得ザル事由ニ因リ其ノ容器ヲ變更シ若ハ開封シタルトキハ其ノ蠶業取締所ニ付容器ニ検査合格證印ノ押捺、封緘證印ノ押捺又ハ封緘證紙ノ貼附ヲ受クルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ新ナル容器ノ表面ニハ様式第四號ニ依リ第三十條第一項又ハ第二項各號ニ掲グル事項ヲ記載シ不用ト爲リタル臺紙又ハ容器ノ検査合格證印ハ其ノ抹消ヲ受クベシ(昭和十年省令第二十二號本項改正)

地方長官卵ノ取替又ハ混合ノ疑アリト認ムルトキハ第一項ノ検査合格證印ノ押捺、封緘證印ノ押捺又ハ封緘證紙及蠶種ノ検査ニ代ヘ其ノ組合員又ハ所屬組合ノ組合員ノ製造スル蠶種ニ關シ爾及蠶種ノ検査ヲ行ハントスルモノハ農林大臣ノ許可ヲ受クベシ(昭和六年省令第十八號本項改正)

蠶種製造者ニシテ蠶絲業法第十一條ノ爾ノ検査及蠶種ノ検査ニ代ヘ自己ノ製造スル蠶種ニ關シ爾及蠶種ノ検査ヲ行ハントスルモノ亦前項ニ同ジ

第五十一條 蠶種業組合、蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合又ハ同業組合聯合會ニシテ蠶絲業法第十一條ノ蠶種ノ検査ニ代ヘ其ノ組合員又ハ所屬組合ノ組合員ノ製造スル自家用原蠶種ニ關シ蠶種ノ検査ヲ行ハントスルモノハ其ノ地區ヲ管轄スル地方長官ノ許可ヲ受クベシ(昭和六年省令第十八號本項改正)

蠶種製造者ニシテ蠶絲業法第十一條ノ蠶種ノ検査ニ代ヘ自己ノ製造スル自家用原蠶種ニ關シ蠶種ノ検査ヲ行ハントスルモノハ蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル地方長官ノ許可ヲ受クベシ

前二項ノ許可ヲ受ケテ行ヒタル検査ニ合格シタル蠶種ハ之ヲ讓渡スコトヲ得ズ但シ特別ノ事由ニ因リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第五十二條 左ノ各號ノ條件ヲ具備スル蠶種製造者ニ非ザ

蠶絲業法施行規則

ノ貼附ヲ拒ムコトヲ得容器ノ變更又ハ開封ニ付已ムヲ得ザル事由ナシト認ムルトキ亦同ジ

第四十八條 蠶業取締所ノ押捺シタル検査合格證印アル蠶種ヲ分割シテ讓渡サントスル者、其ノ蠶業取締所ニ付左ノ手續ヲ爲スベシ

- 一 框製又ハ平附蠶種ニ在リテハ其ノ臺紙ノ裏面ニ截斷セントスル部分ヲ區劃シ各部ニ第三十條第一項又ハ第二項各號ニ掲グル事項並ニ分割者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載シ検査合格證印ノ押捺ヲ受クベシ
- 二 框製以外ノ一蛾別製又ハ散卵蠶種ニ在リテハ蠶業取締所ニ於テ之ヲ分割シ各容器ノ表面ニ様式第四號ニ依リ第三十條第一項又ハ第二項各號ニ掲グル事項並ニ分割者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載シ其ノ容器ニ検査合格證印ノ押捺及封緘證印ノ押捺又ハ封緘證紙ノ貼附ヲ受ケ且不用ト爲リタル容器ノ検査合格證印ハ其ノ抹消ヲ受クベシ

第四十九條 第四十六條第二項、第四十七條第二項又ハ前條第二號ノ規定ニ依リ検査合格證印ノ抹消ヲ爲ス場合ニ於テハ様式第十七號ニ依ル消印ヲ押捺ス

第五十條 蠶種業組合、蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合又ハ同業組合聯合會ニシテ蠶絲業法第十一條ノ爾ノ検査

レバ第五十條第二項ノ許可ヲ受クルコトヲ得ズ

- 一 最近三年間ニ於ケル各年ノ蠶種製造額三十萬蛾以上タルコト
- 二 最近三年間ニ於ケル各年ノ普通蠶種歩合検査ノ合格歩合(検査合格額ノ検査總額ニ對スル割合)百分ノ九十五以上タルコト
- 三 適當ナル検査設備ヲ有スルコト
- 四 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在リテハ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後二年ヲ經過シタルコト
- 五 蠶絲業法若ハ原蠶種管理法又ハ之ニ基キテ發スル命令ニ違反シ處罰ヲ受ケ又ハ免許ヲ取消サレタル者ニ在リテハ處罰ヲ受ケ又ハ免許ヲ取消サレタル後三年ヲ經過シタルコト(昭和十年省令第二十二號本項改正)

前項第三號ノ條件ヲ具備スル者ニ非ザレバ第五十條第一項又ハ前條ノ許可ヲ受クルコトヲ得ズ

第五十三條 第五十條第一項ノ許可ヲ受ケントスル蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ(昭和六年省令第十八號本項改正)

- 一 名稱及事務所
- 二 組合員又ハ所屬組合ノ組合員ニシテ蠶種ノ製造ヲ爲

- スモノノ數、蠶種製造場所數、蠶兒飼育場所數並ニ原蠶種及普通蠶種ノ製造額概定數
- 三 繭及蠶種ノ検査ニ關スル規程
- 四 蠶種ノ検査場所並ニ検査ノ用ニ供スル建物ノ種類及平面積
- 五 蠶種ノ検査ニ關スル設備
- 六 繭及蠶種ノ検査ニ從事スル者ノ數
- 七 蠶種検査ノ管理者ノ氏名及履歴ノ要領
- 八 繭及蠶種ノ検査ニ關スル收支豫算
- 第五十條第二項ノ許可ヲ受ケントスル蠶種製造者ハ前項第四號乃至第七號ニ掲グル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ
- 一 氏名又ハ名稱及住所
- 二 履歴ノ要領
- 三 蠶種製造場所及蠶兒飼育場所
- 四 最近三年間ニ於ケル各年ノ原蠶種及普通蠶種ノ製造額
- 五 最近三年間ニ於ケル各年ノ普通蠶種ノ歩合検査成績
- 前二項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第五十四條 第五十一條第一項ノ許可ヲ受ケントスル蠶種

項第三號、第四號又ハ第五號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ農林大臣ノ許可ヲ、第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者前條第一項第三號、第五號又ハ第六號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クベシ

第五十六條 第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ検査ニ關スル方法ヲ定メ第五十三條又ハ第五十四條ノ申請書ノ提出ト同時ニ其ノ認可ヲ申請スベシ

検査ニ關スル方法ヲ變更セントスルトキハ農林大臣又ハ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

第五十七條 前條ノ検査ニ關スル方法ハ蠶業取締所ノ行フモノト同等以上タルコトヲ要ス

第五十八條 農林大臣必要ト認ムルトキハ第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行フ蠶種ニ關スル検査ニ從事スル者及蠶種検査ノ管理者ノ資格ヲ定ムルコトアルベシ

前項ノ資格ヲ定メタルトキハ之ヲ告示ス

蠶種検査ノ管理者ハ同時ニ他ノ蠶種業組合、同業組合、同業組合聯合會又ハ蠶種製造者ノ蠶種検査ノ管理者タルコトヲ得ズ(昭和六年省令第十八號本項改正)

第五十九條 第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ハ検査場所毎ニ毎年検査開始ヨリ少クトモ十日前ニ左ノ事項ヲ農林大臣

- 業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ地方長官ニ提出スベシ(昭和六年省令第十八號本項改正)
- 一 名稱及事務所
- 二 組合員又ハ所屬組合ノ組合員ニシテ原蠶種ノ製造ヲ爲スモノノ數及原蠶種ノ製造額概定數
- 三 検査ニ關スル規程
- 四 原蠶種ノ検査額概定數
- 五 検査場所並ニ検査ノ用ニ供スル建物ノ種類及平面積
- 六 検査ニ關スル設備
- 七 検査ニ從事スル者ノ數
- 八 蠶種検査ノ管理者ノ氏名及履歴ノ要領
- 九 検査ニ關スル收支豫算
- 第五十一條第二項ノ許可ヲ受ケントスル蠶種製造者ハ前項第四號乃至第七號ニ掲グル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ地方長官ニ提出スベシ
- 一 氏名又ハ名稱及住所
- 二 履歴ノ要領
- 前二項ノ書類ノ外地方長官ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第五十五條 第五十條ノ許可ヲ受ケタル者第五十三條第一

ニ届出ツベシ

一 検査場所

二 検査ノ開始及終了ノ豫定月日

三 繭、原蠶種及普通蠶種ノ検査額豫定數

第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ検査ノ開始及終了ノ豫定月日並ニ原蠶種ノ検査額豫定數ヲ地方長官ニ届出ツベシ

第六十條 蠶種製造者第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行フ繭ノ検査ニ合格シタル種繭ヲ讓渡ス場合ニ於テハ其ノ検査ヲ行ヒタル者ノ作成シタル種繭證明書ヲ讓受人ニ交付スベシ但シ蠶種製造者ニ非ザル者ニ讓渡ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ種繭證明書ハ様式第三號ニ依リ之ヲ作成スベシ

第六十一條 第五十條第一項又ハ第五十一條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會ニ付蠶種ノ検査ヲ受ケタル者ハ其ノ蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會ノ承認ヲ受ケ第三十條第一項ノ規定ニ依リ蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記載シタル文字ノ訂正、増加又ハ抹消ヲ爲スコトヲ得(昭和六年省令第十八號本項改正)

蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會前項ノ承認ヲ

爲シタルトキハ様式第五號ニ依ル變更證明ヲ押捺スベシ
(昭和六年省令第十八號本項改正)

第五十條第二項又ハ第五十一條第二項ノ許可ヲ受ケタル
蠶種製造者第三十條第一項ノ規定ニ依リ蠶種ノ臺紙又ハ
容器ニ記載シタル文字ノ訂正、増加又ハ抹消ヲ爲シタル
トキハ様式第五號ニ依ル變更證明ヲ押捺スベシ

第六十二條 第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者
蠶種ノ検査ヲ行ヒタルトキハ原蠶種ニ在リテハ合格シタ
ル蠶種ノ臺紙又ハ容器ニハ様式第八號ニ依ル原蠶種検査
合格證明ヲ、不合格ト爲リタル區、袋又ハ紙布片ニハ様
式第六號ニ依ル有毒印ヲ、母蛾ノ亡失シ又ハ混合シタル
區、袋又ハ紙布片ニハ様式第七號ニ依ル缺蟻印ヲ押捺シ、
普通蠶種ニ在リテハ歩合検査又ハ再検査ニ合格シタル蠶
種ノ臺紙又ハ容器ニハ様式第九號ニ依ル普通蠶種検査合
格證明又ハ様式第十一號ニ依ル普通蠶種再検査合格證明
ヲ押捺スベシ

前項ノ有毒印又ハ缺蟻印ヲ押捺シタル區、袋又ハ紙布片
ハ之ヲ除去スベシ

第六十三條 第五十條第一項又ハ第五十一條第一項ノ許可
ヲ受ケタル蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會ニ
付蠶種ノ検査ヲ受ケタル者其ノ原蠶種ノ區、袋又ハ紙布

正)

第五十條第二項又ハ第五十一條第二項ノ許可ヲ受ケタル
蠶種製造者其ノ検査合格證明アル蠶種ヲ散卵ト爲シタル
トキ又ハ已ムヲ得ザル事由ニ因リ其ノ容器ヲ變更シ若ハ
開封シタルトキハ自ら容器ニ検査合格證明ノ押捺、封緘
證明ノ押捺又ハ封緘證明ノ貼附ヲ爲スコトヲ得

第四十七條第二項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ付之ヲ準用ス
第六十五條 第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者
ノ押捺シタル検査合格證明アル蠶種ヲ分割シテ讓渡サン
トスル者ハ其ノ検査合格證明ヲ押捺シタル者ニ付第四十
八條ノ規定ニ準ジ手續ヲ爲スベシ

第六十六條 第四十九條ノ規定ハ前三條ノ規定ニ依リ不用
ト爲リタル臺紙又ハ容器ノ検査合格證明ノ抹消ヲ爲ス場
合ニ付之ヲ準用ス

第六十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ第五十
條ノ許可ヲ受ケタル者ニ在リテハ農林大臣ニ、第五十一
條ノ許可ヲ受ケタル者ニ在リテハ地方長官ニ遲滞ナク其
ノ旨ヲ届出ヅベシ但シ第一號ノ場合ニ於テハ其ノ相續
人、戸主又ハ家族ヨリ其ノ旨ヲ届出ヅベシ

一 許可ヲ受ケタル者死亡シタルトキ
二 許可ヲ受ケタル者蠶種ニ關スル検査ヲ廢止シタルト

片ヲ填補セントスルトキハ蠶種業組合、同業組合又ハ同
業組合聯合會ノ定ムル所ニ依リ其ノ検査場所ニ於テ之ヲ
行ヒ框製蠶種ノ填補區ニハ様式第十六號ニ依ル蠶種ノ押
捺ヲ受クベシ(昭和六年省令第十八號本項改正)

第六十四條

第五十條第一項又ハ第五十一條第一項ノ許可
ヲ受ケタル蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會ニ
付蠶種ノ検査ヲ受ケタル者其ノ検査合格證明アル蠶種ヲ
散卵ト爲シタルトキ又ハ已ムヲ得ザル事由ニ因リ其ノ容
器ヲ變更シ若ハ開封シタルトキハ蠶種業組合、同業組合
又ハ同業組合聯合會ノ定ムル所ニ依リ容器ニ検査合格證
明ノ押捺、封緘證明ノ押捺又ハ封緘證明ノ貼附ヲ受クル
コトヲ得但シ蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會
ハ卵ノ取替若ハ混合ノ疑アリト認ムルトキ又ハ容器ノ變
更若ハ開封ニ付已ムヲ得ザル事由ナシト認ムルトキハ
其ノ手續ヲ拒ムコトヲ得(昭和六年省令第十八號本項改

三

許可ヲ受ケタル者其ノ氏名、名稱、住所又ハ事務所
ヲ變更シタルトキ

四 蠶種ニ關スル検査ニ従事スル者ノ數又ハ蠶種検査ノ
管理者ニ變更アリタルトキ

蠶種検査ノ管理者ノ變更届ニハ新ニ管理者ト爲リタル者
ノ履歴ノ要領ヲ記載スベシ

第六十八條 第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ハ毎年四月三十
日迄ニ左ノ事項ヲ記載シタル前年ノ検査成績ヲ農林大臣
ニ報告スベシ

一 繭ノ検査ヲ行ヒタル掃立口ノ數及其ノ繭ノ數量並ニ
検査ニ合格シタル掃立口ノ數及其ノ種繭ノ數量

二 蠶種ノ検査ヲ行ヒタル原蠶種及普通蠶種ノ製造方法
別數量及其ノ検査合格數量

第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ地方長官ノ定ムル所ニ
依リ毎年其ノ検査成績ヲ地方長官ニ報告スベシ

第六十九條 第五十條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種業組
合、同業組合又ハ同業組合聯合會ニ付繭ノ検査ヲ受ケタ
ル者及同條第二項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ハ繭ノ檢
査終了後蠶兒飼育場所所在地ヲ管轄スル地方長官ノ定ム
ル所ニ依リ左ノ事項ヲ地方長官ニ届出ヅベシ(昭和六年

省令第十八號本項改正)

- 一 蠶兒飼育場所
- 二 化性、品種名及掃立口ノ記號
- 三 收繭數量
- 四 検査ニ合格シタル種繭ノ數量
- 五 検査月日

第七十條 第五十條ノ許可ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ農林大臣ハ其ノ許可ヲ取消スコトアルベシ

- 一 其ノ行フ検査ニ關シ蠶絲業法又ハ同法ニ基キテ發スル命令又ハ處分ニ違反シタルトキ
- 二 適當ナル検査設備ヲ缺クニ至リタルトキ
- 三 正當ノ事由ナクシテ其ノ検査ヲ行ハザルトキ
- 四 第五十條第二項ノ許可ヲ受ケタル者ニ在リテハ引續キ三年以上各年ノ蠶種製造額三十萬噸ニ滿タザルトキ

第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者前項第一號、第二號又ハ第三號ニ該當スルトキハ地方長官ハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第七十一條 法人、組合其ノ他ノ團體ハ其ノ團體員又ハ他人ノ爲ニ検査合格證印アル普通蠶種ニ付微粒子ノ顯微鏡検査ヲ爲スコトヲ得ズ

ル職員ヲ以テ前項第三號ノ研究ニ從事スル者ト、校長、所長、場長又ハ之ニ準ズベキ者ヲ以テ其ノ主管者ト看做ス

第七十四條 道府縣、市、市町村學校組合、町村學校組合、公益法人、蠶絲業組合又ハ蠶絲業ニ關スル同業組合ノ設置スル學校、講習所又ハ試驗場等ニシテ蠶絲業ニ關スル知識經驗アル專任職員三人以上ヲ有シ蠶量五十グラム以上ヲ飼育スルニ適當ナル蠶室、蠶具、桑園其ノ他ノ設備ヲ有スル者ハ第七十二條第一項ノ許可ヲ受ケテ製造シタル蠶種ヲ農林大臣ノ許可ヲ受ケ配付スルコトヲ得(昭和八年省令第七號本項改正)

農林大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ規定ニ依リ配付スル蠶種ノ數量ヲ制限スルコトヲ得

第七十五條 前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

- 一 蠶室、蠶具、桑園其ノ他ノ設備
- 二 蠶種ノ製造、検査及配付ニ關スル規程
- 三 配付セントスル原蠶種又ハ普通蠶種ノ數量
- 四 蠶種ヲ配付セントスル期間
- 五 專任職員ノ氏名及履歷ノ要領

第七十六條 第七十三條第一項各號又ハ前條各號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク農林大臣ニ之ヲ届出ヅベシ

第七十二條 學術研究ノ爲蠶種ノ製造及其ノ蠶兒ノ飼育ヲ爲サントスル者ハ農林大臣ノ許可ヲ受クベシ

學術研究ノ爲蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニシテ蠶絲業法第四條第一項ノ適用ヲ免レントスルモノ亦前項ニ同ジ

第一項ノ許可ヲ受ケタル者ニハ第十二條及第十三條ノ規定ヲ準用ス

國ノ學校、試驗場等又ハ府縣ノ蠶業試驗場ハ前三項ノ規定ニ拘ラズ學術研究ノ爲蠶種ノ製造及其ノ蠶兒ノ飼育ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ蠶絲業法第四條第一項ノ規定ノ適用ヲ免除ス

第七十三條 前條第一項又ハ第二項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

- 一 氏名又ハ名稱及住所
- 二 研究ノ目的、期間及方法
- 三 研究ニ從事スル者及之ヲ主管スル者ノ氏名及履歷ノ要領
- 四 前條第二項ノ許可ヲ受ケントスル者ニ在リテハ其ノ適用ヲ免レントスル範圍

學校、講習所又ハ試驗場等ニ在リテハ直接研究ノ任ニ當

第七十二條第一項、第二項又ハ第七十四條ノ許可ヲ受ケタル者死亡シ又ハ學術ノ研究若ハ蠶種ノ配付ヲ廢止シタルトキハ遲滞ナク農林大臣ニ之ヲ届出ヅベシ但シ死亡ノ場合ニ於テハ其ノ相續人、戸主又ハ家族ヨリ之ヲ届出ヅベシ

第七十七條 農林大臣必要ト認ムルトキハ第七十二條第一項、第二項又ハ第七十四條ノ許可ヲ取消スコトアルベシ

第七十八條 第七十四條ノ許可ヲ受ケタル學校、講習所又ハ試驗場等ニ於テ配付スル蠶種ノ製造及検査ノ方法ハ原蠶種ト爲スモノニ在リテハ本則中原蠶種ニ關スル規定ニ、普通蠶種ト爲スモノニ在リテハ本則中普通蠶種ニ關スル規定ニ準據スベシ

第七十九條 蠶絲業法第十二條ノ規定ニ依リ原蠶種及普通蠶種ヲ指定スルコト左ノ如シ

- 一 國ノ學校、試驗場等又ハ府縣ノ蠶業試驗場ニ於テ蠶種製造用トシテ配付スルモノ
- 二 道府縣ノ學校、講習所又ハ試驗場等ニ於テ第七十四條ノ許可ヲ受ケ蠶種製造用トシテ配付スルモノ
- 三 第四十四條第三項ノ規定ニ依リ移入又ハ輸入原蠶種検査合格證印ヲ押捺シタルモノ

普通蠶種

- 一 國ノ學校、試験場等又ハ府縣ノ蠶業試験場ニ於テ製絲繭生産用トシテ配付スルモノ
- 二 道府縣、市、市町村學校組合、町村學校組合、公益法人、蠶絲業組合又ハ蠶絲業ニ關スル同業組合ノ設置スル學校、講習所又ハ試験場等ニ於テ第七十四條ノ許可ヲ受ケ製絲繭生産用トシテ配付スルモノ(昭和八年省令第七號本號改正)
- 三 第四十四條第三項ノ規定ニ依リ移入又ハ輸入普通蠶種検査合格證印ヲ捺捺シタルモノ

第八十條 府縣ノ蠶業試験場又ハ第七十四條ノ許可ヲ受ケタル者ハ原蠶種トシテ配付スル蠶種ニハ様式第十八號ニ依ル原蠶種印ヲ、普通蠶種トシテ配付スル蠶種ニハ様式第十九號ニ依ル普通蠶種印ヲ捺捺スベシ

第八十一條 死籠繭ヲ除クノ外化蛹セザル生繭ハ之ヲ賣買スルコトヲ得ズ但シ其ノ生繭ヲ搬出セズ又ハ搬出セシメザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第八十二條 他人ニ讓渡ス目的ヲ以テ桑苗ヲ生産スル者ハ桑苗ノ生産場所所在地ヲ管轄スル地方長官ノ定ムル所ニ依リ毎年左ノ事項ヲ地方長官ニ届出ヅベシ桑苗圃二ア一ル以上ヲ有スル者亦同ジ

一 氏名又ハ名稱及住所

二 蠶種製造者ノ從業者ニシテ蠶種ノ行商ヲ爲サントスルモノ

三 生絲製造者又ハ其ノ從業者ニシテ生絲製造工場以外ニ於テ自ラ生繭ノ買入ヲ爲サントスルモノ

地方長官前項ノ免許ヲ爲シタルトキハ様式第二十號ニ依ル免許證ヲ交付スベシ

第一項ノ免許ノ期間ハ三年以内トス但シ其ノ期間ハ申請ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得

第八十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ前條ノ免許ヲ受ケルコトヲ得ズ

- 一 蠶種又ハ繭ノ鑑定及取扱ニ關スル知識經驗ナキ者
- 二 蠶絲業法又ハ同法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ處罰ヲ受ケタル後一年ヲ經過セザル者
- 三 前二號ノ外地方長官ニ於テ不適當ト認ムル者

地方長官必要ト認ムルトキハ前項第一號ノ知識經驗ニ付試験ヲ行フコトヲ得

前條ノ免許ヲ受ケタル者蠶絲業法又ハ同法ニ基キテ發スル命令又ハ處分ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害スル虞アリト認ムルトキハ地方長官ハ業務ヲ停止シ若ハ制限シ又ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

第八十七條 蠶種製造者其ノ製造シタル蠶種ノ行商ヲ爲サ

蠶絲業法施行規則

二 桑苗ノ生産場所

三 桑苗ノ品種別生産豫定數

四 仕立法別苗圃ノ面積

第七條ノ規定ハ前項ノ届出ヲ爲シタル者死亡シ若ハ業務ヲ廢止シ又ハ前項ノ規定ニ依リ届出デタル事項ニ變更アリタル場合ニ付之ヲ準用ス

第八十三條 他人ニ讓渡ス目的ヲ以テ桑苗ヲ生産スル者又ハ桑苗圃二ア一ル以上ヲ有スル者ハ桑苗ノ生産場所ニ在ル桑苗ノ葉ヲ摘採シ又ハ摘採セシムルコトヲ得ズ

地方長官ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ前項ノ規定ニ付別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第八十四條 害菌若ハ害虫ノ附著セル桑苗、著シク發育ノ不良ナル桑苗又ハ前條ノ規定ニ違反シテ葉ヲ摘採シタル桑苗ハ之ヲ讓渡スコトヲ得ズ但シ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第八十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ願書ニ履歴書及最近ノ撮影ニ係ル本人ノ寫眞二葉ヲ添ヘ住所地ヲ管轄スル地方長官ニ提出シ其ノ免許ヲ受クベシ

一 蠶種若ハ生繭ノ賣買若ハ仲立ヲ業トスル者又ハ其ノ從業者ニシテ自ラ蠶種又ハ生繭ノ賣買又ハ仲立ヲ爲サントスルモノ

二 桑苗ノ生産若ハ賣買ヲ業トスル者桑苗ノ行商ヲ爲サントスルトキハ様式第二十一號ニ依ル鑑札ヲ携帯スベシ桑苗ノ生産又ハ賣買ヲ業トスル者ノ從業者ニシテ桑苗ノ行商ヲ爲サントスルトキ亦同ジ

前項ノ鑑札ハ住所地ヲ管轄スル地方長官之ヲ交付ス

第八十八條 蠶種製造者又ハ第六條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル者ハ蠶兒飼育場所、蠶種製造場所又ハ生繭ノ取扱場所ニ様式第二十二號ニ依ル標札ヲ掲グベシ

第八十二條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル者ハ桑苗ノ生産場所ニ様式第二十三號ニ依ル標柱ヲ建ツベシ

第八十九條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ地區ハ道府縣ノ區域ニ依ルベシ但シ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第九十條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ設置ニ付テハ重要物産同業合法施行規則第三條乃至第十一條ノ規定ヲ準用シ同則第四十一條第一項、第二項及第四項ノ規定ヲ適用セズ但シ發起人ハ同業組合ノ代表者タルコトヲ要ス

前項ノ發起人ノ數ハ五名以上タルコトヲ要セズ

蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ定款ニハ地區及營業ノ種類ヲ記載スベシ

第九十一條乃至第百條 削除（昭和八年省令第七號各條除）

第一百條 蠶絲業法第三十五條第一項ノ規定ニ依リ物品ヲ

收去セントスルトキハ當該蠶種、繭、桑苗又ハ蠶絲類ノ

取扱ヲ爲ス者、其ノ從業者、同居者若ハ隣佑ニシテ成年

ニ達シタルモノノ立會ヲ以テ之ヲ爲スベシ

收去シタル物品ハ之ヲ容器ニ納メ又ハ結束ヲ爲シ之ニ封

緘ヲ施シ其ノ品名、物品ヲ收去セラレタル者ノ氏名又ハ

名稱並ニ收去ノ年月日及場所ヲ記載シ當該官吏員及立

會人之ニ署名捺印スベシ立會人署名捺印セズ又ハ署名捺

印スルト能ハザルトキハ其ノ旨ヲ附記スベシ

第二百二條 蠶絲業法第三十五條第二項ノ規定ニ依リ當該官

吏員臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲サントスルトキハ

様式第二十四號ニ依ル證票ヲ携帯スベシ

臨檢、搜索、尋問及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分

法施行規則第二條乃至第五條、第八條及第十二條ノ規定

ヲ準用ス

第百三條 府縣ノ蠶業試驗場又ハ第七十二條第一項若ハ第

七十四條ノ許可ヲ受ケタル學校、講習所又ハ試驗場等ハ

毎年四月三十日迄ニ前年ノ成績ヲ農林大臣ニ報告スベシ

第百四條 地方長官ハ毎年五月三十一日迄ニ前年度ノ蠶業

取締事務成績ヲ農林大臣ニ報告スベシ

第百五條 地方長官蠶絲業法及本則ノ施行ニ關スル規定ヲ

定メタルトキハ農林大臣ニ之ヲ報告スベシ之ヲ變更シタ

ルトキ亦同ジ

第百六條 道府縣ハ蠶絲業法施行ニ關スル事務ヲ處理セシ

ムル爲蠶業取締所ヲ設クベシ

第百七條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ地方長

官ヲ經由スベシ（昭和八年省令第七號本條改正）

第百八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又

ハ科料ニ處ス

一 第六條第一項、第二項、第十八條第四項、第二十條、

第二十二條第二項、第二十六條第二項、第三十一條第

一項、第三十二條第一項、第三十九條第一

項、第四十五條第二項、第四十六條、第四十七條第二

項、第四十八條、第五十一條第三項、第五十五條、第

五十九條、第六十條、第六十一條第二項、第三項、第

六十二條、第六十三條第一項、第二項、第六十五條、

第七十一條、第八十一條、第八十三條第一項、第八十

四條又ハ第八十五條第一項ノ規定ニ違反シタル者

二 第三十條ノ規定ニ依リ蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記載ス

ベキ事項ニ付虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

三 第三十一條第三項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

四 第六十三條第三項ノ規定ニ依リ準用セララルル第四十

六條第二項若ハ第三項ノ規定又ハ第六十四條第三項ノ

規定ニ依リ準用セララルル第四十七條第二項ノ規定ニ違

反シタル者

左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ科料ニ處ス

一 第七條、第十六條、第十八條第三項、第十九條、第

二十四條、第二十五條、第六十七條、第六十八條、第

六十九條、第八十二條第一項、第八十七條第一項又ハ

第八十八條ノ規定ニ違反シタル者

二 第八十二條第二項ノ規定ニ依リ準用セララルル第七條

ノ規定ニ違反シタル者

第百九條 削除（昭和十年省令第二十二號本條削除）

第百十條 本則中府縣ノ蠶業試驗場トアルハ北海道ニ在リ

テハ北海道農事試驗場トス

附 則

第百十一條 本令ハ昭和四年法律第十八號施行ノ日ヨリ之

ヲ施行ス

第百十二條 従前ノ規定ニ依リ下付シタル蠶種製造ノ免許

證ハ本令ニ依リ之ヲ交付シタルモノト看做ス

第百十三條 本令施行ノ際現ニ蠶種製造者タルモノ及其ノ

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

相續人ニシテ引續キ業務ヲ承繼スルモノハ一年間ノ蠶種

製造額十萬噸ニ滿タザルノ故ヲ以テ其ノ蠶種製造ノ免許

ヲ取消サルルコトナシ

第百十四條 本令施行ノ際現ニ蠶種製造ノ管理者タルモノ

ニ付テハ仍従前ノ例ニ依ル

第百十五條 従前ノ規定ニ依リ學術研究ノ爲蠶種ノ製造、

其ノ蠶兒ノ飼育及製造蠶種ノ配付又ハ蠶絲業法第四條第

一項ノ適用免除ニ付受ケタル許可ハ本令施行後ト雖仍其

ノ效力ヲ有ス

第百十六條 蠶種ノ臺紙ノ大サ、蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記

載スベキ事項、其ノ記載ノ方法及一容器ニ納ムベキ散卵

ノ量ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ一年間仍従前ノ規定ニ依

ルコトヲ得

第百十七條 従前ノ規定ニ依リ蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ押捺

シタル檢査證印又ハ封緘印ハ之ヲ本令ニ依リ押捺シタル

檢査合格證印又ハ封緘證印ト看做ス

第百十八條 本令施行ノ際現ニ第八十五條第一項各號ノ一

ニ該當スル者ハ同條ノ規定ニ拘ラズ本令施行ノ日ヨリ四

月以内ハ仍従前ノ例ニ依リ其ノ業務ニ従事スルコトヲ得

第百十九條 蠶絲業法第十四條ノ規定ハ本令施行前沖繩

縣、伊豆七島、釧路國、根室國及北、國禮文郡ニ於テ製

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法施行規則

蠶絲業法關係法規

造シタル蠶種及其ノ蠶兒ヲ同地域内ニ於テ讓渡シ又ハ飼育スル場合ニ付テハ之ヲ適用セズ

第二百二十條 本令施行前前條ノ地域内ニ於テ蠶種製造用トシテ製造シタル蠶種ハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ同地域内ニ限リ蠶種製造ノ爲之ヲ用フルコトヲ得

第二百二十一條 本令施行ノ際現ニ第十九條ノ地域内ニ於テ蠶種ノ製造ヲ業トスル者本令施行ノ日ヨリ二月以内ニ蠶絲業法第五條ノ規定ニ依リ蠶種製造ノ免許ヲ出願シタルトキハ之ニ對スル處分アル迄仍從前ノ例ニ依リ其ノ業務ヲ營ムコトヲ得

第二條第一號ノ規定ハ前項ノ出願ヲ爲シタル者ニ付テハ之ヲ適用セズ

第一百十三條ノ規定ハ第一項ノ出願ヲ爲シ蠶種製造ノ免許ヲ受ケタル者及其ノ相續人ニシテ引續キ其ノ業務ヲ承繼スルモノニ付之ヲ準用ス

附則(昭和六年七月農林省令第十八號附則)

本令ハ蠶絲業組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則(昭和八年五月農林省令第七號附則)

本令ハ昭和八年五月十日ヨリ之ヲ施行ス

附則(昭和十年八月農林省令第二十二號附則)

本令ハ昭和十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

一 容器ニ納ムベキ散卵ノ量ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ一年

間仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

第一號 樣式



直徑一・五糎
肉色朱

第三號

種繭證明書

第 號

住所 氏(名稱)

一 讓渡人ノ氏名又ハ名稱及住所

二 蠶兒飼育場所

三 掃立口ノ記號

四 化性、品種名及系統

五 繭色

六 繭形

七 種繭數量

八 一立ノ重量及顆數

九 上蔟月日

右種繭タルコトヲ證明ス

年 月 日

道府縣理

縱一〇糎
横一五糎

備考

第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ノ作成スルモノニ在リテハ「道府縣」トアル箇所ニ當該蠶種業組合、同業組合、同業組合聯合會又ハ蠶種製造者ノ名稱又ハ氏名ヲ記載スルコト

蠶絲業法施行規則

第四號 (框製)

一	記號	番號	性	別	名	統	色	月日	住
二	化	性	年	種	統	色	月日	蠶種製造場所	氏(名稱)
三	越	年	不	越	年	種	名	統	系
四	品	名	統	系	繭	産	卵	住	所
五	繭	産	卵	住	所	氏(名稱)	蠶種製造場所	年	月
六	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
七	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
八	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
九	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
一〇	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
一一	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
一二	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
一三	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
一四	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
一五	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
一六	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
一七	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
一八	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
一九	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
二〇	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
二一	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
二二	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
二三	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
二四	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
二五	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
二六	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
二七	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上
二八	一	立	ノ	重	量	及	顆	數	上

縱一〇糎
横一五糎

(平附)

記號	化	越年	品	系	滿	產卵	臺紙	住
番號	性	年	種	色	月	日	量	氏
別	名	統	統	日	卵	量	日	蠶種製造場所
名	統	色	月	日	卵	量	日	蠶種製造場所
統	色	月	日	卵	量	日	蠶種製造場所	
色	月	日	卵	量	日	蠶種製造場所	氏	
月	日	卵	量	日	蠶種製造場所	氏	名	
日	卵	量	日	蠶種製造場所	氏	名	所	
卵	量	日	蠶種製造場所	氏	名	所		
量	日	蠶種製造場所	氏	名	所			
日	蠶種製造場所	氏	名	所				
蠶種製造場所	氏	名	所					

記號	化	越年	品	系	滿	產卵	臺紙	住
番號	性	年	種	色	月	日	量	氏
別	名	統	統	日	卵	量	日	蠶種製造場所
名	統	色	月	日	卵	量	日	蠶種製造場所
統	色	月	日	卵	量	日	蠶種製造場所	氏
色	月	日	卵	量	日	蠶種製造場所	氏	名
月	日	卵	量	日	蠶種製造場所	氏	名	所
日	卵	量	日	蠶種製造場所	氏	名	所	
卵	量	日	蠶種製造場所	氏	名	所		
量	日	蠶種製造場所	氏	名	所			
日	蠶種製造場所	氏	名	所				
蠶種製造場所	氏	名	所					

(容器)

記號	化	越年	品	系	滿	產卵	臺紙	住
番號	性	年	種	色	月	日	量	氏
別	名	統	統	日	卵	量	日	蠶種製造場所
名	統	色	月	日	卵	量	日	蠶種製造場所
統	色	月	日	卵	量	日	蠶種製造場所	氏
色	月	日	卵	量	日	蠶種製造場所	氏	名
月	日	卵	量	日	蠶種製造場所	氏	名	所
日	卵	量	日	蠶種製造場所	氏	名	所	
卵	量	日	蠶種製造場所	氏	名	所		
量	日	蠶種製造場所	氏	名	所			
日	蠶種製造場所	氏	名	所				
蠶種製造場所	氏	名	所					

(移入又ハ輸入蠶種)

化	性	滿	色
品	種	名	(卵量)
蠶種製造地			
移(輸)入者住所			
移(輸)入者氏名(名稱)			

備考

移入又ハ輸入蠶種ニシテ平附又ハ框製ノモノニ在リテハ臺紙ノ裏面ニ、其ノ他ノモノニ在リテハ容器ノ表面ニ記載スルコト

第五號



直徑一・五種
肉色朱

備考

第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ在リテハ「道府縣」トアル箇所ニ當該蠶種業組合、同業組合、同業組合聯合會又ハ蠶種製造者ノ名稱又ハ氏名ヲ表ハシ肉色ハ青ヲ用フルコト

第六號



縱一・七種
横〇・七種
肉色黒

第七號



直徑一・七種
肉色黒

蠶絲業法施行規則

第八號



外圓
直徑二・五種
肉色朱

備考

樣式第五號備考ハ第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ付之ヲ準用ス

第九號



外圓
長徑二・五種
短徑二・七種
肉色朱

備考

樣式第五號備考ハ第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ付之ヲ準用ス

第十號

第 號

散卵普通蠶種検査 (散卵普通蠶種)
再検査 (合格證明書)

住所 氏 名(名稱)

- 一 蠶種製造場所
- 二 記號及番號
- 三 化性、品種名及系統
- 四 越年不越年ノ別
- 五 繭色
- 六 枚數
- 七 卵量

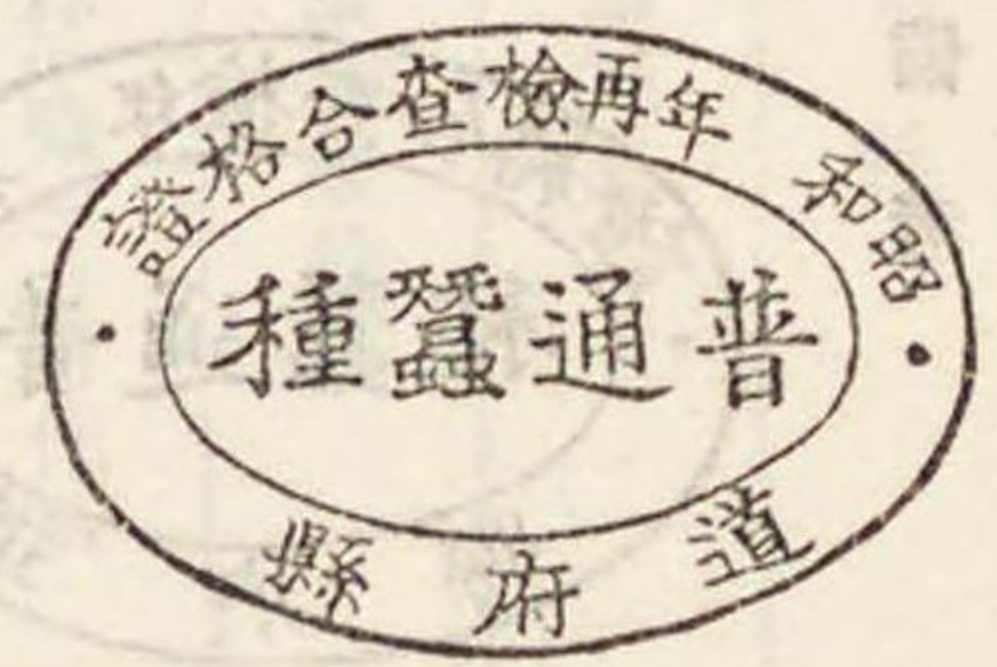
右散卵普通蠶種検査 (散卵普通蠶種再検査)ニ合格シタルコトヲ證明ス

年 月 日

道府 縣 町

縦一〇糎
横一五糎

第十一號



外圓 長徑二・五糎
短徑二糎
肉色朱

備考

様式第五號備考ハ第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ付之ヲ準用ス

第十二號



外圓 直徑二・五糎
肉色朱

第十三號



外圓 長徑二・五糎
短徑二糎
肉色朱

第十四號



直徑一・五糎
肉色朱

備考

様式第五號備考ハ第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ付之ヲ準用ス

蠶絲業法施行規則

第十五號



模樣面 縱一・五糎
横三糎
色合紅

備考

様式第五號ノ備考ハ第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ使用スルモノニ付之ヲ準用ス但シ色合ハ青ヲ用フルコト

第十六號



長徑一糎
短徑〇・七糎
肉色朱

備考

第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ在リテハ肉色ハ青ヲ用フルコト

蠶絲業法關係法規

第十七號

消印
縣府道

縱二・五
橫一・五
肉色黑

備考

様式第五號備考ハ第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ付之ヲ準用ス但シ肉色ハ黒ヲ用フルコト

第十八號



外圓
直徑二・五
肉色朱

備考

第七十四條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ在リテハ「府縣蠶業試驗場」トアル箇所ニ之ヲ押捺スル者ノ名稱ヲ表ハスコト

第二十號

第 號

免許期間自 年 月 日
至 年 月 日

免許證

道府縣印

住所氏

年月日生 名

業種

右履主住所氏

名(名稱)

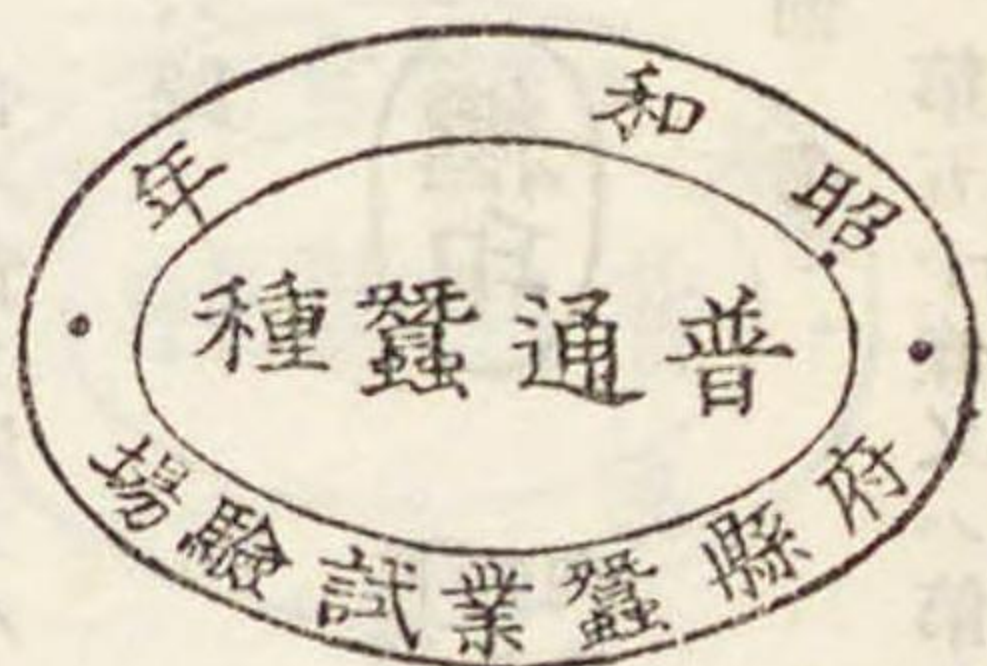
縱九
橫七

備考

- 一 業種ハ免許ヲ受ケタル業種例ヘバ「蠶種賣買」、「蠶種行商」、「生繭買入」等ト記載スルコト
- 二 免許證ノ裏面ニハ寫眞ヲ貼付スルコト

蠶絲業法施行規則

第十九號



外圓
長徑二・五
短徑二
肉色朱

備考

様式第十八號備考ハ第七十四條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ付之ヲ準用ス

第二十一號

(業主)

第 號

蠶種行商(桑苗行商)之證

道府縣印

年月日

面

裏

面

住所氏

年月日生 名

縱九
橫六

(從業者)

第 號
桑苗行商從業者之證
道府 縣印
年 月 日

縱九糶
橫六糶

裏 面	住所 氏 名
右屋主 住所 氏 名(名稱)	年月日生

第二十二號

蠶兒飼育場所 (蠶種製造場所) (生繭取扱場所)	住 氏 所 名(名稱)
--------------------------------	----------------

縱四〇糶以上
橫一〇糶以上

第二十三號

所在 面積	住 氏 所 名(名稱)
-------	----------------

幅一〇糶以上
高サ地上ヨリ一二〇糶以上

備考

所在ハ市町村、大字、字及地番ヲ記載スルコト

第二十四號

第 號	農林省 蠶業取締官吏(吏員)證票 (道府縣) 印
官 職	氏 名

縱九糶
橫七糶

道府縣蠶絲業法施行手續標準

昭和四年十二月十四日附
四蠶局第三五六號

- 第一條 蠶絲業法施行規則第一條ノ規定ニ依ル蠶種製造ノ免許願書ハ様式第一號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ
- 前項ノ願書ニハ左ノ書類ヲ添付スベシ
- 一 履歷書及蠶絲業法施行規則第二條第一項第四號ノ規定ニ該當セザル旨ノ市町村長ノ證明書
 - 二 蠶種製造ノ管理者ヲ置ク場合ニ於テハ管理者ニ付前號ノ書類
 - 三 蠶種製造又ハ蠶兒飼育ノ用ニ供スル建物ノ平面圖
 - 四 出願者法人ナルトキハ其ノ定款
- 蠶種製造ノ免許ヲ爲シタルトキハ様式第二號ニ依ル蠶種製造免許證ヲ交付ス
- 第二條 蠶種製造者死亡シ、業務ヲ廢止シ又ハ免許ヲ取消サレタルトキハ遲滯ナク蠶種製造免許證ヲ返納スベシ但シ死亡ノ場合ニ於テハ其ノ相續人、戶主又ハ家族ヨリ之

道府縣蠶絲業法施行手續標準

ヲ返納スベシ

第三條 蠶絲業法施行規則第五條ノ規定ニ依ル蠶種製造届ハ何月何日迄ニ様式第三號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

前項ノ期日以後ニ於テ蠶種製造ノ免許ヲ受ケタル者ハ遲滯ナク前項ノ届書ヲ提出スベシ

第四條 蠶絲業法施行規則第六條ノ規定ニ依ル生繭取扱届ハ毎年何月何日迄ニ様式第四號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ但シ生繭取扱場所ヲ豫定スルコトヲ得ザル者ニ在リテハ生繭取扱開始ノ日ヨリ少クトモ何日前迄ニ之ヲ提出スベシ

毎年同一ノ場所ニ於テ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニシテ其ノ旨ヲ前項ノ届書ニ附記シタルモノハ前項ノ届書ハ毎年之ヲ提出スルコトヲ要セズ

第五條 蠶絲業法施行規則第六條、第十二條及第十三條ノ規定ハ毎年何月何日以後(何地ニ又ハ何地以外ノ地ニ)之ヲ適用セズ

第六條 蠶絲業法施行規則第八條ノ規定ニ依ル業務承繼ノ許可ヲ受ケントスル者ハ家督相續又ハ遺産相續ノ別ヲ記載シタル申請書ニ戶籍謄本並ニ第一條第二項第一號及第二號ノ書類ヲ添附シ知事ニ之ヲ提出スベシ

業務承繼ノ許可アリタルトキハ蠶種製造免許證ノ書換ヲ

申請スベシ

第七條 蠶絲業法施行規則第十五條ノ規定ニ依ル蠶室及蠶具ノ消毒ハ蠶兒ノ飼育又ハ蠶種ノ製造ヲ爲ス毎ニ其ノ前ニ於テ之ヲ行フベシ

第八條 蠶絲業法施行規則第十六條ノ掃立屑ハ蠶種製造用蠶兒ノ掃立後遲滞ナク様式第五號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

第九條 蠶絲業法施行規則第十八條第二項ノ規定ニ依リ掃立口ヲ合併シ又ハ分割シタルトキハ其ノ旨ヲ蠶種製造者ニ通知ス

第十條 蠶絲業法施行規則第二十條ノ規定ニ依ル蠶兒讓渡屑ハ様式第六號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

第十一條 蠶絲業法施行規則第二十一條ノ繭検査請求書ハ様式第七號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

第十二條 蠶絲業法施行規則第二十二條第二項但書ノ許可ヲ受ケ蠶種製造用繭ヲ蠶兒飼育場所以外ニ搬出セントスル者ハ掃立屑ト同時ニ様式第八號ニ依リ申請書ヲ知事ニ提出スベシ

第十三條 蠶絲業法施行規則第二十四條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ繭検査合格證又ハ種繭證明書ノ裏書ヲ申請セントスル者ハ様式第九號ニ依リ申請書ヲ知事ニ、同條

第二項又ハ第三項ノ規定ニ依リ種繭證明書ノ交付ヲ受ケントスル者ハ様式第十號ニ依リ申請書ヲ讓渡人ノ所轄蠶業取締所ヲ經由シ知事ニ提出スベシ

第十四條 蠶絲業法施行規則第二十五條第一項ノ規定ニ依ル蠶種製造廢止屑ハ様式第十一號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

蠶絲業法施行規則第二十三條ノ繭検査合格證又ハ同則第二十四條ノ種繭證明書アル種繭ニ依ル蠶種ノ製造ヲ廢止シタルトキハ全部ノ廢止ニ在リテハ其ノ繭検査合格證又ハ種繭證明書ヲ返納シ、一部ノ廢止ニ在リテハ様式第九號ニ依リ裏書申請書ヲ知事ニ提出スベシ

第十五條 蠶絲業法施行規則第二十七條第三項ノ符號ハ數字ヲ用ヒ、同則第三十條第一項第一號ノ記號ハ平假名ヲ用フベシ

第十六條 蠶絲業法施行規則第三十條第一項ノ規定ニ依リ蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記載スベキ品種名ハ交雜ニ依リ製造シタル蠶種ニ在リテハ雌蛾ヲ右ニ雄蛾ヲ左ニ記載スベシ

第十七條 蠶種ノ臺紙又ハ容器ニハ蠶絲業法施行規則第三十條、第四十七條第二項、第四十八條、第六十四條第三項又ハ第六十五條ノ規定ニ依リ記載スベキ文字ノ外文字

若ハ圖形等ヲ記載シ又ハ著色スルコトヲ得ズ但シ知事ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ知事ニ提出スベシ

一 文字、圖形等及色合

二 許可ヲ受ケントスル理由

第十八條 蠶絲業法施行規則第三十一條第一項但書ノ許可ヲ受ケ新ニ化性又ハ品種名ヲ用ヒントスル者ハ蠶兒ノ掃立前ニ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ知事ニ提出スベシ

一 化性及品種名

二 品種ノ沿革

三 品種ノ特性

四 新ニ用ヒントスル化性又ハ品種名

五 許可ヲ受ケントスル理由

六 蠶種製造額豫定數

前項ノ申請アリタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ原蠶種ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第十九條 蠶絲業法施行規則第三十二條第一項但書ノ承認ヲ受ケ蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記載シタル文字ノ訂正、増加又ハ抹消ヲ爲サントスル者ハ其ノ蠶種ヲ蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル蠶業取締所ニ提出シ承認ノ申請ヲ爲ス

第二十條 蠶絲業法施行規則第三十三條但書ノ許可ヲ受ケ交雜ニ依ル原蠶種ノ製造ヲ爲サントスル者ハ繭検査終了後遲滞ナク様式第十二號ニ依リ申請書ヲ知事ニ提出スベシ

第二十一條 蠶絲業法施行規則第三十四條ノ原蠶種検査請求書ハ様式第十三號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

前項ノ請求書ニハ繭検査合格證又ハ種繭證明書ヲ添付スベシ

第二十二條 蠶絲業法施行規則第三十五條ノ普通蠶種歩合検査請求書ハ様式第十四號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

前項ノ請求書ニハ繭検査合格證又ハ種繭證明書ヲ添付スベシ

第二十三條 蠶絲業法施行規則第三十六條第一項ノ普通蠶種再検査請求書ハ歩合検査ニ不合格ト爲リタル旨ノ通知ヲ受ケタル後何日以内ニ様式第十五號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

第二十四條 蠶絲業法施行規則第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行フ繭ノ検査ニ合格シタル種繭ヲ用ヒテ製造シタル蠶種ニ付同則第三十七條但書ノ許可ヲ受ケ同則第三十四條乃至第三十六條ノ規定ニ依リ蠶種ノ検査ヲ請求セント

スル者ハ様式第十六號ニ依ル申請書ヲ知事ニ提出スベシ
第二十五條 蠶絲業法施行規則第三十八條ノ移入又ハ輸入
蠶種検査請求書ハ様式第十七號ニ依リ知事ニ之ヲ提出ス
ベシ

第二十六條 蠶絲業法施行規則第四十七條第一項ノ規定ニ
依リ蠶種ノ容器ニ検査合格證印ノ押捺、封緘證印ノ押捺
又ハ封緘證紙ノ貼附ヲ受ケントスル者ハ様式第十八號ニ
依ル請求書及其ノ容器ヲ所轄蠶業取締所ニ提出スベシ
前項ノ請求書ニハ舊容器及已ムヲ得ザル事由ヲ證スルニ
足ル書類又ハ臺紙ヲ添附スベシ

第二十七條 蠶絲業法施行規則第三十九條第二項ノ規定ニ
依リ蠶種ノ検査ヲ拒ミタルトキ又ハ同則第四十七條第三
項ノ規定ニ依リ検査合格證印ノ押捺、封緘證印ノ押捺若
ハ封緘證紙ノ貼附ヲ拒ミタルトキハ其ノ旨ヲ蠶種製造者
ニ通知ス

第二十八條 蠶絲業法施行規則第五十一條ノ許可ヲ受ケン
トスル者同則第五十六條ノ規定ニ依リ検査ニ關スル方法
ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請
書ヲ知事ニ提出スベシ
一 標本調製ノ方法
二 鏡檢ノ方法

三 合格又ハ不合格ノ決定方法

第二十九條 蠶絲業法施行規則第五十九條第二項ノ規定ニ
依ル原蠶種検査届ハ検査開始ノ日ヨリ少クトモ何日前迄
ニ様式第十九號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

第三十條 蠶絲業法施行規則第六十八條第二項ノ規定ニ依
ル原蠶種検査成績報告ハ検査終了後何日以内ニ様式第二
十號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

第三十一條 蠶絲業法施行規則第六十九條ノ規定ニ依ル繭
検査済届ハ繭ノ検査終了後遅滞ナク様式第二十一號ニ依
リ知事ニ之ヲ提出スベシ

第三十二條 蠶絲業法施行規則第八十二條ノ規定ニ依ル桑
苗生産届ハ何月何日迄ニ様式第二十二號ニ依リ知事ニ之
ヲ提出スベシ

第三十三條 蠶絲業法施行規則第八十四條但書ノ許可ヲ受
ケ桑苗ヲ讓渡サントスル者ハ様式第二十三號ニ依ル申請
書ヲ知事ニ提出スベシ

前項ノ申請書ニハ讓受人連署スベシ
第三十四條 蠶絲業法施行規則第八十五條ノ免許ヲ受ケン
トスル者ハ様式第二十四號ニ依ル願書ヲ知事ニ提出スベ
シ

前項ノ願書ニハ履歷書及寫眞ノ外蠶絲業法施行規則第八

十六條第一項第二號ニ該當セザル旨ノ市町村長ノ證明書
ヲ添附スベシ寫眞ハ名刺形トシ出願前六ヶ月以内ニ帽ヲ
著ケズ半身ニテ撮影シ臺紙ニ貼附セザルモノニシテ裏面
ニ撮影年月日及氏名ヲ記載スベシ

第三十五條 蠶絲業法施行規則第八十五條ノ免許ヲ受ケタ
ル者死亡シ、業務ヲ廢止シ若ハ免許ヲ取消サレタルトキ
又ハ免許ノ期間滿了シタルトキハ遅滞ナク免許證ヲ返納
スベシ但シ死亡ノ場合ニ於テハ其ノ相續人、戸主、家族
又ハ雇主ヨリ之ヲ返納スベシ

第三十六條 蠶絲業法施行規則第八十五條第三項ノ規定ニ
依リ免許期間ノ更新ヲ申請セントスル者ハ様式第二十五
號ニ依ル申請書ヲ知事ニ提出スベシ
前項ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ寫眞ノ提出ヲ
命ズルコトアルベシ

第三十七條 蠶絲業法施行規則第八十七條ノ鑑札ノ交付ヲ
受ケントスル者ハ様式第二十六號ニ依ル申請書ヲ知事ニ
提出スベシ

鑑札ノ有効期間ハ交付ノ日ヨリ何年トス但シ其ノ期間ハ
申請ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得
前項但書ノ申請ヲ爲サントスル者ハ様式第二十五號ニ依

道府縣蠶絲業法施行手續標準

ル申請書ヲ知事ニ提出スベシ

第三十八條 第三十五條ノ規定ハ蠶絲業法施行規則第八十
七條ノ鑑札ノ交付ヲ受ケタル者死亡シ若ハ業務ヲ廢止シ
又ハ鑑札ノ有効期間滿了シタル場合ニ付之ヲ準用ス

第三十九條 蠶種製造免許證、蠶絲業法施行規則第八十五
條ノ免許證又ハ同則第八十七條ノ鑑札ヲ亡失シ若ハ毀損
シ又ハ記載事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ遅滞ナク再交付
又ハ書換ヲ知事ニ申請スベシ

第四十條 第二條、第十四條第二項、第十七條、第三十五
條若ハ第三十八條ノ規定ニ違反シタル者又ハ第十八條若
ハ第二十條ノ申請書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者ハ五十圓
以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四十一條 本令ニ依リ知事ニ提出スベキ書類ハ所轄蠶業
取締所ヲ經由スベシ

第四十二條 蠶業取締所及其ノ支所ノ名稱、位置及管轄區
域左ノ通定ム

蠶絲業法關係法規

名稱	位置	管轄區域

蠶業取締所又ハ其ノ支所ノ出張所ヲ設ケタルトキハ其ノ名稱、位置、管轄區域及開閉期日ハ之ヲ告示ス

附 則

本令ハ昭和四年法律第十八號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

様式

第一號

蠶種製造免許願

住所

名(名稱)

四八

蠶種製造場所 管理者ノ氏 名及住所	蠶種製造ノ用ニ供 スル建物ノ棟數	蠶數	室 平面積	概 定製造額	蠶兒飼育場所 擔當者ノ氏名	蠶兒飼育ノ用ニ供 スル建物ノ棟數	蠶數	室 平面積	掃立蟻量概定數	右免許相成度此段相願候也	知事宛	年 月 日	氏	名(名稱)印

第二號

第 號

蠶種製造免許證

住所

名(名稱)

蠶絲業法第五條ニ依リ蠶

種製造者タルコトヲ免許

ス

年月日

道府縣印

道府縣蠶絲業法施行手續標準

第三號

蠶種製造届

原蠶種製造額	豫定製造額	普通蠶種製造額	計	蠶種製造場所	蠶兒飼育場所	住所	右及届出候也	知事宛	年 月 日	氏	名(名稱)印

四九

蠶絲業法關係法規

第四號

生繭取扱屆

取扱場所	取扱豫定期間	取扱豫 定數量	管理 者ノ 氏名 住所
	開始 月日		

右及届出候也

住所

年月日

業種氏

名(名稱)印

知事宛

備考

業種ハ「生絲製造業」、「繭賣買業」、「繭乾燥業」等ト記載スベシ

第五號

蠶兒掃立屆

掃立 口ノ 記號	蠶兒 飼育 場所	化性 品種 名	原蠶 種ノ 記號 (名稱)	原蠶 種者 氏名 住所	掃立 時期 (卵 量)	掃立 時期 (卵 量)

右及届出候也

住所

年月日

氏

名(名稱)印

知事宛

第六號

蠶兒讓渡屆

掃立口ノ記號	讓渡前ノ蠶 兒飼育場所	化性	品名	原蠶種製造者ノ 氏名(名稱)	掃立月日	掃立蟻量	讓渡數量	讓渡後ノ蠶 兒飼育場所	讓受人ノ氏名 (名稱)及住所	讓渡月日

右及届出候也

住所

年月日

氏

名(名稱)印

知事宛

道府縣蠶絲業法施行手續標準

第七號

繭検査請求書

掃立口 ノ記號	蠶兒 飼育 場所	化性 品種 名	系統	上簇ノ 時期	始期	終期	收繭 月日	右及請求候也

右及請求候也

住所

年月日

氏

名(名稱)印

知事宛

第八號

繭搬出許可申請書

記口掃立 號ノ立	場飼蠶兒 所育兒	化性 品種名	月豫收 日定繭	數豫收 量定繭	月豫搬 日定出	數豫搬 量定出	所先搬 場出

右何ノ事由ニ因リ許可相成度此段及申請候也

年月日 住所 氏 名(名稱)印
知事宛

第九號

繭檢查合格證(種繭證明書)裏書申請書

記口掃立 號ノ立	化性 品種名	數種繭 量ノ	月(護 廢止)渡	住(護 廢止)渡 名(護 廢止)渡 所及

右及申請候也

年月日 住所 氏 名(名稱)印
知事宛

第十號

種繭證明書交付申請書

記口掃立 號ノ立	場飼蠶兒 所育兒	化性 品種名	系統	種繭 讓渡人 氏名	讓受 月日	蠶種製 造場所

右及申請候也

年月日 住所 氏 名(名稱)印
知事宛

道府縣蠶絲業法施行手續標準

第十一號

蠶種製造廢止届

記口掃立 號ノ立	場飼蠶兒 所育兒	化性 品種名	原製蠶 種製者 氏名	掃立蠶 種製者 氏名	掃立蠶 種製者 氏名	掃立蠶 種製者 氏名	廢止 數量	廢止 數量	廢止 數量

右及届出候也

年月日 住所 氏 名(名稱)印
知事宛

蠶絲業法關係法規

第二十四號

蠶種(生繭)賣買(仲立)(行商)免許願

住所

氏名

一業種

二業主又ハ從業者ノ別

右免許相成度此段相願候也

年月日

知事宛	右雇主		住所	氏名	印
	住	所			
	氏	所	氏	名	印
				名(名稱)印	

備考

一業種ハ「蠶種賣買」、「蠶種行商」、「生繭賣買」、「生繭買入」等ト記載スベシ

二從業者ノ場合ニ於テハ雇主連署スベシ

第二十五號

蠶種(生繭)賣買(仲立)免許(鑑札有效)期間更新願

住所

氏名

一業種

二免許證(鑑札)ノ番號

三免許ノ期間(鑑札ノ有効期間)

右更新相成度此段相願候也

年月日

知事宛	右雇主		住所	氏名	印
	住	所			
	氏	所	氏	名	印
				名(名稱)印	

備考

一業種ハ「蠶種賣買」、「蠶種行商」、「生繭賣買」、「生繭買入」、「桑苗行商」等ト記載スベシ

二從業者ノ場合ニ於テハ雇主連署スベシ

第二十六號

蠶種(桑苗)行商鑑札交付申請書

住所

氏名

年月日生

一業種

二業主又ハ從業者ノ別

右交付相成度此段及申請候也

年月日

知事宛	右雇主		住所	氏名	印
	住	所			
	氏	所	氏	名(名稱)印	

備考

一業種ハ「蠶種製造」、「桑苗生産」、「桑苗賣買」ト記載スベシ

二從業者ノ場合ニ於テハ雇主連署スベシ

道府縣蠶絲業法施行手續標準

蠶業取締所規程

明治四十四年十月十六日農商務省令第三十一號
改正 大正九年十一月二十五號
改正 大正九年八月十八號

第一條 地方長官蠶業取締所ヲ設置セムトスルトキハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 蠶業取締所又ハ其ノ支所ハ道府縣内須要ノ地ニ之ヲ設ク但シ必要アル時期ニ限り其ノ出張所ヲ設クルコトヲ得

蠶業取締所、支所及出張所ノ管轄區域及開閉月日ハ地方長官之ヲ定ム

第三條 蠶業取締所ノ産業職員左ノ如シ

所長

技師

主事

技手

主事補

所長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ但シ主事又ハ技手ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第四條 地方長官ハ蠶業取締所處務規程ヲ定ムヘシ

第五條 地方長官ハ蠶業取締所、支所又ハ出張所ノ位置、

上ノ蟻酸「アルデヒド」ヲ含有スル攝氏二十四度以上ノ液ニ投入シ六十時間以上之ヲ放置スルコト

三 石灰水ヲ用フル場合ニ於テハ百分中十分ノ生石灰ヲ含有スル液ニ投入シ十五時間以上之ヲ放置スルコト

四 乾燥ヲ行フ場合ニ於テハ攝氏七十二度以上ノ火熱又ハ蒸氣熱ヲ用ヒ生繭重量百ニ對シ四十以內ニ至ラシムルコト

第三條 蠶絲業法施行規則第十二條第一項ノ規定ニ依リテ爲ス蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ヲ防グニ足ル設備トシテハ少クトモ目張ヲ爲シ又ハ澁紙其ノ他緻密ナル目ノ敷物ヲ敷クベシ

第四條 蠶絲業法施行規則第十五條ノ規定ニ依ル蠶室及蠶具ノ消毒方法左ノ如シ

一 「フオルマリン」撒布消毒

蠶室ニ在リテハ其ノ周圍ヲ密閉シ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ室内ノ面積十平方メートルニ對シ百分中一分以上ノ蟻酸「アルデヒド」ヲ含有スル液四百六十立方センチメートルノ量ヲ用ヒ噴霧器ニテ天井、四圍及床板ニ撒布シ撒布後十五時間以上室ヲ密閉シ置クベシ但シ充分ニ密閉シ難キ室、撒布面ノ粗雜ナル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

ル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

管轄區域、開閉月日、所長又ハ支所長ノ命免ヲ公示スヘシ
附 則

本令ハ蠶絲業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（明治四十五年一月一日ヨリ施行）

蠶絲業法施行心得

大正七年一月十二日農商務省告示第十五號
全部 昭和五年二月農林省告示第六十七號
改正

第一條 蠶絲業法施行規則第九條ノ規定ニ依リ蠶蛆又ハ其ノ蛹若ハ蠶ヲ熱殺シ又ハ水殺スル方法左ノ如シ

一 熱殺ハ熱湯中ニ浸漬シ、攝氏百度以上ノ蒸氣ニ接觸セシメ、攝氏七十二度以上ノ乾熱ニ十分間以上接觸セシメ又ハ燒棄スルコト

二 水殺ハ水中ニ蠶蛆ハ七十時間以上、其ノ蛹ハ百二十時間以上浸漬スルコト

第二條 蠶絲業法施行規則第十條ノ規定ニ依リ蠶兒、蠶蛹、蠶蛾、其ノ屍體、死籠繭又ハ薄皮繭ヲ處理スル方法左ノ如シ

一 熱湯ヲ用フル場合ニ於テハ其ノ中ニ一時間以上浸漬シ又ハ五分間以上煮沸スルコト

二 「フオルマリン」ヲ用フル場合ニ於テハ百分中一分以

キ室ニ在リテハ其ノ液ノ量ヲ適宜増加スベシ

蠶具ニ在リテハ攝氏二十四度以上ノ室内ニ於テ百分中一分以上ノ蟻酸「アルデヒド」ヲ含有スル液ヲ蠶網、蠶筵及蠶箔ノ類ハ一枚毎ニ、蠶架ノ類ハ一箇毎ニ表裏全面ノ潤フ迄撒布シ順次堆積シ菰又ハ筵等ヲ以テ之ヲ覆ヒ十五時間以上放置スベシ

二 蒸氣消毒

桶又ハ箱等ニ蠶具ヲ容レ之ニ蒸氣ヲ通ジ三十時間以上攝氏百度以上ノ溫度ヲ保タシムベシ但シ蠶具ニ百分中一分ノ蟻酸「アルデヒド」ヲ含有スル液ヲ撒布シタルトキハ二十時間以上、千分中五分ノ蟻酸「アルデヒド」ヲ含有スル液ヲ撒布シタルトキハ三十時間以上攝氏六十度以上ノ溫度ヲ保タシムルヲ以テ足ル

三 蟻酸「アルデヒド」瓦斯消毒

室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上、濕度ヲ七十五「パーセント」以上ト爲シ室ノ立方積二十七立方メートルニ付蠶箔二百枚以下及厚筵四百枚（皆川筵ハ二枚、蠶網ハ五枚ヲ以テ厚筵一枚ト看做ス）以下ヲ納メ二百二十グラム以上ノ瓦斯ヲ發散セシメ六時間以上室ヲ密閉シ置クベシ

前項ノ場合ニ於テ蠶具ヲ重積スルトキハ厚筵ハ二枚、

蠶絲業法關係法規

皆川庭ハ四枚、蠶網ハ十枚ヲ以テ限度トスベシ

四 昇水消毒

蠶室ニ在リテハ千分中五分ノ昇水及十分ノ鹽酸又ハ五分ノ食鹽ヲ含有スル液ヲ雜巾ノ類ニ含マシメテ天井、四圍及床板ヲ擦拭シ又ハ噴霧器若ハ如露等ヲ以テ撒布シ全面ヲ充分潤ハシメ三十分間以上之ヲ放置スベシ
蠶網、蠶庭及蠶箔ノ類ニ在リテハ千分中二分ノ昇水及十分ノ鹽酸又ハ二分ノ食鹽ヲ含有スル液ニ之ヲ浸漬シ三十分間以上濕潤ノ状態ニ置クベシ
蠶架其ノ他浸漬シ難キ蠶具ニ在リテハ蠶室消毒ノ方法ニ準ズベシ

五 「クロール」石灰水消毒

百分中五分ノ「クロール」石灰ヲ加ヘタル水ヲ數時間放置シタル後其ノ上澄液ヲ用ヒ蠶室ノ昇水消毒ノ方法ニ準ジ消毒ヲ行フベシ但シ「クロール」石灰ハ百分中二十五分以上ノ有效鹽素ヲ含有スルモノタルコトヲ要ス

第五條 蠶絲業法施行規則ニ依ル繭色ハ黃、金黃、綠、白、筥及紅ノ六種ノ區別ニ依ルベシ
蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記載スベキ繭色ハ其ノ蠶種ヨリ産出スル繭ニ依ルベシ

雜種、支歐交雜種等

第九條 蠶絲業法施行規則第六十八條第一項ノ規定ニ依リ報告スベキ検査成績ハ別記様式ニ依リ之ヲ作成スベシ

第十條 蠶絲業法施行規則第八十四條ノ害菌トハ紫紋羽病菌、白紋羽病菌及根朽病菌ヲ、害蟲トハ桑介殼蟲ヲ、著シク發育ノ不良ナル桑苗トハ著シク根張不良ナルモノ及實生苗ニ在リテハ幹長二十五センチメートル、其ノ他ノ苗ニ在リテハ幹長六十センチメートルニ達セザルモノヲ謂フ

(別記)

様式

第一表 繭検査成績

純粹種	固定種	交雜種	合計	繭検査成績	
				合格口數	不合格口數

第二表 蠶種検査成績

第一號 原蠶種

蠶絲業法施行心得

第六條 蠶量、卵量及臺紙ノ重量ハグラムヲ單位トシ單位未滿ノ數ハ之ヲ四捨五入スベシ

繭ノ數量ハキログラムヲ單位トスベシ但シ一リットル以下ノ繭ノ數量ハグラムヲ單位トスベシ

第七條 蠶絲業法施行規則ニ依ル品種名ハ漢字又ハ平假名ニ依リ之ヲ記載スベシ但シ慣用ノ文字アルモノハ之ニ依リ記載スベシ

移入シ又ハ輸入シタル蠶種ノ品種名ハ原品種名ヲ翻譯スルコトヲ得ルモノニ在リテハ其ノ譯語ヲ漢字ニ依リ、原品種名ヲ翻譯スルコト能ハザルモノニ在リテハ原品種名ヲ片假名ニ依リ記載スベシ但シ原品種名ニ漢字又ハA、B、C其ノ他ノ符號ヲ用フルモノニ在リテハ其ノ儘之ヲ記載スベシ

第八條 蠶絲業法施行規則ニ依ル系統ハ左ノ例ニ依リ之ヲ記載スベシ

- 一 純粹種ニ在リテハ日本種、支那種、歐羅巴種
- 二 固定種ニシテ系統ノ明カナルモノニ在リテハ日支固定種、支支固定種、支歐固定種、日支歐固定種等、其ノ明カナラザルモノニ在リテハ日本種系固定種、支那種系固定種、歐羅巴種系固定種
- 三 交雜種ニ在リテハ日日交雜種、支支交雜種、日支交

純粹種	固定種	交雜種	合計	越年		合格	不合格	其ノ他	計
				越年	不越年				

備考

本表ハ框製、袋製其ノ他ノ一蛾別製ノ製造方法別ニ之ヲ作成スベシ

第二號 普通蠶種

(甲) 歩合検査

純粹種	固定種	交雜種	合計	繭検査成績	
				合格口數	不合格口數

備考

- 一 蠶種數量ノ欄ニハ卵量及蛾數ヲ併記スベシ
- 二 本表ハ平附及散卵ノ製造方法別ニ之ヲ作成スベシ

合 計	交 雜 種	固 定 種	純 粹 種	合 格		不 合 格	計
				蠶 瓦	蠶 瓦		

(甲) 表備考ハ本表ニ付之ヲ準用ス

蠶絲業法施行事務取扱規程

- 大正六年十二月二十七日農商務省訓令第二十一號
 - 改正大正十五年四月同第七號
 - 改正大正十五年五月同第三號
 - 全部改正昭和五年三月農林省訓令第三號
 - 改正昭和八年八月同第一號
- 第一條 蠶絲業法施行ニ關スル事務ニシテ他ノ地方長官ノ事務ニ關係有スル場合ニ於テハ適當ナル方法ヲ以テ相五ニ協定又ハ通知ヲ爲スベシ
- 第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ蠶絲業法施行規則第二條乃至第四條ノ適用ニ付テハ之ヲ蠶絲業ニ關スル知識經驗アル者トシテ取扱フベシ

- 一 實業專門學校若ハ之ト同等以上ノ學校又ハ元農商務省蠶業講習所本科ノ卒業者ニシテ養蠶ニ關スル學科目及實習ヲ修メタルモノ
 - 二 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニシテ一年以上蠶種製造ノ實務ニ從事シタルモノ
 - (イ) 尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年若ハ高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年ノ實業學校又ハ之ト同等以上ノ實業學校ノ卒業者ニシテ養蠶ニ關スル學科(養蠶科又ハ蠶業科等)ヲ修メタルモノ
 - (ロ) 元農商務省蠶業講習所ノ養蠶別科、東京高等蠶絲學校ノ養蠶實科又ハ京都高等蠶業學校ノ蠶業實科(大正十三年以前ノ別科ヲ含ム)ヲ卒業シタル者
 - (ハ) 實業專門學校ノ養蠶科又ハ蠶種科ノ選科生トシテ蠶體解剖學及蠶體生理學、蠶體病理學、養蠶學、蠶種學、栽桑學、蠶體解剖學及蠶體生理學實驗、蠶體病理學實驗、養蠶實習、蠶種學實驗、蠶種製造實習、圃場實習ヲ修メタルモノ
 - 三 地方長官ノ適當ト認ムル學校、試驗場又ハ講習所等ニ於テ一年以上ノ期間ニ依リ養蠶ニ關スル學科目及實習ヲ修メタル者ニシテ二年以上蠶種製造ノ實務ニ從事シタルモノ
- 第三條 繭検査合格證又ハ種繭證明書ニ記載スベキ繭形ハ

依形、橢圓形、卵形、紡錘形、球形等ノ區別ニ依リ且縊目ノ深淺、形ノ大小又ハ長短等ヲ記載スベシ

第四條 原蠶種ノ母蛾ニ付顯微鏡検査ヲ行フ場合ニ於テハ一蛾毎ニ二枚ノ標本ヲ調製セシメ二人ノ吏員ヲシテ各一枚ヲ鏡檢セシムベシ

第五條 原蠶種ト爲サントスル移入又ハ輸入蠶種ニシテ一蛾毎ニ卵ト對照スルコト能ハザルモノノ母蛾ニ付顯微鏡検査ヲ行フ場合ニ於テハ一蛾毎ニ一鏡面ヲ鏡檢セシムベシ

第六條 母蛾又ハ卵ニ付顯微鏡検査ヲ行フ場合ニ於テ微粒子ヲ發見セザルモノト決定スルニハ一鏡面毎ニ五視野以上ヲ鏡檢セシムベシ

第七條 再検査ヲ行フ場合ニ於テ臺紙又ハ産卵用紙布一枚ニ付新ニ十蛾以上ノ母蛾ヲ採ルコト能ハザルトキハ蠶絲業法施行規則第四十二條ノ適用ニ付テハ其ノ蠶種ノ母蛾ニシテ歩合検査ニ用ヒタルモノヲ加フルコトヲ得此ノ場合ニ於テ歩合検査ニ用ヒタル母蛾ニ微粒子ヲ發見シタルモノアルトキハ必ズ之ヲ加ヘ不合格トシテ取扱フベシ

第八條 蠶絲業法施行規則第四十四條第三項ノ移入又ハ輸入原蠶種検査合格證印ヲ押捺スベキ蠶種ハ交雜種タラザルコトヲ要ス

蠶絲業法施行事務取扱規程

第九條 蠶絲業法施行規則第四百條ノ規定ニ依リ報告スベキ蠶業取締事務成績ハ別記様式ニ依リ之ヲ作成スベシ但シ沖繩縣ヲ除クノ外昭和四年度分ニ限り従前ノ例ニ依リ之ヲ作成スベシ

第十條 蠶絲業法第三十七條第一項ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク其ノ顛末ヲ報告スベシ

第十一條 蠶業取締所ニハ蠶種製造者臺帳、生繭取扱者臺帳、蠶種賣買仲立行商免許臺帳、生繭賣買仲立買入免許臺帳、繭検査臺帳、原蠶種検査臺帳、普通蠶種歩合検査臺帳、普通蠶種再検査臺帳、移輸入蠶種検査臺帳、桑苗生産者臺帳、蠶種行商者臺帳及桑苗行商者臺帳ヲ備ヘ置クベシ

(別記)

第一表 蠶種製造者數様式

實 數	原蠶種製造者	普通蠶種製造者	實 數	
			春蠶期	夏秋蠶期

蠶絲業法關係法規

第二表 自家用原蠶種ノ検査ヲ爲ス者ノ數

蠶絲業法施行規則第五十一條第一項ノ許可ヲ受ケタル者	同業組合聯合會	
	同業組合	
同則第五十一條第二項ノ許可ヲ受ケタル者		

第三表 原蠶種掃立數量

合計	交雜種	固定種	純粹種	蠶		蠶量
				道府縣	蠶種製移入及蠶場製造者製輸入原蠶種	

備考

蠶數明カナラザルモノニ在リテハ推定ニ依リ之ヲ記載スベシ

第四表 繭検査成績

合計	交雜種	固定種	純粹種	掃立口數		繭數量	
				合格	不合格計	合格	不合格計

第五表 蠶種検査成績

第一號 原蠶種

合計	交雜種	固定種	純粹種	合格		不合格		計
				不越年	越年	不越年	越年	

備考

本表ハ框製、袋製其ノ他ノ一蛾別製ノ製造方法別ニ之ヲ作成スベシ

第二號 普通蠶種

(甲) 歩合検査

合計	交雜種	固定種	純粹種	掃立口數		蠶種數量	
				合格	不合格計	合格	不合格計

備考

- 一 蠶種數量ノ欄ニハ卵量及蛾數ヲ併記スベシ
- 二 本表ハ平附及散卵ノ製造方法別ニ之ヲ作成スベシ

(乙) 再検査

蠶絲業法施行事務取扱規程

備考

(甲) 表備考ハ本表ニ付之ヲ準用ス
(丙) 越年不越年別

合計	交雜種	固定種	純粹種	合格		不合格		計
				不越年	越年	不越年	越年	

備考

本表ハ歩合検査及再検査ヲ通シタル成績ヲ記載シ歩合検査ニ於テ不合格トナリタルモノニシテ再検査ヲ受ケザルモノハ之ヲ不合格中ニ記載スベシ

(丁) 春蠶用夏秋蠶用別

合計	純粹種		固定種		交雜種		計		合格	不合格	計	合格	不合格	計
	春蠶用	夏秋蠶用	春蠶用	夏秋蠶用	春蠶用	夏秋蠶用	春蠶用	夏秋蠶用						

備考

(丙) 表備考ハ本表ニ付之ヲ準用ス

(戊) 白繭種黃繭種別

備考

一 白繭種トハ白色又ハ笹色ノ繭ヲ營ム蠶ノ種類ヲ謂ヒ黃繭種トハ黄色、金黄色、紅色又ハ綠色ノ繭ヲ營ム蠶ノ種類ヲ謂フ
二 (丙) 表備考ハ本表ニ付之ヲ準用ス

實數	普通蠶種	原蠶種	移入者	輸入者	輸出者	合計	純粹種		固定種		交雜種		計		合格	不合格	計
							春蠶用	夏秋蠶用	春蠶用	夏秋蠶用	春蠶用	夏秋蠶用	春蠶用	夏秋蠶用			

第七表 移入又ハ輸入蠶種検査成績

第一號 原蠶種

(甲) 検査ヲ請求シタルモノノ品種名及數量

合計	品種名	製造地	數量			
			框製	袋製	其他	計

備考

數量欄ニハ蠶數明カナルモノニ在リテハ蠶數ヲ、蠶數明カナルモノニ在リテハ卵量ヲ、蠶數明カナルモノニ在リテハ推定ニ依リ蠶數ヲ記載スベシ

(乙) 母蛾又ハ卵ニ付行フ検査

合計	地	製造	母蛾ニ付行フ検査		卵ニ付行フ検査	
			合格	不合格	合格	不合格

蠶絲業法施行事務取扱規程

備考

(甲) 表備考ハ本表ニ付之ヲ準用ス
(丙) 官署又ハ公署ノ證明ニ付行フ検査

合計	品種名	製造地	合格				不合格	計
			平	附	散	卵		

備考

(甲) 表備考ハ本表ニ付之ヲ準用ス

第二號 普通蠶種

(甲) 検査ヲ請求シタルモノノ品種名及數量

合計	品種名	製造地	數量			
			平	附	散	卵

備考

數量欄ニハ卵量明カナルモノニ在リテハ卵量ヲ、卵

蠶絲業法施行事務取扱ニ關スル件

昭和五年三月二十七日附蠶局第九一號蠶絲局長通牒

三月二十七日附蠶第九〇一號ヲ以テ大正七年農第一、二、九號内訓蠶絲業法施行事務ニ關スル件廢止相成候旨及通牒候處右ハ大正六年農商務省訓令第二十一號蠶絲業法施行事務取扱規程及前記内訓中重要ナル事項ト認メラルモノヲ昭和五年農林省訓令第三號蠶絲業法施行事務取扱規程ニ一括制定セラレタル結果ニ有之候條同規程ニ規定セザル事務ニ關シテハ左記ニ依リ御取扱相成様致度此段及通牒候也

記

第一 蠶絲業法施行規則第八條ノ許可ハ相續人カ同則第二條各號ノ一ニ該當セサル場合ニ之ヲ爲スコト但シ同則施行ノ際現ニ蠶種製造者タルモノノ相續人カ引續キ業務ヲ承繼セムトスル場合ニ於テハ一年間ノ蠶種製造額概定數十萬蛾以上タルコトヲ要セス
第二 蠶絲業法施行規則第十八條第二項ノ規定ニ依ル掃立口ノ合併又ハ分割ハ蠶種ノ素質改良ニ效果アリト認ムル場合及検査ノ迅速且確實ヲ期スル爲必要アリト認ムル場合ニ限リ之ヲ爲スコト

第三 蠶絲業法施行規則第二十二條第二項但書ノ許可ハ検査ノ進捗ヲ圖ル爲又ハ種繭ノ保護若ハ蠶種ノ製造ノ爲必要ニシテ且弊害ナシト認ムル場合ニ之ヲ爲スコト
第四 蠶絲業法施行規則第二十四條第一項及第三項ノ規定ニ依リ繭検査合格證又ハ種繭證明書ノ裏書ヲ爲ス場合ハ讓渡シタル種繭ノ數量及年月日、讓受人ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スルコト
第五 蠶絲業法施行規則第三十一條第一項但書ノ許可ヲ爲シ又ハ同條第三項ノ變更ヲ命セムトスル場合ニ於テハ蠶業試驗場其ノ他適當ナル機關ニ於テ其ノ品種ニ付必要ナル調査ヲ行ハシムルコト但シ明カニ其ノ性状ヲ認識スルコトヲ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス
第六 蠶絲業法施行規則第三十七條但書ノ許可ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ之ヲ爲スコト
一 蠶絲業法施行規則第五十條第一項ノ許可ヲ受ケタル同業組合又ハ同業組合聯合會繭ノ検査ヲ行ヒタル後蠶種ノ検査ヲ廢止シ又ハ天災其ノ他不可抗力ノ事由ニ因リ蠶種ノ検査ヲ行フコトヲ得サルニ至リタル爲其ノ組合員又ハ所屬組合ノ組合員ヨリ蠶種検査ノ申請アリタルトキ
二 蠶絲業法施行規則第五十條第一項ノ許可ヲ受ケタル

同業組合又ハ同業組合聯合會ノ組合員又ハ所屬組合ノ組合員當該同業組合又ハ同業組合聯合會ニ付繭ノ検査ヲ受ケタル後天災其ノ他不可抗力ノ事由ニ因リ蠶種ノ製造ヲ行フコトヲ得サルニ至リタル爲繭ノ検査ニ合格シタル種繭ヨリ製造シタル蠶種ニ付蠶種検査ヲ申請アリタルトキ
三 蠶絲業法施行規則第五十條第二項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者繭ノ検査ヲ行ヒタル後天災其ノ他不可抗力ノ事由ニ因リ蠶種ノ検査ヲ行フコトヲ得サルニ至リタル爲自ラ行ヒタル繭ノ検査ニ合格シタル種繭ヨリ製造シタル蠶種ニ付蠶種検査ヲ申請シタルトキ
四 蠶絲業法施行規則第五十條第二項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者繭ノ検査ヲ行ヒタル後天災其ノ他不可抗力ノ事由ニ因リ蠶種ノ製造又ハ蠶種ノ検査ヲ行フコトヲ得サルニ至リタル爲自ラ行ヒタル繭ノ検査ニ合格シタル種繭ヲ蠶種製造者ニ讓渡シタル場合ニ於テ讓受人ヨリ其ノ讓受ケタル種繭ヨリ製造シタル蠶種ニ付蠶種検査ノ申請アリタルトキ

蠶絲業法施行事務取扱ニ關スル件

キ、同則第六十七條第一項ノ規定ニ依リ同條第一項第一號乃至第三號ニ該當スル旨ノ届出アリタルトキ及同則第七十條第二項ノ規定ニ依リ許可ヲ取消シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ報告スルコト
第八 蠶絲業法施行規則第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行ヒタル原蠶種ノ検査成績ハ同法施行事務取扱規程様式第五表第一號及第八表ニ準シ之ヲ作成シ毎年五月三十一日迄ニ前年度分ヲ報告スルコト
第九 蠶絲業法施行規則第五十一條第三項但書ノ許可ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ之ヲ爲スコト
一 蠶絲業法施行規則第五十一條第一項ノ許可ヲ受ケタル同業組合又ハ同業組合聯合會ノ組合員又ハ所屬組合ノ組合員當該同業組合又ハ同業組合聯合會ニ付検査ヲ受ケタル後天災其ノ他不可抗力ノ事由ニ因リ其ノ蠶種ノ全部又ハ一部ヲ自家用ニ供スルコトヲ得サルニ至リタルトキ
二 蠶絲業法施行規則第五十一條第二項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者検査ヲ行ヒタル後天災其ノ他不可抗力ノ事由ニ因リ其ノ蠶種ノ全部又ハ一部ヲ自家用ニ供スルコトヲ得サルニ至リタルトキ
三 蠶絲業法施行規則第五十一條第二項ノ許可ヲ受ケタル

(乙) 普通蠶種

品 種 名	化 性	越 年、 不 越 年ノ別	系 統	繭 色	製 造 數 量	
					合 格	不 合 格
合 計					蠶 瓦	蠶 瓦

第三號 蠶種配付成績

品 種 名	化 性	越 年、 不 越 年ノ別	原 配	蠶 種	普 通	蠶 量	種
合 計				蠶 瓦			蠶 瓦

蠶絲業法施行規則第七十四條ノ
專任職員ノ資格並同則第百三條
ノ成績報告ニ關スル件

昭和五年三月三十一日附蠶
局第九四號蠶絲局長通牒

從來ノ蠶絲業法施行規則第七十四條ノ專任職員ノ資格ニ關
シテハ曩ニ廢止セラレタル大正七年農第一、二一九號內訓

蠶絲業法施行事務ニ關スル件第八條ノ規定ニ依リ取扱致居
候處今後ニ於テモ右ト同様ニ取扱致度尙同則第七十二條及
第七十四條ノ許可ヲ受ケタル者ノ同則第百三條ノ規定ニ依
リ報告スヘキ成績ハ別途及通牒候蠶業試驗場成績報告ノ様
式ニ依ラシムル様致度候條可然御取計相成度此段及通牒候
也
追而昭和四年度ノ成績ハ従前ノ例ニ依リ作成スル様致度

文部省直轄學校ヨリ配付スヘキ
蠶種ノ件

大正七年三月九日附農第二六七
二號文部大臣宛農商務大臣通牒

尙同則第七十二條ノ許可ヲ受ケタル者ニ在リテハ様式中
第一號及第二號ノミニ付之ヲ作成シ且昭和五年度ノ成績
ヨリ報告セシムル様致度申添候
貴省直轄農蠶ニ關スル學校ニシテ學術研究ノ爲蠶種ノ製造
配付ヲ爲サントスル場合又ハ蠶絲業法第四條第一項ノ適用
ヲ免レムトスル場合ニハ從來許可ノ手續ヲ要シ候處今回蠶

絲業法ノ改正ニ伴ヒ同法施行規則ヲ改正シ總テ之ヲ要セザ
ルコトニ相定メ又其ノ配付蠶種ハ同法施行規則第七十一條
ノ規定ニ依リ之ヲ原蠶種又ハ普通蠶種ト指定致シ候ニ就テ
ハ之カ製造及検査ノ方法ハ原蠶種ト爲スヘキモノニ在リテ
ハ同法施行規則中原蠶種ニ關スル規定ニ、普通蠶種ト爲ス
ヘキモノニ在リテハ普通蠶種ニ關スル規定ニ準據セシメ且
之ニ押捺スヘキ證印ハ原蠶種ハ様式第十九號、普通蠶種ハ
様式第二十號ニ準セシメラレ候様訓令相成尙配付蠶種ニ關
シ前年ニ於ケル事項ヲ左記様式ニ依リ毎年三月三十一日迄
ニ本大臣ニ報告セシメラレ度此段及通牒候也

大正 年配付蠶種ニ關スル成績表

計	化 性	品 種 名	系 統	繭 色	掃立	掃立	所 要 繭 額		蠶 種 製 造 額			
					蠶 數	蠶 量	繭 其ノ他	計	原 蠶	種 製 造	普 通 蠶	種
					蠶	分	合	合	蠶	蠶	蠶	蠶

備 考

一 移入又ハ輸入蠶種ニシテ蛾數ヲ知リ難キモノハ卵量ニ依リ推定シタル蛾數ヲ用ウヘシ
蠶絲業法施行規則第七十四條ノ專任職員ノ資格並同則第百三條ノ
成績報告ニ關スル件 文部省直轄學校ヨリ配付スヘキ蠶種ノ件

蠶絲業法關係法規

- 二 一蛾別飼育ヲ爲シタルモノニシテ蟻量ヲ知り難キモノハ蛾數ニ依リ推定シタル蟻量ヲ用ウヘシ
- 三 普通蠶種ハ枚數ト蛾數トヲ併記スヘシ
- 四 所要繭額及蠶種製造額ハ掃立蟻量ニ依ルモノト購入種繭ニ依ルモノトニ分チ別行ニ記載スヘシ

蠶絲業法ニ關スル違反事件報告

ノ件

昭和六年一月地方蠶絲業主任官 協議會ニ於ケル注意事項ノ六

蠶絲業法ニ關スル重大ナル犯罪事件アリタルトキハ昭和五年三月二十七日附蠶局第九一號蠶絲局長通牒蠶絲業法施行事務取扱ニ關スル件第十四ニ依リ其ノ都度之ヲ報告シ又其ノ事件ノ處分結了シタルトキハ遲滞ナク其ノ概要ヲ報告スヘキモノナル處往々之カ實行ヲ爲ササルモノアリ之レ一ハ重大ナル犯罪ニ付道府縣ノ見解ヲ異ニスルニ由ルヘキヲ以テ今後ハ蠶絲業法第三十七條ノ二、第三十八條、第三十九條ノ規定ニ該當スル場合ノ如キハ必ス之ヲ報告セラレタシ

蠶絲業法施行ニ關スル吏員ノ件

明治四十四年十一月十四日農第一六七三六號內訓
改正 大正九年八月農第一一四九九號內訓

第一 地方待遇職員令第五條第四號ニ依ル職員ハ左ノ資格

格ノ一ヲ有スル者ヨリ之ヲ任用スヘシ

- 一 明治四十一年農商務省令第一號蠶病豫防吏員檢定試驗規則ニ依リ試驗ヲ受ケ其ノ合格證書ヲ有スル者
- 二 高等小學卒業若ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル女子ニシテ道府縣ニ於テ特設シタル機關ニ依リ蠶體病理、蠶體生理、養蠶法、顯微鏡使用法ノ學科及蠶病検査ノ實習ヲ三箇月以上ノ期間ニ於テ修得シ其ノ試験ニ合格シタル者

蠶絲業法施行ニ關スル吏員設置

ノ件

大正九年八月十七日附農局 第一三二七號農務局長通牒

今般蠶業取締所規程中改正相成候處右ハ從來ノ蠶業取締吏員ヲ待遇官吏ニ優遇スルノ途ヲ設ケタルモノニシテ蠶業取締所ノ職員ヲ悉ク第三條ノ産業職員ニ改メシムルノ趣旨ニハ無之尤モ地方待遇職員令ニ依ル資格ヲ有シ常置ノ要アル者ハ經費ノ許ス限リ産業職員ト爲スハ至當ノコトト被考候ヘ共經費其ノ他ノ關係モ可有之ニ付蠶絲業法第二十二條ノ規定ニ依リ検査及蠶病豫防ノ事務ニ從事セシムヘキ吏員ハ右産業職員ノ外蠶業取締吏員及蠶種検査吏員トシテ採用シ

蠶絲業法 蠶絲業法 蠶絲業法 蠶病豫防事務
=關スル 施行ニ關 施行ニ關 爲地方ニ配
違反事件 スル吏員 設置シタル技師
報告ノ件 ノ件 設置ノ件 及技手ノ件

蠶絲業法施行規則第五十條又ハ第五
十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行フ蠶
種ニ關スル検査ニ從事スル者及蠶種
検査ノ管理者ノ資格ニ關スル件

ヲ有スル者ヨリ任用スヘシ

- 一 地方長官ノ相當ト認ムル學校、講習所、製造所又ハ試驗場等ニ於テ一年以上ノ期間ニ依リ蠶體病理、蠶體生理、蠶體解剖、養蠶法ノ學科、養蠶及蠶病検査ノ實習ヲ修得シ其ノ證書ヲ有スル者
- 二 蠶種検査員、蠶病豫防吏員又ハ蠶業取締吏員ノ職ニ在リタル者
- 第三 蠶業取締吏員ニハ臨檢、検査及原蠶種ノ検査其ノ他ノ事務ヲ執ラシメ蠶種検査吏員ニハ專ラ普通蠶種ノ検査ノミニ從事セシムヘシ但シ顯微鏡検査ニ熟練ナル蠶種検査吏員ヲシテ原蠶種ノ母蛾ノ検査ニ從事セシムルコトヲ得
- 第四 蠶業取締吏員ハ第一ノ規定ニ準シ任用スヘシ
- 第五 蠶種検査吏員ハ蠶業取締吏員タルノ資格又ハ左ノ資

從來ト等シク之ヲ蠶業取締所ニ所屬セシムル趣旨ニ有之候條御承知相成度此段及通牒候也
追テ蠶絲業法施行ノ吏員ニ關スル內訓ハ不日改正セララル管ニ有之爲念申添候

蠶病豫防事務ノ爲地方ニ配置シタル技師及技手ノ件

大正九年八月十九日附農局 第一三五五號農務局長通牒

從來蠶病豫防事務ノ爲地方ニ配置セラレタル技師又ハ技手ハ蠶業取締所規程改正ノ結果産業技師又ハ産業技手ト爲スニ非サレハ蠶業取締所長ト爲スヲ得サルヤノ件ニ付問合セノ向モ有之候處右國庫支辨ノ官吏ハ當然蠶業取締所長又ハ其ノ職員ト爲スヲ得ル義ニ有之候條御承知相成度爲念此段及通牒候也

蠶絲業法施行規則第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行フ蠶種ニ關スル検査ニ從事スル者及蠶種検査ノ管理者ノ資格ニ關スル件

昭和五年一月十一日農林省告示第五號
改正昭和八年八月十六日農林省告示第二九九號

- 一 繭ノ検査ニ從事スル者
- (イ) 實業専門學校若ハ之ト同等以上ノ學校又ハ元農商務省蠶業講習所本科ノ卒業者ニシテ養蠶ニ關スル學科目及實習ヲ修メタルモノ
 - (ロ) 尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年若ハ高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年ノ實業學校又ハ之ト同等以上ノ實業學校ノ卒業者ニシテ養蠶ニ關スル學科(養蠶科又ハ蠶業科等)ヲ修メタルモノ
 - (ハ) 元農商務省蠶業講習所ノ養蠶別科、東京高等蠶絲學校ノ養蠶實科又ハ京都高等蠶業學校ノ蠶業實科(大正十三年以前ノ別科ヲ含ム)ヲ卒業シタル者
 - (ニ) 實業専門學校ノ養蠶科又ハ蠶種科ノ選科生トシテ蠶體解剖學及蠶體生理學、蠶體病理學、養蠶學、蠶種學、栽桑學、蠶體解剖學及蠶體生理學實驗、蠶體病理學實驗、養蠶實習、蠶種學實驗、蠶種製造實習、圃場實習ヲ修メタルモノ
 - (ホ) 蠶業取締吏員ノ職ニ在リタル者
- 二 蠶種ノ検査ニ從事スル者

- (イ) 前號(イ)乃至(ホ)ニ該當スル者
 - (ロ) 明治四十一年農商務省令第一號蠶病豫防吏員檢定試驗規則ニ依リ試驗ヲ受ケ其ノ合格證書ヲ有スル者
 - (ハ) 高等小學校卒業又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ニシテ道府縣ノ蠶業取締所又ハ蠶業試驗場等ニ於テ三月以上ノ期間ニ依リ蠶體病理、蠶體生理、養蠶法及顯微鏡使用法ノ學科目竝ニ蠶種検査ノ實習ヲ修メ其ノ試驗ニ合格シタルモノ
 - (ニ) 蠶病豫防吏員又ハ蠶種検査吏員ノ職ニ在リタル者
- 三 蠶種検査ノ管理者
第一號(イ)ニ該當スル者

蠶絲業法施行規則第八條ノ解釋
ニ關スル件

昭和三年六月二十二日附蠶
第一七九〇號蠶絲局長通牒
蠶絲業法施行規則第八條ニ所謂蠶種製造者ノ相續人トハ業務ヲ承繼セル相續人ヲ指スモノニシテ其ノ家督相續人タルト遺產相續人タルト問ハサルモノトス

移輸入蠶種ノ品種名記載例

大正七年三月二十八日農
第一九一三號次官名通牒

第一 純粹種	
原產地	現ニ品種名トシテ用キラルル文字
支那	Bianco chinese Chinese bianco Chinois doré
	品種名トシテ記載スヘキ文字
	支 白 繭(伊) 支 金 黃 繭(佛)

伊太利	Chinese oro	支 金 黃 繭(伊)
	Chinese oro puro	純 支 金 黃 繭(伊)
	Chinese bianco puro	純 支 白 繭(伊)
	Chinese roseo	支 紅 繭(伊)
	Chinois doré spherique	支 球 形 金 黃 繭(佛)
	Giallo roseo Han-kow	漢 口 紅 繭(伊)
	Han-kow roseo	
伊太利	Abruzzo	アブルツツオ
	Ascoli	アスコリ
	Ascoli Piceno	アスコリピチェー
	Bione	ビオーネ
	Blanc pur Novi	純ノヴイ白繭
	Blanc italien	伊 白 繭
	Brianza	ブリアンツア
	Fossombrone	フォッソムブロー
	Giallo Abruzzo	アブルツツオ黃繭
	Giallo Ascoli	アスコリ黃繭
	Giallo Bione	ビオーネ黃繭
	Giallo Marche	マルケ黃繭
	Giallo Milanese	ミラン黃繭

蠶絲業法施行規則第八條ノ解釋ニ關スル件
移輸入蠶種ノ品種名記載例

Giallo Perugia	パールシア黄繭
Giallo indigeno	伊黄繭
Giallo puro indigeno	純伊黄繭
Grav Sasso	グラン・サッソー
Gubbio	グッピオ
Istria	イストリア
Jaur e Ascoli	アスコリア
Jaune Fermo	フェルモ黄繭
Majella	マジェラ
Marche	マッセル
Messina	メッシ
Novi	ノヴィ
Racconigi	ラッコニギ
Sericio roseo a bacco n.oro	暗色蠶球形紅繭
Tosca o	トスカ
佛蘭西	佛蘭西
Alpes	アルプ
Blave pur	佛純白繭
Blave pur indigène	佛純白繭
Oévenes	セヴエン
Cogolin Var	コゴラン・ヴァ

Corse	コル
Drome	ドロム
Giallo Pirenei	ピレネ
Giallo Varo	ヴァール
Jaune pur spécial	佛特別純黄繭
Jaune sphérique	佛球形黄繭
Papillons noirs	黒蛾
Pyénées	ピレネ
Robinet, Sina	ロビネ
Rolland	ローランド
Roussillon	ルーシヨン
St. Julien	サン・ジュリアン
Var	ヴァ
西班牙	西班牙
Sierra Morena	シエラ・モレナ
Spain	スペイン
Bagdad	バグダ
Brousse	ブルグ
土耳其	土耳其
雜其ノ他	亞細亞黄繭
Giallo Asiatico	亞細亞黄繭
Giallo O S	亞細亞黄繭

第二 交雜種

現ニ品種名トシテ用キラルル文字	品種名トシテ記載スヘキ文字
Croisement japonais à fem. jaune	日本白繭交雜種 (日本白繭種トバ黄繭種トヲ交雜シタルモノ)
Incrocio chinese bianco Croisement chinois à fem. blanc Croisement chinois à fem. jaune	支那白繭交雜種 (支那白繭種トバ黄繭種トヲ交雜シタルモノ)
Incrocio d'inese oro No. 201	ピシアロ
Bi giallo	支那金黄繭種ト歐羅巴黄繭種トヲ交雜シタルモノ
Bigiallo oro	支那金黄繭種ト歐羅巴黄繭種トヲ交雜シタルモノ
Bigiallo serico	支那金黄繭種ト歐羅巴黄繭種トヲ交雜シタルモノ
Bigiallo serico extra No. 303	支那金黄繭種ト歐羅巴黄繭種トヲ交雜シタルモノ
Incrocio cinese oro	支那金黄繭種ト歐羅巴黄繭種トヲ交雜シタルモノ
Bi giallo oro	支那金黄繭種ト歐羅巴黄繭種トヲ交雜シタルモノ
Bi giallo Dorato	支那金黄繭種ト歐羅巴黄繭種トヲ交雜シタルモノ
Bi jaune chinis doré à fem. doré	支那金黄繭種ト歐羅巴黄繭種トヲ交雜シタルモノ
Bi jaune chinis doré à fem. jaune	支那金黄繭種ト歐羅巴黄繭種トヲ交雜シタルモノ

移輸入蠶種ノ品種名記載例

Poligiallo	ポリシアロ
Poligiallo extra	支那紅繭種ト歐羅巴黄繭種トヲ交雜シタルモノ
Poligiallo extra No. 55	支那紅繭種ト歐羅巴黄繭種トヲ交雜シタルモノ
Pibiarco	白繭同志交雜種 (二種ノ白繭種ヲ交雜シタルモノ)

備考
蠶ノ品種名トシテ現ニA、B、Cノ如キ「アル」ヲ用キ得ル
「アル」ヲ用ウルモノアルトキハ其ノ儘之ヲ用キ得ル
附 譯 語 例

伊 太 利	佛 蘭 西	譯 語
Giallo	Jaune	黄
Bianco	Blanc	白
Roseo	Rose	紅
Oro	Or	金
Puro	Doré	純
Speziale	Pur	特別
Sericio	Spécial	球形
Chine e	Sphérique	支那
Bacco moro	Chinois	蠶ノ形別
—	Ver noir	暗色

蠶品種名ニ關スル件

大正八年五月二十七日附農局第三六三號通牒

當省蠶業試驗場ニ於テ選出セル蠶ノ品種ニハ他ト甄別シ易カラシメムカ爲從來國蠶何號ナル品種名ヲ附シ之ヲ配付シツツアルハ普ク一般ノ熟知セル管ニ有之候處近來蠶業試驗場配付以外ノ品種ニシテ國蠶ナル文字ヲ冠シタルモノ有之候趣斯クテハ蠶業試驗場ノ配付蠶種ト紛ラハシク優良種ノ普及上支障尠ナカラスト認メ候條萬一貴管下ニ右様品種名ノ蠶種有之候場合ニハ蠶絲業法施行規則第三十二條第二項ニ依リ品種名ノ變更ヲ命ジ國蠶ナル文字ヲ削除セシメラル様致度此段及通牒候也

追テ大正七年度ニ於テ蠶業試驗場ヨリ地方原蠶種製造所其ノ他へ配付セル原蠶種品種名及蠶ニ配付セシコトアルモ今ハ之ヲ中止セルモノノ品種名左記ノ通ニ候ニ付爲念申添候也

大正七年度配付原蠶種品種名

一 化 性

- (日本種) 國蠶日一號 國蠶日四號
- (支那種) 國蠶支三號 國蠶支四號

(歐羅巴種)

- 國蠶支五號 國蠶支七號
- 國蠶支八號 國蠶支九號
- 國蠶支十一號 國蠶支十二號
- 國蠶歐一號 國蠶歐三號
- 國蠶歐五號 國蠶歐六號
- 國蠶歐七號 國蠶歐九號
- 國蠶歐十號

二 化 性

- (日本種) 國蠶日一〇二號 國蠶日一〇四號
- 國蠶日一〇五號 國蠶日一〇六號
- 國蠶日一〇七號 國蠶日一〇八號
- (支那種) 國蠶支一〇一號

蠶ニ配付セシコトアルモノ今ハ之ヲ中止セルモノノ品種名

一 化 性

- (日本種) 國蠶日二號 國蠶日三號
- 國蠶日五號 國蠶日六號
- (支那種) 國蠶支一號 國蠶支二號
- 國蠶支六號
- (歐羅巴種) 國蠶歐二號 國蠶歐四號
- 國蠶歐十一號 國蠶歐十二號

二 化 性

- (日本種) 國蠶日一〇一號 國蠶日一〇三號

蠶品種名整理統一ニ關スル件

昭和五年二月八日附五蠶局第四一號蠶絲局長通牒

蠶品種ハ一時整理ノ實ヲ舉ケタルモ近時再ヒ混亂ノ兆ヲ呈シ種々ノ新名稱ヲ用ヒ爲ニ品種名ニ依リテハ其ノ固有ノ性質ヲ判斷シ難キモノ尠カラサルニ至リタルハ遺憾ノ義ニ有之候ニ付過般當省ニ開催ノ地方蠶業試驗場長協議會ニ於テ之カ對策ニ付協議ヲ求メ候處左記二項ハ目的達成上特ニ重要ナル事項トシテ決議セラレ候然ルニ第一項ニ付テハ地方ノ事情ニ依リ夫々御考慮相成居候義ト存候ヘ共第二項ニ關シテハ曩ニ大正五年八月三日附農第八〇七九號農務局長名ヲ以テ地方ニ於ケル原蠶種ノ製造配付ハ當省蠶業試驗場ノ事務ニ關係ヲ及ホスコトアルニ依リ之カ計畫ニ付テハ其ノ設定變更共ニ各管轄地ノ蠶業試驗場支場ト打合セテ爲スヘキ旨通牒ノ次第モ有之候處當省蠶業試驗場支場ノ廢止ニ伴ヒ解釋上ノ疑義ヲ生シ自然打合セテ缺ク向モ有之中央及地方蠶業試驗場ノ聯絡上遺憾尠カラス候條爾今貴縣蠶業試驗場ニ於テ新品種ノ配付ヲ爲ス必要アル場合ハ慎重ナル調査

蠶品種名ニ關スル件 蠶品種名整理統一ニ關スル件 蠶ノ新品種性狀報告ニ關スル件

研究ヲ遂ケタル上當省蠶業試驗場ト打合セテ爲サシムル様致度此段及通牒候也

記

- 一 道府縣ニ於テ適當ナル方法ニ依リ蠶品種選定整理ニ關スル機關ヲ設クルコト
- 二 地方蠶業試驗場ニ於ケル新品種ノ配付ハ慎重ナル調査研究ノ上國ノ蠶業試驗場ト打合セノ上之ヲ決定スルコト

蠶ノ新品種性狀報告ニ關スル件

昭和六年二月十八日附六蠶局第四八號蠶絲局長通牒

繭検査ノ完璧ヲ期スル爲ニハ當該品種固有ノ繭色及繭形ヲ詳知スルヲ必要ト致シ候處近時蠶ノ新品種選出セララルニ當リ中ニハ當該品種固有ノ繭色及繭形ノ詳カナラサルモノ可有之斯クテハ繭検査ノ施行上支障尠カラスト認メラレ候條爾今蠶業試驗場ニ於テ新品種ヲ選出配付シ、移入又ハ輸入蠶種ニシテ新品種名ノ附シアルモノ及蠶絲業法施行規則第三十一條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ新品種名ヲ認メ又ハ品種名ノ變更ヲ命シタル場合ニ於テハ其ノ都度該品種ニ付左記事項御報告相成様致度此段及通牒候也

追而御報告ノ事項ハ其ノ都度各府縣ニ之ヲ通知シ繭検査施行上ノ參考ニ資スヘク條條爲念申添候

記

名	品種	化性系統	春蠶用、夏秋蠶用ノ別	蟻蠶體ノ色	蠶兒斑繭色	繭形	品種ノ沿革

備考

- 一、規則第三十一條ノ場合ハ前品種名ヲモ肉書スルコト
- 二、品種名ニハ假名ヲ附シ記載スルコト
- 三、繭色ハ黃、金黃、綠、白、笹及紅ノ六色ニ區別シ記載シ更ニ濃淡ヲ附記スルコト
- 四、繭形ハ俵形、橢圓形、卵形、紡錘形、球形等ノ區別ニ依リ且縊目ノ深淺、形ノ大小又ハ長短等ヲ記載スルコト
- 五、蟻蠶ノ體色、蠶兒ノ斑紋、繭色、繭形欄ノ記載例ハ左記ニ依ルコト

原蠶種ノ提出ヲ求ムルコト有之ヘク條條併セテ示達相成度

蠶絲業法施行ニ關スル件

昭和七年十二月二十二日附七蠶局第七二二號蠶絲局長通牒

蠶品種ハ近時整理ノ實ヲ擧ケツツアリト雖昭和六年二月十八日附六蠶局第四八號通牒ニ依リ處理相成居候蠶品種ノ性狀報告ヲ觀ルニ尙種々ノ新名稱ヲ用ヒ爲ニ品種名ニ依リテハ其ノ固有ノ性狀ヲ判斷シ難キモノ尠カラス洵ニ遺憾ノ義ニ有之候ニ付テハ移入又ハ輸入蠶種ト雖其ノ原種ノ品種名ヲ襲用スヘキハ法規ノ精神ニ鑑ミ當然ナルヲ以テ其ノ検査ニ當リテハ篤ト精査シ故ラニ新品種名ヲ用ヒムトスル者ニ對シテハ嚴ニ之ヲ戒メ且既ニ用ヒラルル品種名ニ付テモ可成之カ整理ヲ爲ス様適當ノ措置ヲ採ラレ度此段及通牒候也

蠶兒飼育場所ニ關スル件

昭和八年四月地方蠶絲業關係官協議會ニ於ケル注意事項ノ(二)

蠶種製造免許願書ニ記載スヘキ蠶兒飼育場所ハ甲乙兩蠶種製造者ノ蠶兒飼育場所タルコトヲ得サルモノト解シツツア地方蠶業試驗場配布新品種ノ蠶絲業法施行ニ關スル件

第一例	體色ノ蠶兒ノ繭色	黑	形	白	俵(淺縊)
第二例	黑褐	形(淡)	白	長	俵(淺縊)
第三例	暗褐	姫	綠	橢圓(短)	
第四例	褐	形、姫	黃(濃)	橢圓(大)	
第五例	暗褐	混(形ヲ)	黃(淡)	球(小)	

地方蠶業試驗場配付新品種ノ打合せニ關スル件

昭和七年四月十一日附七蠶局第一四七號蠶絲局長通牒

地方蠶業試驗場ニ於テ新品種ノ配付ヲ爲ス必要アル場合ハ豫メ本省蠶業試驗場ニ打合せヲ爲ス様昭和五年二月八日附五蠶局第四一號ヲ以テ通牒致置候處本省蠶業試驗場ニ於テモ品種ノ性狀調査致度候條今後右打合せノ際ハ交雜用品種ニ在リテハ其ノ交雜蠶種ヲ交雜用ニ非サル品種ニ在リテハ其ノ原蠶種ヲ框製又ハ其ノ他一蛾別製トシテ三十蛾以上ヲ同場ニ提出セシメラルル様致度此段及通牒候也

追テ交雜用品種ニ付調査ノ必要アリト認ムル場合ハ其ノル向アルモ現ニ甲蠶種製造者ノ蠶兒飼育場所タルモノト雖蠶兒飼育時期又ハ建物ヲ異ニスル場合ハ勿論同一時期ニ於ケル同一建物ト雖嚴重ナル區別ヲ設ケ混合ノ虞ナク且取締上支障ナシト認ムル場合ハ他ノ蠶種製造者ノ蠶兒飼育場所タルコトハ敢テ差支ナキヲ以テ右ニ依リ取扱ハレタシ

移輸入蠶種ノ検査ニ關スル件

昭和十年八月二十七日附取締所長宛蠶業課長申進

今般農林省令第二十二號蠶絲業法施行規則中改正ニ依リ移輸入蠶種ニ付テモ同則第四十七條ノ規定ヲ適用セラルルコトト相成候ニ付検査後散卵ト爲ス目的ヲ以テ産卵セシメタル紙布ノ儘移輸入蠶種ノ検査ノ請求アリタル場合ハ左記ニ依リ御取扱相成度爲念此段申進候也

記

- 一 蠶種ニハ検査前其ノ紙布(蠶絲業法ヲ施行セサル地ニ於テ製造セラレタル蠶種ニ付テハ蠶種臺紙ニ關スル規定ナキヲ以テ紙布ニ産卵セシメタル場合ト雖之ヲ臺紙ト看做ス)ニ第三十條第二項ニ掲クル事項ヲ記載セシムルコト
- 二 検査ニ合格シタル蠶種ニハ其ノ紙布ニ様式第十三號ニ蠶兒飼育場所 移輸入蠶種ノ検査ニ關スル件 八九

蠶絲業法關係法規

- 依ル移入又ハ輸入普通蠶種検査合格證印ヲ押捺スルコト
- 三 前號ノ蠶種ヲ散卵ト爲シ容器ニ納メタル場合ハ第四十七條ニ依ル取扱ヲ爲シ不用トナリタル紙布ノ検査合格證印ヲ抹消スルコト

繭及蠶種ノ検査許可ニ關スル件

(蠶絲業法施行規則第五十條第二項ノ許可ノ際申請者ニ對スル蠶絲局長通牒)

何月何日附申請標記ノ件何月何日附ヲ以テ別途許可相成候處蠶種製造場所ハ申請書記載ノ通トシテ許可相成タル義ニ付之ヲ變更シ又ハ増設セムトスル場合ニ於テハ其ノ飼育場所トノ集繭關係ト共ニ承認ヲ受ケラレ度尙検査ノ施行ニ當リテハ自治検査ニ關スル蠶絲業法又ハ同法施行規則ノ規定ヲ遵守スルハ勿論自治検査ノ趣旨ニ違反セサル様慎重留意シ且左記事項了知相成度此段及通牒候也

追テ検査施行ニ關シテハ地方長官ニ於テモ隨時現場ニ付監督ヲ爲スコトアルヘキニ付了知相成度

- 一 蠶種製造場所ニハ繭検査日誌及繭検査臺帳ヲ、蠶種検査場所ニハ蠶種検査日誌、原蠶種検査臺帳及普通蠶種検査臺帳ヲ備ヘ置クヘシ但シ蠶種製造場所ヨリ遠隔ノ地ニ

- 蠶兒飼育場所ヲ設ケタル場合ハ其ノ地ニ適宜事務所ヲ置キ蠶兒飼育臺帳ヲ備ヘ置クヘシ
- 一 蠶種検査場所ハ之ヲ消毒シ検査用具ヲ洗滌シタル汚水ハ濫リニ他ヘ放流スヘカラス
- 一 普通蠶種ノ歩合検査ハ各容器ヨリ略同數ノ母蛾ヲ採取シテ之ヲ行フヘシ
- 一 別表ニ定ムル様式ニ依リ左記各號ノ書類ヲ各様式ニ掲クル期限迄ニ農林大臣ニ提出スヘシ
- 一 蠶種製造豫定届
- 二 蠶兒掃立届
- 三 繭検査済届
- 四 蠶種検査済届
- 五 原蠶種品種別検査成績
- 六 普通蠶種品種別検査成績
- 一 申請書記載ノ蠶兒飼育場所所在府縣以外ノ府縣ニ於テ新ニ蠶兒飼育場所ヲ設ケタルトキハ遅滞ナク其ノ場所ヲ届出ツヘシ
- 一 蠶絲業法施行規則第三十七條但書ノ許可ヲ受ケ蠶種ノ検査ヲ受ケタルトキハ遅滞ナク其ノ旨届出ツヘシ
- 一 繭及蠶種ノ検査成績ハ蠶絲業法施行心得第九條ニ依リ報告スヘキモ別ニ右成績ヲ蠶種製造場所別ニ同様式ニ依

リ作成シ毎年四月三十日迄ニ提出スヘシ

(別表)

様式

第一表 蠶種製造豫定届

届出期限 三月三十一日

計	飼育場所數	原蠶種製造額豫定數		普通蠶種製造額豫定數	
		越年	不越年	越年	不越年
春蠶期					
夏秋蠶期					
計					

備考

本表ハ蠶種製造場所別ニ之ヲ作成スヘシ

第二表 蠶兒掃立届 届出期限 掃立後十日以内

市町村名	蠶兒飼育場所數	掃立口數	化性及品種名	掃立月日 自 至	掃立蛾數 (卵量) 蠶死	掃立蟻量 瓦
計						

備考 本表ハ蠶種製造場所別ニ之ヲ作成スヘシ

繭及蠶種ノ検査許可ニ關スル件

蠶絲業法關係法規

第三表 繭檢查濟屆 屆出期限 檢查終了後三十日以内

繭兒飼育場所 所在地市町村名	掃立口數	收繭數量	合格數量		檢查月日
			種	繭	
			至	自	月 日
計					

備考

本表ハ蠶種製造場所毎ニ春蠶及夏秋蠶別ニ之ヲ作成スヘシ

第四表 蠶種檢查濟屆

屆出期限 檢查終了後三十日以内

原蠶種	製造額	鏡檢蛾數	檢查日數	檢查月日	檢查員人數	延人員	檢查員一人一日ノ鏡檢蛾數
普通蠶種							
計(實數)							

備考

本表ハ蠶種檢查場所別ニ之ヲ作成スヘシ

第五表 原蠶種品種別檢查成績

屆出期限 檢查終了後三月以内

品種名	化學性	系統	合計	合格	不合格	其他	計
計							

備考

本表ハ蠶種製造場所別ニ之ヲ作成スヘシ

第六表 普通蠶種品種別檢查成績

屆出期限 檢查終了後三月以内

品種名	化學性	越年	不系	統繭	色	春蠶用	夏秋	別合	平	附	散	合格	不合格	計
計														

備考

本表ハ蠶種製造場所別ニ之ヲ作成スヘシ

繭及蠶種ノ檢查許可ニ關スル件

蠶種製造取締ニ關スル件

昭和十年五月十五日附一〇蠶局第七九一號蠶絲局長通牒

平附蠶種ノ稟紙ニ記載スヘキ卵量ハ正確ニ其ノ實量ヲ示シ散卵容器ニ納ムヘキ卵量ハ蠶絲業法施行規則第二十八條第四項ノ規定ニ依ルヘキ義ナルニモ拘ラス往々之ニ違背シ虚偽ノ記載ヲ爲シ又ハ増量ヲ爲スト認メラル、モノアリ又特約取引等ニ於テ行ハル、委託催青ノ場合ニ卵量又ハ蟻量ヲ加減シテ分配ヲ爲スカ如キモノ無キニアラス右ハ一面養蠶者ノ理解ニ缺クル所アルニ因ルヘシト雖斯クテハ卵量ニ依ル取引ノ公正ヲ期シ難ク之ニ依リ釀成セラル、弊害鮮少ナラサルヲ以テ右ノ實情ニ鑑ミ之等ニ對スル取締ノ勵行ヲ期セラル、ト共ニ養蠶者ノ蠶種ニ對スル認識ノ是正ニ關シテモ適當ニ指導相成候様格別ノ御配意相成度此段及通牒候也追テ本件ニ關シテハ自治検査ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シテモ同一ノ趣旨ヲ以テ通牒致置候條御了知相成度申添候

蠶蛆ノ豫防驅除ニ關スル件

昭和三年十月三十一日附三蠶局第三一一號蠶絲局長通牒

本年晚秋期ニ於テ三重、愛知、岐阜其ノ他ノ府縣ニ一種ノ

多化性蠶蛆多數發生シ之カ寄生ヲ受ケタル蠶兒ハ結繭不能ニ陥ルモノ多ク營繭スルモ薄皮繭又ハ死繭繭トナリ其ノ被害甚ナカラス候處其ノ種類、經過、習性等ニ關シテハ尙今後研究ヲ要スヘキモノ有之候ヘ共既往ノ調査ニ據レハ此ノ種ノ蠶蛆ハ野外ニ棲息スル野蠶、桑尺蠖類其ノ他蝸蠃類ヲ寄主トスルモノニシテ廣ク各地方ニ分布シ居ルモノノ如ク本年春蠶期桑樹凍害後ニ於テ多數發生セル前記害蟲類ニ寄生繁殖シ延テ蠶兒ニ被害ヲ與ヘラレタルモノト認メラレ明年モ亦之ヲ繰リ返スヤ否ヤハ固ヨリ豫測ノ限りニ無之候モ將來之カ蔓延ヲ見ルカ如キコト有之候テハ蠶業上由々敷大ニ事ト被存候ニ付差當リ之レカ豫防策トシテ冬期間ニ於テ桑園ノ害蟲驅除ヲ一層勵行シ明年ニ於ケル該蠶蛆ノ繁殖蔓延ヲ防除スル様洽ク貴管下當業者ニ周知セシメ右督勵方特ニ御配意相成度此段及通牒候也

昇汞水及格魯兒石灰水ヲ蠶室及蠶具ノ消毒ニ使用スル場合ニ於ケル注意ノ件

大正四年一月十六日附農務局第二八六號農務局長通牒

今回時局ノ影響ニ依リ蠶種製造者ノ使用スヘキ「フォルマ

リン」ノ價格自然騰貴ヲ來シ營業上不利尠ナカラスト被認候ニ付蠶絲業法施行規則第十九條ヲ改正シ昇汞水及格魯兒石灰水ヲ以テ蠶室又ハ蠶具ノ消毒ヲ爲シ得ルノ途啓カレ候ニ付テハ當業者カ之ヲ使用スル場合ニ於テ遺憾ナカラシムル爲左記事項ヲ普ク示達相成度依命此段及通牒候也

記

- 一 昇汞水ハ無色無臭ニシテ猛毒ヲ有スル爲人體ニ危險ヲ及ホス虞アルニ依リ之カ使用ノ際特ニ注意ヲ拂フヘキハ勿論之ヲ貯藏スルニハ「スカレット」又ハ「ゾイレフクシン」其ノ他適當ノ色素ヲ加ヘ一見識別ニ容易ナラシメ且之カ取扱ハ炊事場、飲食物貯藏場又ハ飲料水ニ滲透スヘキ場所等ニ於テ行フヘカラサルコト
- 一 昇汞水ハ日光ノ照射ニ依リ變質シ消毒ノ效力ヲ減耗スルヲ以テ成ルヘク使用ノ都度之ヲ調製シ日光ノ直射セサル場所ヲ選ヒテ消毒ヲ行フヘシ又其ノ殘液ハ溝渠河川等ニ流棄スヘカラサルコト
- 一 昇汞水ヲ以テ消毒スルニハ成ルヘク長ク濕潤ノ状態ニ在ラシムルヲ可トスルヲ以テ蠶具ノ如キハ堆積シ置キタル後洗滌若ハ乾燥ヲ爲スヘキコト
- 一 昇汞水ハ金屬ヲ侵蝕スルノ性アルヲ以テ之カ貯藏ニ金屬製容器ヲ用ヒサルハ勿論消毒ノ際使用シタル金屬蠶室及蠶具ノ消毒ニ使用スル場合ニ於ケル注意ノ件

製器具ハ直ニ淨水ヲ以テ洗滌スヘキコト
一 格魯兒石灰水ハ甚シク有機色素ヲ脱色セシムル性アルヲ以テ衣類等ニ接觸セサル様注意シ又木材ヲモ漂白シ殊ニ水滴ヲ形成スル場合ニ於テハ其ノ部分ノミ永ク漂白作用ヲ受ケ外觀ヲ損スルコト甚シキコトアルヲ以テ撒布後ハ時々注意シ水滴ヲ生シタルトキハ之ヲ散セシメ三十分ヲ經タル後淨水ヲ以テ洗滌スルコト
一 格魯兒石灰水ハ金屬及獸皮ヲ侵蝕スルノ性アルヲ以テ噴霧器ヲ用ケル場合ニ在リテハ椰子ニ附著セル獸皮ハ豫メ油類ニ浸漬シ尙使用後ニ於テハ充分各部ヲ洗滌スルコト

昇汞及鹽酸販賣ニ關スル件

群馬縣知事ヨリ大正四年二月三日附衛第四五六號ヲ以テ衛生局長ニ宛照會シタル昇汞及鹽酸販賣ニ關シ藥品營業並藥品取扱規則適用ニ關スル件ハ左ノ意味ヲ以テ決定シ地方官ニ之ヲ通牒シタル旨同年二月八日附衛群第一七號ヲ以テ衛生局長ヨリ農務局長ニ通牒シ來レリ

- 一 藥品營業者ハ蠶種製造者ニ對シ蠶病豫防心得中ニ規定セラレタル昇汞水溶液ハ勿論ナルモ昇汞及鹽酸ヲモ藥律第三十條ニ依リ職業上必要ナルモノト認メ販賣シ
- 蠶種製造取締ニ關スル件 蠶蛆ノ豫防驅除ニ關スル件 昇汞水及格魯兒石灰水ヲ蠶室及蠶具ノ消毒ニ使用スル場合ニ於ケル注意ノ件 昇汞及鹽酸販賣ニ關スル件

差支ナシ

二 從來蠶種製造者ニアラサル養蠶業者カ蠶病豫防ノ爲
「フオルマリン」ノ使用ニ關シテハ之又職業上必要ナル
モノト認メタリシカ昇秉ノ使用ニ付テモ同様ニ解釋シ
差支ナシ

二 原蠶種管理法關係法規

原蠶種管理法

昭和九年三月二十八日法律第二十五號

第一條 政府ハ蠶種ノ統制ヲ圖ル爲原蠶種ノ製造ヲ管理ス

第二條 本法ニ於テ原種トハ原蠶種ニシテ普通蠶種ノ製造ニ用フルモノヲ謂ヒ原原種トハ原蠶種ニシテ原種ノ製造ニ用フルモノヲ謂フ

第三條 原原種ノ製造ハ政府之ヲ行フ
政府ハ其ノ製造ニ係ル原原種ヲ府縣ニ配付ス但シ第九條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ニ之ヲ配付スルコトヲ得

第四條 前條ノ規定ニ依リ政府ノ製造配付スベキ原原種ノ品種ハ蠶品種審査會ノ議ヲ經テ主務大臣之ヲ定ム
蠶品種審査會ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ヨリ配付セラレタル原原種ヨリ産出シタル繭ヲ用ヒテ原種ヲ製造シ蠶種製造者ニ之ヲ配付スベシ
前項ノ規定ニ依ル原種ノ製造及配付ニ關シ必要ナル費用ハ府縣ノ負擔トス但シ國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ豫算ノ範圍内ニ於テ府縣ニ對シ其ノ原種製造設備ニ要スル經

費ノ二分ノ一以内ヲ補助スルコトヲ得

第六條 政府又ハ府縣ハ第三條、前條第一項又ハ第十二條ノ規定ニ依リ配付スル原原種又ハ原種ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ料金ヲ徵收スルコトヲ得

第七條 原原種及原種ノ配付ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 蠶種製造者ハ原蠶種ヲ製造スルコトヲ得ズ

第九條 蠶種製造者ハ前條ノ規定ニ拘ラズ原種ノ製造ニ限り命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ政府ヨリ配付セラレタル原原種ヨリ産出シタル繭ヲ用フルニ非ザレバ原種ヲ製造スルコトヲ得ズ

第十條 蠶種製造者ハ府縣ヨリ配付セラレタル原種又ハ前條第一項ノ許可ヲ受ケ製造シタル原種ヨリ産出シタル繭ヲ用フルニ非ザレバ普通蠶種ヲ製造スルコトヲ得ズ

蠶種製造者ハ府縣ヨリ配付セラレタル原種及其ノ蠶兒ヲ讓渡スコトヲ得ズ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ノ

許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十一條 蠶種製造者普通蠶種ヲ製造セントスルトキハ主務大臣ノ定メタル交配形式ニ依ルベシ
主務大臣前項ノ交配形式ヲ定メントスルトキハ蠶品種審査會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス

第十二條 天災其ノ他不可抗力ニ因リ原種ノ製造又ハ配付ヲ爲スコト能ハザル場合ニ於テハ府縣ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケ他ノ府縣ヨリ原種ヲ讓受ケ之ヲ蠶種製造者ニ配付シ又ハ政府ヨリ原原種ノ配付ヲ受ケ之ヲ原種トシテ若ハ既ニ配付ヲ受ケタル原原種ヲ原種トシテ蠶種製造者ニ配付スルコトヲ得

第十三條 蠶種ノ輸入、移入、輸出又ハ移出ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第十四條 主務大臣ハ蠶種製造者ニ對シ蠶種ノ統制上必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第十五條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ第九條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ニ對シ設備ノ改善ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得
第十六條 第九條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ノ所爲ニシテ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ

公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第十七條 當該官吏取締上必要アリト認ムルトキハ蠶種製造者又ハ第十三條ノ許可ヲ受ケタル者ノ事務所、營業所、製造場、倉庫等ニ臨檢シ物品及帳簿其ノ他ノ書類ヲ調査シ又ハ必要ナル分量ニ限り無償ニテ物品ヲ收去スルコトヲ得

主務大臣又ハ地方長官本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲アリト認ムルトキハ當該官吏更員ヲシテ前項ニ掲ゲタル場所ニ臨檢シ被疑者若ハ參考人ヲ尋問シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スベキ物件、帳簿、書類ヲ搜索シ若ハ之ガ差押ヲ爲サシムルコトヲ得
臨檢、尋問、搜索又ハ差押ニ關シテハ間接國稅規則者處分法ヲ準用ス

主務大臣又ハ地方長官取締上必要アリト認ムルトキハ蠶種製造者又ハ第十三條ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ業務ニ關スル報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第十八條 第八條、第九條第二項第三項、第十條、第十一條第一項又ハ第十三條ノ規定ニ違反シタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條 第十四條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者ハ五

百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第十五條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ同條ノ規定ニ依ル處分ヲ拒ミ若ハ妨ゲタル者

二 第十七條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ妨ゲタル者又ハ臨檢ノ際當該官吏更員ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者

三 第十七條第四項ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル者

第二十一條 第十八條ノ犯罪ニ係ル蠶種、蠶兒又ハ繭ハ之ヲ沒收シ若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザル場合ハ其ノ價額ヲ追徴ス

前項ノ蠶種又ハ蠶兒犯人以外ノ者ニ屬スルトキハ行政官廳ノ處分ヲ以テ之ヲ沒取スルコトヲ得

第二十二條 蠶種製造者又ハ第十三條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第二十三條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ適用

スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十四條 本法中府縣ニ關スル規定ハ北海道ニ於テハ北海道地方費ニ之ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

蠶絲業法第二條中「稱スルハ」ノ下ニ「府縣ヲ除クノ外」ヲ加フ

蠶絲業法第七條ヲ削除ス

蠶絲業法第十條中「蠶種製造者」ヲ「府縣及原蠶種管理法第九條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者」ニ改ム

蠶絲業法第十一條ノ二ニ左ノ一項ヲ加フ

府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ自己ノ製造スル蠶種ニ關シ検査ヲ行フベシ

蠶絲業法第十二條中「及第十七條ノ検査ニ合格シタル蠶種」及「原蠶種又ハ」ヲ削ル

蠶絲業法第十八條及第二十四條ヲ削除ス

蠶絲業法第三十七條第一項中「本法若ハ本法ニ基キテ發

スル命令」ヲ「本法若ハ原蠶種管理法又ハ之ニ基キテ發
スル命令」ニ改ム
蠶絲業法第三十九條第三號ヲ削ル
蠶絲業法第四十一條第一項中「第三號」ヲ削ル

原蠶種管理法施行期日ノ件

昭和十年八月二十四日勅令第二百五十八號

原蠶種管理法第一條、第二條、第十三條、第十四條、第
十九條及附則第八項ノ規定ハ昭和十年九月一日ヨリ之ヲ
施行シ同法第十七條、第十八條及第二十條乃至第二十三
條ノ規定ハ同法第十三條又ハ第十四條ノ規定ニ關係アル
範圍内ニ於テ同日ヨリ之ヲ施行ス

原蠶種管理法施行規則

昭和十年八月二二四日農林省令第二十一號

第一條 道府縣ハ原種ノ製造ヲ其ノ蠶業試驗場ヲシテ爲
サシムベシ但シ農林大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限
ニ在ラズ
第二條 道府縣ハ其ノ蠶業試驗場又ハ前條但書ノ認可ヲ
受ケタルモノノ設備ニ於テ原種ヲ製造スベシ但シ農林大

臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
道府縣前項但書ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ
記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

一 蠶種製造場所又ハ蠶兒飼育場所
二 掃立數量及蠶種製造額ノ概定數
三 蠶種製造又ハ蠶兒飼育ノ用ニ供スル建物ノ種類及平
面積並ニ構造ノ概要
四 原種製造ノ管理者

第三條 道府縣原種ノ配付ヲ受ケントスルトキハ左ノ
事項ヲ記載シタル請求書ヲ其ノ原種ノ蠶兒ノ掃立ヲ爲
サントスル年ノ前年ノ一月三十一日迄ニ蠶業試驗場ニ提
出スベシ

一 原原種ノ品種名及請求數量
二 原原種ノ蠶兒ノ掃立時期及數量
三 原種ノ越年不越年別製造及配付數量

第四條 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者原原種ノ
配付ヲ受ケントスルトキハ前條第一號及第二號ニ掲グル
事項ノ外左ノ事項ヲ記載シタル請求書ヲ其ノ原原種ノ蠶
兒ノ掃立ヲ爲サントスル年ノ前年ノ一月三十一日迄ニ蠶
業試驗場ニ提出スベシ
一 原種ノ越年不越年別製造數量

二 原種ノ蠶兒ノ掃立時期及數量

三 原種ノ交配形式

四 普通蠶種ノ製造數量

第五條 第三條又ハ前條ノ規定ニ依リ原原種ノ配付ノ請
求アリタルトキハ蠶業試驗場長ハ配付スベキ原原種ノ品
種名、數量、料金、料金納付期限、引渡期限、引渡場所
其ノ他必要ナル事項ヲ十一月三十日迄ニ請求者ニ通知ス
ベシ

第六條 道府縣左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ第三條ノ
規定ニ拘ラズ原原種ノ配付ノ請求書ヲ蠶業試驗場ニ提出
スルコトヲ得

- 一 原原種ヲ滅失又ハ毀損シタルトキ
- 二 原原種ノ蠶兒ノ掃立ヲ終リタル後原種ヲ製造スルコ
ト能ハザルニ至リタルトキ
- 三 原種ヲ製造シタル後滅失、毀損其ノ他ノ事由ニ因リ
之ヲ配付スルコト能ハザルニ至リタルトキ
- 四 前各號ノ外特別ノ事由ニ因リ原原種ノ必要ヲ生ズル
ニ至リタルトキ

前項ノ請求書ニハ第三條各號ニ掲グル事項ノ外左ノ事項
ヲ記載スベシ
一 事由

二 滅失又ハ毀損シタル原原種ノ品種名及數量

三 蠶兒ノ掃立ヲ終リタル後原種ヲ製造スルコト能ハザ
ルニ至リタル原原種ノ品種名及數量

四 滅失、毀損其ノ他ノ事由ニ因リ配付スルコト能ハザ
ルニ至リタル原原種ノ品種名及數量

第七條 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者故意又ハ
重大ナル過失ニ因ルニ非ズシテ前條第一項第一號若ハ第
二號ニ該當シ又ハ原種ヲ製造シタル後滅失、毀損其ノ他
ノ事由ニ因リ之ヲ普通蠶種ノ製造ノ用ニ供スルコト能ハ
ザルニ至リタルトキハ第四條ノ規定ニ拘ラズ原原種ノ配
付ノ請求書ヲ蠶業試驗場ニ提出スルコトヲ得

原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者前條第一項第四號
ニ該當スルニ至リタルトキ亦前項ニ同ジ
前三項ノ請求書ニハ第四條ノ規定ニ依リ記載スベキ事項、
前條第二項第一號乃至第三號ニ掲グル事項及滅失、毀損
其ノ他ノ事由ニ因リ普通蠶種ノ製造ノ用ニ供スルコト能
ハザルニ至リタル原原種ノ品種名及數量ヲ記載スベシ
前條第三項ノ規定ハ第一項及第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八條 農林大臣原種ノ品種ヲ定メタルトキ又ハ原種ノ交配形式ヲ定メタルトキハ之ヲ告示ス

第九條 農林大臣必要ト認ムルトキハ道府縣ニ對シ原種ノ蠶兒ノ掃立時期又ハ原種一蠶分ヨリ製造スル原種ノ數量ヲ制限スルコトアルベシ

前項ノ規定ニ依ル制限ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示ス

第十條 農林大臣必要ト認ムルトキハ原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ニ對シ原種若ハ原種ノ蠶兒ノ掃立時期、不越年普通蠶種ノ製造又ハ原種一蠶分ヨリ製造スル原種ノ數量若ハ原種一蠶分ヨリ製造スル普通蠶種ノ數量ヲ制限スルコトアルベシ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 農林大臣必要ト認ムルトキハ地方長官ヲシテ蠶種製造者ニ對シ原種ノ蠶兒ノ掃立時期、不越年普通蠶種ノ製造又ハ原種一蠶分ヨリ製造スル普通蠶種ノ數量ノ制限ヲ爲シタルコトアルベシ

第十二條 地方長官必要ト認ムルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ原種一蠶分ヨリ製造スル普通蠶種ノ數量ヲ制限スルコトヲ得

第十三條 地方長官ハ原種ノ配付ニ關スル規定ヲ定メ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第十六條 原種製造ノ許可ヲ受ケントスル蠶種製造者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

一 履歷ノ要領

二 原種製造場所及原種ノ蠶兒飼育場所

三 原種ノ蠶兒ノ掃立數量及原種製造額ノ概定數

四 原種製造及原種ノ蠶兒飼育ノ用ニ供スル建物ノ種類及面積並ニ構造ノ概要

五 第二號ノ原種製造場所ニ於テ製造セル原種ヲ用ヒテ製造スル普通蠶種製造場所

六 前號ノ普通蠶種製造場所ニ於ケル原種ノ蠶兒ノ掃立數量及普通蠶種製造額ノ概定數

七 第五號ノ普通蠶種製造場所ニ於ケル普通蠶種ノ製造ノ用ニ供スル建物ノ種類及面積並ニ構造ノ概要

八 最近三年間ニ於ケル各年ノ普通蠶種ノ製造額

九 最近三年間ニ於ケル各年ノ普通蠶種ノ歩合検査成績

前項第二號乃至第五號ニ掲グル事項ハ原種製造場所毎ニ、第六號乃至第九號ニ掲グル事項ハ普通蠶種製造場所毎ニ之ヲ記載スベシ

第一項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第十七條 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者前條第一

第十四條 道府縣ハ蠶種製造者ガ其ノ道府縣ノ區域外ノ蠶種製造場所ニ於テ行フ普通蠶種ノ製造ノ用ニ供スル原種ヲ配付スルコトヲ得ズ但シ農林大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ原種製造ノ許可ヲ爲サズ

一 一年間ノ原種製造額概定數原種製造場所毎ニ八千蠶ニ滿タザルトキ

二 一年間ノ普通蠶種製造額概定數十萬グラムニ滿タザルトキ

三 原種ノ蠶兒ノ掃立數量及原種製造額ノ概定數ニ相當スル設備ナキトキ

四 最近三年間ニ於ケル各年ノ普通蠶種製造額十萬グラムニ滿タザルトキ

五 最近三年間ニ於ケル各年ノ普通蠶種ノ歩合検査ノ合格歩合(検査合格額ノ検査總額ニ對スル割合)百分ノ九十五ニ滿タザルトキ

六 許可申請者ガ原蠶種管理法若ハ蠶絲業法又ハ之ニ基キテ發スル命令ニ違反シ處罰ヲ受ケ又ハ許可若ハ免許ヲ取消サレタル後三年ヲ經過セザル者ナルトキ

七 前各號ノ外農林大臣ニ於テ不適當ト認ムルトキ

項第二號乃至第七號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ農林大臣ノ許可ヲ受クベシ

第十八條 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ハ原種製造場所毎ニ原種製造ノ管理者ヲ選任スベシ

前項ノ規定ニ依ル原種製造ノ管理者ノ選任ハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

農林大臣必要ト認ムルトキハ原種製造ノ管理者ノ資格ヲ定ムルコトアルベシ

前項ノ資格ヲ定メタルトキハ之ヲ告示ス

原種製造ノ管理者ハ同時ニ二人以上ノ蠶種製造者ノ原種製造ノ管理者タルコトヲ得ズ

蠶種製造者ハ原種製造ノ管理者タルコトヲ得ズ

蠶種製造ノ管理者ハ原種製造ノ管理者タルコトヲ得ズ

第十九條 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ農林大臣ハ其ノ業務ヲ停止シ又ハ其ノ許可ヲ取消スコトアルベシ

一 正當ノ事由ナクシテ一年間原種ノ製造ヲ爲サズ若ハ一年間ノ原種製造額原種製造場所毎ニ八千蠶ニ滿タザルトキ又ハ原種ノ蠶兒ノ掃立數量及原種製造額ノ概定數ニ相當スル設備ナキニ至リタルトキ

二 正當ノ事由ナクシテ一年間普通蠶種ノ製造ヲ爲サズ

又ハ引續キ三年以上各年ノ普通蠶種ノ製造額十萬グラムニ滿タザルトキ
 三 一年ヲ通ジ普通蠶種ノ歩合検査ノ合格歩合(検査合格額ノ検査總額ニ對スル割合)百分ノ九十五ニ滿タザルトキ

第二十條 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ハ特別ノ事由ニ因リ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外道府縣ニ對シ原種ノ配付ヲ請求スルコトヲ得ズ

第二十一條 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ハ現ニ原原種ノ蠶兒ノ掃立若ハ飼育又ハ原種ノ製造ヲ爲ス建物内ニ於テ原種ノ蠶兒ノ掃立ヨリ普通蠶種ノ製造ヲ終ル迄ノ作業ヲ爲スコトヲ得ズ但シ農林大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十二條 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者死亡シ若ハ解散シ又ハ其ノ業務ヲ廢止シタルトキハ許可ハ其ノ效力ヲ失フ但シ死亡又ハ解散ノ場合ニ於テ其ノ相續人又ハ合併後存續スル法人若ハ合併ニ因リテ設立シタル法人ガ相續又ハ合併ニ因リ蠶種製造者ト爲リタルトキハ被相續人又ハ合併ニ因リテ解散シタル法人ニ對シテ爲シタル蠶種製造ノ許可ハ爾後相續人又ハ合併後存續スル法人若ハ合併ニ因リテ設立シタル法人ニ對シテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

ト看做ス
 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ノ相續人死亡以外ノ事由ニ因ル相續ニ因リ原種製造者ト爲リタルトキハ被相續人ニ對シテ爲シタル原種製造ノ許可ハ爾後相續人ニ對シテ之ヲ爲シタルモノト看做ス
 第一項但書及前項ノ場合ニ於テハ相續又ハ合併アリタルコトヲ證スル書類ヲ添附シ遲滯ナク農林大臣ニ其ノ旨ヲ届出ヅベシ

第二十三條 原蠶種管理法第九條第三項但書ノ許可ハ蠶種製造者其ノ業務ヲ休止シ若ハ廢止シタルトキ又ハ特別ノ事由ニ因リ農林大臣必要ト認メタル場合ニ非ザレバ之ヲ爲サズ

第二十四條 蠶種製造者原蠶種管理法第九條第三項但書ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ
 一 品種名、原種ノ記號及番號
 二 原種製造場所
 三 讓渡ノ事由
 四 讓渡ノ數量(原種ノ蠶兒ノ掃立口ヲ分割シテ讓渡サントスル場合ニ於テハ掃立口ノ掃立數量及之ニ對スル割合)、價格及時期

五 讓受人ノ氏名又ハ名稱及住所
 六 讓受人ノ普通蠶種製造場所及原種ノ蠶兒飼育場所
 原種ノ蠶兒ヲ讓渡サントスル場合ニ在リテハ前項各號ニ掲グル事項ノ外掃立時期、掃立口ノ記號及其ノ蠶兒飼育場所ヲ記載スベシ

第二十五條 原蠶種管理法第十條第二項但書ノ許可ハ蠶種製造者其ノ業務ヲ休止シ若ハ廢止シタルトキ又ハ特別ノ事由ニ因リ地方長官必要ト認メタル場合ニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十六條 道府縣原蠶種管理法第十二條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

- 一 原種ノ製造及配付豫定品種名並ニ數量
- 二 原種ノ製造又ハ配付ヲ爲スコト能ハザルニ至リタル事由、其ノ品種名及數量
- 三 製造配付ヲ爲シ又ハ爲シ得ベキ原種ノ品種名及數量
- 四 補充ヲ要スル原種ノ品種名及數量
- 五 北海道又ハ他ノ府縣ヨリ原種ヲ讓受ケ配付セントスル場合ニ在リテハ其ノ品種名、數量、價格及讓受ノ時期
- 六 政府ヨリ原種ノ配付ヲ受ケ原種トシテ配付セントスル場合ニ在リテハ其ノ品種名及數量

七 既ニ政府ヨリ配付ヲ受ケタル原原種ヲ原種トシテ配付セントスル場合ニ在リテハ其ノ品種名及數量
 北海道又ハ他ノ府縣ヨリ原種ヲ讓受ケントスル場合ニ在リテハ前項ノ申請書ニ其ノ道府縣ノ讓渡承諾書ヲ添附スベシ

第二十七條 道府縣原蠶種管理法第十二條ノ許可ヲ受ケ政府ヨリ原種トシテ配付スベキ原原種ノ配付ヲ受ケントスルトキハ前條ノ規定ニ依ル申請書ト同時ニ其ノ品種名及數量ヲ記載シタル請求書ヲ蠶業試驗場ニ提出スベシ

第六條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
 第二十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル蠶種ニシテ且農林大臣ニ於テ適當ト認ムル場合ニ非ザレバ輸出又ハ移出ノ許可ヲ爲サズ

- 一 輸移入用原種ノ製造ノ用ニ供スル原原種
 - 二 輸移入用普通蠶種ノ製造ノ用ニ供スル原種ノ製造ノ用ニ供スル原原種
 - 三 輸移入用普通蠶種ノ製造ノ用ニ供スル原種
- 農林大臣特ニ必要ト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ蠶種ノ輸出又ハ移出ノ許可ヲ爲スコトアルベシ
 第二十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル蠶種ニシテ且農林大臣ニ於テ適當ト認ムル場合ニ非ザレバ輸入又ハ移入ノ許可ヲ爲サズ

- 可ヲ爲サズ
 - 一 前條第一項第一號ニ掲グル原原種ヲ用ヒテ製造シタル原種
 - 二 前條第一項第二號ニ掲グル原原種ヨリ製造シタル原種ヲ用ヒテ製造シタル普通蠶種
 - 三 前條第一項第三號ニ掲グル原種ヲ用ヒテ製造シタル普通蠶種
- 農林大臣特ニ必要ト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ蠶種ノ輸入又ハ移入ノ許可ヲ爲スコトアルベシ
- 第三十條 國ノ學校、試験場等ガ蠶種ノ輸入、移入、輸出又ハ移出ヲ爲ス場合ニ於テハ許可ヲ受クルコトヲ要セズ
- 第三十一條 蠶種ノ輸入、移入、輸出又ハ移出ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ
- 一 蠶種ヲ製造シタル者ノ氏名又ハ名稱及住所
 - 二 蠶種ヲ製造シタル場所
 - 三 品種名及製造ノ時期
 - 四 數量
 - 五 目的
 - 六 輸移出入ノ時期
 - 七 輸送ノ方法及経路（郵便ニ依リ輸入、移入、輸出又

- ハ移出セントスル場合ニ左リテハ發送地及受取人ノ氏名又ハ名稱及住所）
 - 第二十八條第一項各號ニ掲グル蠶種ヲ輸出又ハ移出セントスル場合ニ左リテハ前項各號ニ掲グル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スベシ
 - 一 蠶種ヲ製造セントスル者ノ氏名又ハ名稱及住所
 - 二 蠶兒ヲ飼育セントスル場所
 - 三 蠶種ヲ製造セントスル場所
- 前二項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ
- 第三十二條 蠶種ノ輸入、移入、輸出又ハ移出ノ許可ヲ受ケタル者前條第一項第四號及第五號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ農林大臣ノ許可ヲ受クベシ
- 第三十三條 蠶種ノ輸出又ハ移出ノ許可ヲ受ケタル者其ノ蠶種ヲ輸出又ハ移出セントスルトキハ蠶種ニ輸出又ハ移出ノ許可ヲ證スル書面ヲ添ヘテハ蠶種製造者ニ左リテハ蠶種製造場所所在地ヲ、其ノ他ノ者ニ在リテハ住所所在地ヲ管轄スル蠶業取締所ニ提出シ輸移出蠶種證印ノ押捺ヲ請求スベシ
- 前項ノ請求アリタルトキハ其ノ蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ様式第一號ニ依ル輸移出蠶種證印ヲ押捺ス

- 第三十四條 原蠶種管理法第十七條第一項ノ規定ニ依リ物品ヲ收去セントスルトキハ當該蠶種製造者若ハ同法第十三條ノ許可ヲ受ケタル者又ハ其ノ從業者、同居者若ハ隣佑ニシテ成年ニ達シタルモノノ立會ヲ以テ之ヲ爲スベシ
- 收去シタル物品ハ之ヲ容器ニ納メ又ハ結束ヲ爲シ之ニ封緘ヲ施シ其ノ品名、物品ヲ收去セラレタル者ノ氏名又ハ名稱並ニ收去ノ年月日及場所ヲ記載シ當該官吏更員及立會人之ニ署名捺印スベシ立會人署名捺印セズ又ハ署名捺印スルコト能ハザルトキハ其ノ旨ヲ附記スベシ
- 第三十五條 原蠶種管理法第十七條第二項ノ規定ニ依リ當該官吏更員臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲サントスルトキハ様式第二號ニ依ル證票ヲ携帯スベシ
- 臨檢、搜索、尋問及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法施行規則第二條乃至第五條、第八條及第十二條ノ規定ヲ準用ス
- 第三十六條 地方長官原蠶種管理法及本則ノ施行ニ關スル規定ヲ定メタルトキハ遲滯ナク農林大臣ニ其ノ旨ヲ報告スベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ
- 第三十七條 道府縣ハ毎年五月三十一日迄ニ前年ニ於テ製造シタル原種ニ付原種製造配付成績書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

- 第三十八條 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ハ毎年三月三十一日迄ニ前年ニ於テ製造シタル原種ニ付原種製造成績書ヲ農林大臣ニ提出スベシ
- 第三十九條 道府縣ハ左ニ掲グル場合ニ於テハ遲滯ナク農林大臣ニ其ノ旨ヲ届出ヅベシ
- 一 原原種、原原種ノ蠶兒又ハ原原種ヨリ産出シタル繭ヲ讓渡シタルトキ
 - 二 原蠶種管理法第十二條ノ許可ヲ受ケ北海道又ハ他ノ府縣ヨリ原種ヲ讓受ケ之ヲ蠶種製造者ニ配付シタルトキ
 - 三 原蠶種管理法第十二條ノ許可ヲ受ケ原原種ヲ原種トシテ配付シタルトキ
- 第四十條 原種製造ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ハ左ニ掲グル場合ニ於テハ遲滯ナク農林大臣ニ其ノ旨ヲ届出ヅベシ
- 但シ死亡ノ場合ニ於テハ其ノ相續人、戶主又ハ家族ヨリ其ノ旨ヲ届出ヅベシ
- 一 死亡シ又ハ解散シタルトキ
 - 二 氏名若ハ名稱又ハ住所ヲ變更シタルトキ
 - 三 原種又ハ普通蠶種ノ製造ヲ休止シ又ハ之ヲ開始シタルトキ
 - 四 原種又ハ普通蠶種ノ製造ヲ廢止シタルトキ

原蠶種管理法關係法規

- 五 蠶種製造場所ノ全部又ハ一部滅失シタルトキ
- 六 原原種、原原種ノ蠶兒又ハ原原種ヨリ産出シタル繭ヲ譲渡シタルトキ
- 七 原蠶種管理法第九條第三項但書ノ許可ヲ受ケ原種又ハ其ノ蠶兒ヲ譲渡シタルトキ
- 八 原種ヨリ産出シタル繭ヲ譲渡シタルトキ
- 第四十一條 蠶種ノ輸入、移入、輸出又ハ移出ノ許可ヲ受ケタル者ハ左ニ掲グル場合ニ於テハ遲滞ナク農林大臣ニ其ノ旨ヲ届出ヅベシ
 - 一 第三十一條第一項第六號第七號及同條第二項各號ニ掲グル事項ヲ變更シタルトキ
 - 二 蠶種ヲ輸入、移入、輸出又ハ移出シタルトキ
- 第四十二條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ蠶種製造者ニ在リテハ蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ、其ノ他ノ者ニ在リテハ住所地方管轄スル地方長官ヲ經由スベシ但シ地方長官ノ管轄ヲ異ニスル二以上ノ地域ニ蠶種製造場所ヲ有スル者ニ在リテハ住所地方管轄スル地方長官ヲ經由スベシ
- 第四十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
 - 一 第十條又ハ第十一條ノ規定ニ依ル制限ニ違反シタル

者

- 二 第十七條、第二十一條、第三十二條又ハ第三十三條ノ規定ニ違反シタル者
- 第四十四條 第二十二條第三項、第三十八條、第四十條又ハ第四十一條ノ規定ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附 則

本令ハ昭和十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第一條乃至第二十七條及第三十六條乃至第四十條ノ施行ノ期日ハ別ニ之ヲ定ム

様式

第一號

昭 和	年
道 府	蠶 種
輸 出 (移)	蠶 種
縣	蠶 種

縱 二 糶
横 三 糶
肉 色 朱

第二號

第 號	年 月 日	交付
原蠶種管理法施行規則 第三十五條ノ規定ニ依ル證票		
官 職	農林省又ハ 道府縣 印	氏 名

縱八・五糶
横六・〇糶

原蠶種管理法施行ニ關スル件

昭和十年八月二十四日附一〇蠶
局第一、三六九號蠶絲局長通牒

原蠶種管理法及同法施行規則九月一日ヨリ一部施行ノコトト相成候處其ノ施行ニ付テハ左記御了知ノ上取扱相成度此段及通牒候也

原蠶種管理法施行規則 原蠶種管理法施行ニ關スル件

記

- 一 原蠶種管理法施行規則第二十八條第一項又ハ第二十九條第一項ノ「適當ト認ムル場合」ハ特別ノ事情アル場合ヲ除キ蠶絲業法ニ準ズル取締ヲ行フ地ニ於テ原種若ハ普通蠶種ヲ製造セントスルトキ又ハ之ヲ製造シタルトキトス
- 二 蠶種ノ輸出又ハ移出ノ許可申請書ハ様式第一號、輸入又ハ移入ノ許可申請書ハ様式第二號ニ依リ作成セシムルコト
- 三 蠶種ノ輸移出入許可申請書記載事項中數量及目的ノ變更ノ許可申請書ニハ事由ヲ具シ且許可書番號ヲ附記シ之ヲ提出セシムルコト
- 四 蠶業取締所輸移出蠶種證印ノ押捺ヲ爲シタルトキハ輸移出蠶種證印押捺臺帳ヲ作製シ之ニ必要ナル事項ヲ記載スルコト
- 五 蠶業取締所輸移出蠶種證印ノ押捺ヲ爲シタルトキハ地方長官ハ遲滞ナク様式第三號ニ依リ農林大臣ニ報告スルコト
- 六 原蠶種管理法施行規則第四十一條第二號ノ規定ニ依リ届出ハ様式第四號又ハ様式第五號ニ依ラシムルコト

様式 第一號

蠶種輸(移)出許可申請書

記號	原種	製造時期	目的數量	輸(移)出輸送ノ方	蠶種ヲ製造シタル者ノ住所	蠶種ヲ製造シタル場所	蠶種ヲ製造シタル場所	蠶種ヲ製造シタル場所	蠶種ヲ製造シタル場所
	通蠶種								
番號	原種	製造時期	目的數量	輸(移)出輸送ノ方	蠶種ヲ製造シタル者ノ住所	蠶種ヲ製造シタル場所	蠶種ヲ製造シタル場所	蠶種ヲ製造シタル場所	蠶種ヲ製造シタル場所
別	通蠶種	年月日	蠶尾	年月	氏名(名稱)	氏名(名稱)	氏名(名稱)	氏名(名稱)	氏名(名稱)

右ニ依リ蠶種ヲ輸(移)出致度ニ付許可相成度此段及申請候也

年月日

住所

農林大臣宛

名(名稱)印

注意

- 一 記號、原原種原種普通蠶種ノ別、品種名、目的、輸(移)出ノ時期、輸送ノ方法及經路、蠶種ヲ製造シタル場所、蠶種ヲ製造シタル者ノ住所氏名(名稱)ヲ異ニスル毎ニ別行ニ記載スルコト
- 二 目的ハ原種製造用、普通種蠶製造用、學術研究用等使用目的ヲ記載スルコト
- 三 輸送ノ方法ハ小包郵便、小型包裝物、携帶品、貨物等ニ分子經路ハ郵便ニ依ル場合ヲ除キ輸(移)出港若ハ離陸地及陸揚港若ハ著陸地並ニ仕向地等ヲ記載スルコト

第一號

蠶種輸(移)入許可申請書

原原種原種普通蠶種ノ別	品種名	製造時期	目的數量	輸(移)入ノ時期	輸送ノ方法及經路	蠶種ヲ製造シタル場所	蠶種ヲ製造シタル場所	蠶種ヲ製造シタル場所

右ニ依リ蠶種ヲ輸(移)入致度ニ付許可相成度此段及申請候也

年月日

住所

農林大臣宛

名(名稱)印

注意

- 一 原原種原種普通蠶種ノ別、品種名、製造時期、輸(移)入ノ時期、輸送ノ方法及經路、蠶種ヲ製造シタル者ノ住所氏名(名稱)ヲ異ニスル毎ニ別行ニ記載スルコト
- 二 目的ハ普通種蠶製造用、學術研究用等使用目的ヲ記載スルコト
- 三 輸送ノ方法ハ小包郵便、小型包裝物、携帶品、貨物等ニ分子經路ハ郵便ニ依ル場合ヲ除キ積出港若ハ離陸地及輸(移)入港若ハ著陸地等ヲ記載スルコト

原蠶種管理法關係法規

第三號

輸(移)出蠶種證印押捺報告書

證印押捺 年月日	證印押捺 請求者	許可書 番號	記號 番號	原蠶種 普通蠶種ノ別	品 種名	數 量	目 的	蠶種ヲ製造シタル者 ノ住所氏名(名稱)

第四號

蠶種輸(移)出届

許可書番號 第 號	輸(移)出 年月日	記號番號	原蠶種 普通蠶種ノ別	品 種名	數 量	備 考

右及届出候也

年 月 日

農林大臣宛

住 所

氏

名(名稱)印

第五號

蠶種輸(移)入届

許可書番號 第 號	輸(移)入ノ年月日	原蠶種 普通蠶種ノ別	品 種名	數 量	備 考

右及届出候也

年 月 日

農林大臣宛

住 所

氏

名(名稱)印

蠶種ノ輸移出入許可ニ關スル件

昭和十年八月二十四日附一〇蠶第七五七一號
大藏、逓信、拓務次官宛農林次官發信

今般勅令第二百五十八號ヲ以テ原蠶種管理法中一部施行セ
ラレ九月一日以後ニ於テハ蠶種ハ總テ農林大臣ノ許可ヲ受

原蠶種管理法施行ニ關スル件 蠶種ノ輸移出入許可ニ關スル件

クルニ非ザレバ輸入、移入、輸出又ハ移出シ得ザルコトト
相成候ニ付テハ右取扱ニ關シ可然御配意相煩度此段及依頼
候也
追而右勅令竝ニ原蠶種管理法施行規則各一部爲參考及送
付候

蠶種ノ輸出入許可ニ關スル件

昭和十年九月三日附一〇蠶局
第一四三〇號大藏省主稅局長宛蠶絲局長通牒

標記ノ件ニ關シテハ曩ニ農林次官ヨリ大藏次官宛依頼相成
候處右ハ左記ニ依リ取扱致度候條可然御配意相煩度此段及
依頼候也

記

- 一 農林大臣蠶種ノ輸出入ノ許可ヲ爲シタルトキハ
(原蠶種管理法第十三條、同法施行規則第三十條)其ノ旨
貴局竝ニ關係稅關宛通知スルコト通知シタル事項ニ變更
アリタルトキモ亦同ジキコト
- 二 蠶種輸出ノ許可ヲ受ケタル者蠶種ヲ輸出セントスル場
合ニ於テハ所轄蠶業取締所ニ於テ蠶種ニ輸出蠶種證明ノ
押捺ヲ受クルコト(原蠶種管理法施行規則第三十三條)但
シ道府縣ハ此ノ手續ヲ要セザルコト
- 三 輸出又ハ輸入申告ニ際シテハ輸出又ハ輸入ノ許可ヲ證
スル書面ヲ提示セシムルコト
輸出又ハ輸入ノ免許ヲ爲シタルトキハ輸出又ハ輸入ノ許
可ヲ證スル書面ノ裏面ニ其ノ旨ヲ記載セラレタキコト

三 蠶絲業組合法關係法規

蠶絲業組合法

昭和六年三月三十日法律第二十四號

第一章 蠶絲業組合

第一節 總 則

- 第一條 蠶絲業組合ハ左ノ六種トス
- 一 養蠶業組合
 - 二 蠶種業組合
 - 三 産業組合製絲組合
 - 四 製絲業組合
 - 五 生絲問屋業組合
 - 六 生絲輸出業組合
- 第二條 蠶絲業組合ハ蠶絲業ノ改良發達及統制ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第三條 蠶絲業組合ハ法人トス
- 第四條 蠶絲業組合ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ズ
- 第五條 蠶絲業組合ハ蠶絲業ニ關スル事項ニ付行政廳ニ建議スルコトヲ得
- 第六條 行政官廳ハ蠶絲業組合ニ對シ蠶絲業ニ關スル報告書ノ提出及蠶絲業ニ關スル事項ノ調査ヲ命ズルコトヲ得

蠶絲業組合法

第七條 蠶絲業組合ノ名稱中ニハ其ノ種類ニ從ヒ養蠶業組合、蠶種業組合、産業組合製絲組合、製絲業組合、生絲問屋業組合又ハ生絲輸出業組合ナル文字ヲ用フベシ

蠶絲業組合ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ前項ニ掲グル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第八條 蠶絲業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ役員又ハ検査員ヲシテ組合員ノ事務所若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該役員又ハ検査員ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證票ヲ携帯スベシ

第九條 蠶絲業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ組合員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

蠶絲業組合ノ經費又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ其ノ組合長ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ蠶絲業組合ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スベシ

前項ニ規定スル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金ニ次ギ其ノ追徵還付及時效ニ付テハ市町村稅ノ例ニ依ル

第一項ニ規定スル徵收金ノ賦課徵收及滯納處分ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立若ハ訴願ヲ爲シ又ハ

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十條 蠶絲業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ使用料及手数料ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ使用料及手数料ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十一條 蠶絲業組合ノ組合員ハ其ノ營業ニ關スル重要物產同業組合法ニ依ル同業組合ニ加入セズ又ハ之ヨリ脱退スルコトヲ得

第十二條 行政官廳ハ蠶絲業組合ニ對シ業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ、業務執行又ハ財産ノ狀況ヲ検査シ、定款、收支豫算又ハ經費ノ分賦收入方法ノ變更ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十三條 行政官廳ハ蠶絲業組合ノ決議又ハ役員ノ行爲ガ法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ決議ヲ取消シ、役員ヲ解任シ、組合ノ業務ヲ停止シ又ハ組合ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

第十四條 蠶絲業組合ノ解散及分合ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 本章ニ於テ町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキモノトシ郡トアルハ北海道ニ在リテハ北海道廳支廳長管轄區域トス

第二節 養蠶業組合

第十六條 養蠶業組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 蠶品種ノ統一ニ關スル施設
- 二 養蠶業ノ指導獎勵ニ關スル施設
- 三 繭ノ検査ニ關スル施設
- 四 繭ノ取引方法ノ改善ニ關スル施設
- 五 蠶病ノ豫防ニ關スル施設
- 六 養蠶業ニ關スル研究及調査
- 七 養蠶業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁
- 八 前各號ニ掲グルモノノ外養蠶業ノ改良發達及統制ヲ圖ルニ必要ナル施設

第十七條 養蠶業組合ノ地區ハ郡市ノ區域ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ區域ニ依ラザルコトヲ得

前項ノ區域ニ増減アリタルトキハ其ノ區域ヲ地區トスル養蠶業組合ノ地區モ亦之ニ應ジテ増減アリタルモノトス

第十八條 養蠶業組合ハ其ノ地區内ノ養蠶實行組合ヲ以テ其ノ組合員トス

第十九條 養蠶實行組合ハ一定ノ地區内ノ養蠶者ヲ以テ之ヲ組織シ養蠶業ニ關シ組合員ノ共同ノ利益増進ヲ圖ルヲ以テ目的トス

期又ハ事由

第二十二條 養蠶實行組合ハ其ノ設立ノ日ヨリ二週間以内ニ規約、役員ノ氏名及住所並ニ設立ノ年月日ヲ具シ行政官廳ニ之ヲ届出ツベシ

前項ノ規定ニ依リ届出デタル事項ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ日ヨリ二週間以内ニ之ヲ届出ツベシ

第二十三條 養蠶實行組合ハ其ノ設立ノ日ヨリ二週間以内ニ主たる事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スベシ

登記スベキ事項左ノ如シ
一 第二十一條第二項第一號、第二號及第四號ニ掲グル事項

二 設立ノ年月日
三 理事ノ氏名及住所
前項ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキハ二週間以内ニ其ノ登記ヲ爲スベシ(昭和七年法律第三十號改正)

第二十四條 本法ニ依リ登記スベキ事項ハ其ノ登記前ニ在リテハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第二十五條 養蠶實行組合ガ本法ニ基キテ爲ス登記ニ付テハ登録稅ヲ課セズ

第二十六條 民法第三十八條第一項、第四十四條、第四十八條、第五十條乃至第六十六條、第六十八條乃至第七十

養蠶實行組合ハ法人トス

養蠶實行組合ノ地區ハ市町村ノ區域ヲ超ユルコトヲ得ズ

第二十條 養蠶實行組合ハ其ノ名稱中ニ養蠶實行組合ナル文字ヲ用フベシ

養蠶實行組合ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ前項ニ掲グル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第二十一條 養蠶實行組合ヲ設立スルニハ其ノ地區内ノ養蠶者七人以上設立者ト爲リ規約ヲ作成スルコトヲ要ス

規約ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ設立者之ニ署名又ハ記名捺印スルコトヲ要ス

- 一 目的
- 二 名稱
- 三 地區
- 四 事務所ノ所在地
- 五 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定
- 六 事業及其ノ執行ニ關スル規定
- 七 役員ニ關スル規定
- 八 組合費其ノ他會計及資産ニ關スル規定
- 九 損失分擔ニ關スル規定
- 十 組合ガ公告ヲ爲ス方法
- 十一 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時

條及第七十二條乃至第八十二條並ニ非訟事件手續法第三十五條、第三十六條、第三十七條ノ二、第十七條、第一百十九條乃至第二百二十二條、第三百三十六條乃至第三百零八條、第四百十二條、第四百十三條、第四百十七條乃至第四百五十條、第五百十條ノ三乃至第五百十七條及第七百十五條乃至第七百十七條ノ規定ハ養蠶實行組合ニ之ヲ準用ス但シ民法第四十八條及第七十七條中一週間トアルハ之ヲ二週間トス(昭和七年法律第三十號改正)

第二十七條 養蠶業組合ヲ設立セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ地區内ノ養蠶實行組合ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ役員ヲ選任シ收支豫算及經費ノ分賦收入方法ヲ議決シ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第三十六條 第一項ノ規定ハ前項ノ創立總會ノ決議ニ之ヲ準用ス

第二十八條 養蠶業組合ハ設立ノ認可ヲ受ケタル時成立ス

第二十九條 養蠶業組合成立シタルトキハ其ノ地區内ノ組合員タル資格ヲ有スルモノハ總テ其ノ組合員トス

第三十條 養蠶業組合ノ地區内ニ於テ養蠶業ニ關スル事業ヲ行フ農會、産業組合又ハ産業組合聯合會ニシテ命令ヲ以テ規定スルモノハ行政官廳ノ認可ヲ受ケテ養蠶業組合

ノ組合員ト爲ルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ養蠶業組合ノ組合員ト爲リタルモノハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ組合ヲ脱退スルコトヲ得ズ
第三十一條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ區域ヲ指定シ養蠶實行組合ニ對シ養蠶業組合ノ設立ヲ命ズルコトヲ得
前項ノ規定ニ依ル設立ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十二條 養蠶業組合ニ總會ヲ置ク

第三十三條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ベシ

- 一 收支豫算
- 二 經費ノ分賦收入方法
- 三 命令ヲ以テ規定スル統制ニ關スル施設
- 四 事業報告及收支決算
- 五 借入金
- 六 基本財産ノ造成、管理及處分
- 七 定款ノ變更
- 八 役員ノ選任及解任
- 九 第六十五條ノ議員ノ選任及解任

十 第六十三條 第一項ノ同意

前項第一號乃至第三號、第五號、第七號及第八號ニ掲グル事項ノ決議ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第三十四條 總會ハ組合長之ヲ招集ス

組合員ハ總組合員ノ三分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

組合長正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル請求アリタル後二週間以内ニ總會ヲ招集セザルトキハ請求者ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得前三項ノ規定ニ依リ總會ヲ招集スルコト能ハザルトキハ行政官廳ハ組合員ヲ指定シテ總會ヲ招集セシムルコトヲ得

第三十五條 總會ノ議事ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十六條 第三十三條 第一項 第三號、第七號及第八號ニ掲グル事項ハ總會ニ於テ組合員ノ半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

定款ノ變更ガ地區ノ増減ニ關スルトキハ前項ノ規定ニ依ル議決ノ外新ニ編入セラレ又ハ削除セラレベキ區域内ノ

養蠶實行組合ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第三十七條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ定款ノ定ムル所ニ依リ書面ヲ以テ組合員ノ意見ヲ徵シ總會ノ議決ニ代フルコトヲ得

第三十八條 養蠶業組合ニ組合長一人ヲ置ク

養蠶業組合ハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ他ノ役員ヲ置クコトヲ得
前二項ノ役員ハ所屬ノ養蠶實行組合ノ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アルトキハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨ゲズ

第三十九條 組合長ハ養蠶業組合ヲ代表シ組合ノ事務ヲ總理ス

第四十條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノハ組合長定款ノ定ムル所ニ依リ之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ組合長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムベシ

第四十一條 養蠶實行組合ノ理事、監事又ハ清算人左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス

一 本法ニ依ル届出ヲ爲スルコトヲ怠リタルトキ

- 二 本法ニ依ル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ
- 三 行政官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ
- 四 本法ニ依ル總會ノ招集ヲ怠リタルトキ
- 五 組合ノ目的ニ非ザル事業ヲ爲シタルトキ
- 六 本法ニ依リ事務所ニ備ヘ置クベキ書類ヲ備ヘズ、其ノ書類ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ若ハ不正ノ記載ヲ爲シ又ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ
- 七 本法ニ違反シテ破産ノ宣告ヲ請求セザルトキ
- 八 本法ニ依ル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ
- 九 清算ノ場合ニ於テ本法ニ違反シテ辨濟ヲ爲シ又ハ組合財産ノ分配ヲ爲シタルトキ

第三節 蠶種業組合

- 第四十二條 蠶種業組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ
 - 一 蠶品種ノ統一ニ關スル施設
 - 二 蠶種製造ノ指導獎勵ニ關スル施設
 - 三 蠶種ノ検査ニ關スル施設

- 四 蠶病ノ豫防ニ關スル施設
 - 五 蠶種ニ關スル研究及調査
 - 六 蠶種製造業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁
 - 七 前各號ニ掲グルモノノ外蠶種製造業ノ改良發達及統制ヲ圖ルニ必要ナル施設
- 第四十三條 蠶種業組合ノ地區ハ道府縣ノ區域ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ區域ニ依ラザルコトヲ得
- 第四十四條 蠶種業組合ハ其ノ地域内ニ於テ蠶種ノ製造ヲ業トスル者ヲ以テ其ノ組合員トス
- 第四十五條 第二十七條乃至第二十九條及第三十一條乃至第四十條ノ規定ハ蠶種業組合ニ之ヲ準用ス
- 第四十六條 產業組合製絲組合及製絲業組合ノ事業ヲ行フ
 - 一 原料繭及其ノ受入方法ノ統一ニ關スル施設
 - 二 生絲ニ關スル規格ノ統一ニ關スル施設
 - 三 產業組合製絲ノ指導獎勵ニ關スル施設
 - 四 生絲ノ検査ニ關スル施設
 - 五 產業組合製絲ニ關スル研究及調査

- 六 產業組合製絲ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁
 - 七 前各號ニ掲グルモノノ外產業組合製絲ノ改良發達及統制ヲ圖ルニ必要ナル施設
- 第四十七條 製絲業組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 生絲ニ關スル規格ノ統一ニ關スル施設
 - 二 製絲業ノ指導獎勵ニ關スル施設
 - 三 生絲ノ検査ニ關スル施設
 - 四 製絲業ニ從事スル者ノ福利増進ニ關スル施設
 - 五 製絲業ニ關スル研究及調査
 - 六 製絲業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁
 - 七 前各號ニ掲グルモノノ外製絲業ノ改良發達及統制ヲ圖ルニ必要ナル施設
- 第四十八條 產業組合製絲組合及製絲業組合ノ地區ハ道府縣ノ區域ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ區域ニ依ラザルコトヲ得
- 第四十九條 產業組合製絲組合ハ其ノ地區内ニ於テ製絲ヲ爲シ又ハ製絲工場ヲ有スル產業組合及產業組合聯合會ヲ以テ其ノ組合員トス

蠶絲業組合法

- 第五十條 製絲業組合ハ命令ヲ以テ規定スル者ヲ除クノ外其ノ地區内ニ於テ生絲ノ製造ヲ業トスル者ヲ以テ其ノ組合員トス
- 第五十一條 第二十七條乃至第二十九條及第三十一條乃至第四十條ノ規定ハ產業組合製絲組合及製絲業組合ニ之ヲ準用ス
- 第五十二條 生絲問屋業組合及生絲輸出業組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ
 - 一 生絲ノ取引方法ノ改善及統一ニ關スル施設
 - 二 生絲取引ニ關スル研究及調査
 - 三 生絲取引ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁
 - 四 前各號ニ掲グルモノノ外生絲取引ノ改良發達及統制ニ關スル施設
- 第五十三條 生絲問屋業組合ノ地區ハ郡市ノ區域ニ依リ生絲輸出業組合ノ地區ハ市ノ區域ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ區域ニ依ラザルコトヲ得
- 第五十四條 生絲問屋業組合ハ其ノ地區内ニ於テ生絲取引ノ仲立又ハ取次ヲ業トスル者並ニ生絲ノ販賣ヲ爲ス產業

蠶絲業組合法關係法規

組合及産業組合聯合會ヲ以テ其ノ組合員トス
第五十五條 生絲輸出業組合ハ其ノ地區内ニ於テ生絲ノ輸
出ヲ業トスル者竝ニ生絲ノ輸出ヲ爲ス産業組合及産業組
合聯合會ヲ以テ其ノ組合員トス

第五十六條 第二十七條乃至第二十九條及第三十一條乃至
第四十條ノ規定ハ生絲問屋業組合及生絲輸出業組合ニ之
ヲ準用ス但シ第三十三條第一項第九號中第六十五條トア
ルハ之ヲ第六十五條又ハ第七十六條トシ第三十三條第一
項第十號中第六十三條第一項トアルハ之ヲ第六十三條第
一項又ハ第七十五條第一項トス

第二章 蠶絲業組合聯合會

第五十七條 蠶絲業組合聯合會ハ左ノ七種トス

- 一 道府縣養蠶業組合聯合會
 - 二 全國養蠶業組合聯合會
 - 三 全國蠶種業組合聯合會
 - 四 全國産業組合製絲組合聯合會
 - 五 全國製絲業組合聯合會
 - 六 全國生絲問屋業組合聯合會
 - 七 全國生絲輸出業組合聯合會
- 第五十八條 蠶絲業組合聯合會ハ蠶絲業組合又ハ道府縣養
蠶業組合聯合會ノ聯絡ヲ圖リ其ノ共同ノ目的ヲ達成スル

ヲ以テ目的トス

第五十九條 蠶絲業組合聯合會ハ法人トス
第六十條 蠶絲業組合聯合會ノ地區ハ道府縣養蠶業組合聯
合會ニ在リテハ道府縣ノ區域ニ依リ其ノ他ノモノニ在リ
テハ全國ノ區域ニ依ル

第六十一條 蠶絲業組合聯合會ノ名稱中ニハ其ノ種類ニ從
ヒ道、府若ハ縣養蠶業組合聯合會、全國養蠶業組合聯合
會、全國蠶種業組合聯合會、全國産業組合製絲組合聯合
會、全國製絲業組合聯合會、全國生絲問屋業組合聯合會
又ハ全國生絲輸出業組合聯合會ナル文字ヲ用フベシ
蠶絲業組合聯合會ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ前項ニ掲
グル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第六十二條 道府縣養蠶業組合聯合會ハ其ノ地區内ノ養蠶
業組合ヲ以テ其ノ組合員トス
全國養蠶業組合聯合會ハ道府縣養蠶業組合聯合會及道府
縣ノ區域ヲ地區トスル養蠶業組合ヲ以テ其ノ組合員トス
全國蠶種業組合聯合會ハ蠶種業組合ヲ以テ、全國産業組
合製絲組合聯合會ハ産業組合製絲組合ヲ以テ、全國製絲
業組合聯合會ハ製絲業組合ヲ以テ、全國生絲問屋業組合

聯合會ハ生絲問屋業組合ヲ以テ、全國生絲輸出業組合聯
合會ハ生絲輸出業組合ヲ以テ其ノ組合員トス

第六十三條 蠶絲業組合聯合會ヲ設立セントスルトキハ命
令ノ定ムル所ニ依リ其ノ地區内ノ會員タル資格ヲ有スル
モノノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ會則ヲ
議定シ役員ヲ選任シ收支豫算及經費ノ分賦收入方法ヲ議
決シ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第三十六條第一項ノ規定ハ前項ノ創立總會ノ決議ニ之ヲ
準用ス

第六十四條 蠶絲業組合聯合會成立シタルトキハ其ノ地區
内ノ會員タル資格ヲ有スルモノハ總テ其ノ組合員トス

第六十五條 蠶絲業組合聯合會ニ總會ヲ置ク
總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス
蠶絲業組合聯合會ノ議員ハ其ノ會員タル蠶絲業組合又ハ
道府縣養蠶業組合聯合會ニ於テ之ヲ選任ス
前項ニ規定スルモノノ外議員ノ選任及解任ニ關シ必要ナ
ル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十六條 蠶絲業組合聯合會ニ左ノ役員ヲ置ク
會長 一人
副會長 一人又ハ二人
評議員 數人

蠶絲業組合法

前項ノ役員ハ議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長ハ
其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨グズ

第六十七條 會長ハ蠶絲業組合聯合會ヲ代表シ會務ヲ總理
ス
副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理
ス
副會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會長ノ職務ノ一部ヲ分掌
スルコトヲ得
評議員ハ會長ノ諮問ニ應ジ竝ニ會務ノ執行及財産ノ狀況
ヲ監査ス

第六十八條 第四條乃至第六條、第九條第一項、第十條、
第十二條乃至第十四條、第二十八條、第三十一條、第三
十三條乃至第三十五條、第三十六條第一項、第三十七條
及第四十條ノ規定ハ蠶絲業組合聯合會ニ之ヲ準用ス但シ
第五十七條第二號乃至第七號ノ蠶絲業組合聯合會ニ付テ
ハ第三十三條第一項第九號中第六十五條トアルハ之ヲ第
七十六條トシ第三十三條第一項第十號中第六十三條第一
項トアルハ之ヲ第七十五條第一項トス

第三章 日本中央蠶絲會
第六十九條 日本中央蠶絲會ハ蠶絲業組合聯合會及蠶絲業
組合ノ聯絡竝ニ蠶絲業ノ改良發達及統制ヲ圖ルヲ以テ目

的トス

第七十條 日本中央蠶絲會ハ法人トス

第七十一條 日本中央蠶絲會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

一 蠶絲業組合聯合會及蠶絲業組合ノ聯絡及統制ニ關スル施設

二 蠶絲業ニ關スル研究及調査

三 蠶絲類ノ販路擴張ニ關スル施設

四 蠶絲業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁

五 前各號ニ掲グルモノノ外蠶絲業ノ改良發達及統制ヲ

圖ルニ必要スル施設

第七十二條 日本中央蠶絲會ノ地區ハ全國ノ區域ニ依ル

第七十三條 日本中央蠶絲會ノ名稱ニハ日本中央蠶絲會ナル文字ヲ用フベシ

日本中央蠶絲會ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ前項ニ掲グル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第七十四條 日本中央蠶絲會ハ第五十七條第二號乃至第七號ノ蠶絲業組合聯合會ヲ以テ其ノ會員トス

全國生絲問屋業組合聯合會又ハ全國生絲輸出業組合聯合會ナキ場合ニ限り前項ニ規定スルモノノ外生絲問屋業組合又ハ生絲輸出業組合ヲ以テ其ノ會員トス

副會長 一人又ハ二人

評議員 數人

前項ノ役員ハ議員及特別議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨グズ

第七十八條 日本中央蠶絲會ノ會員蠶絲業ノ統制ニ關スル施設ヲ行ハントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ日本中央蠶絲會ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

日本中央蠶絲會前項ノ承認ヲ爲スニハ其ノ總會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第三十六條第一項ノ規定ハ前項ノ總會ノ決議ニ之ヲ準用ス

第七十九條 第四條乃至第六條、第九條第一項、第十二條乃至第十四條、第二十八條、第三十三條乃至第三十五條、第三十六條第一項、第三十七條、第四十條、第六十四條及第六十七條ノ規定ハ日本中央蠶絲會ニ之ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

重要物産同業組合法ニ依リ道府縣ヲ地區トシ設置シタル蠶絲業者ノ同業組合ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ之ヲ本法ニ依ル蠶絲業組合ト看做ス

蠶絲法組合法 蠶絲業組合法施行期日ノ件 蠶絲業組合法施行令

一一九

蠶絲業組合法關係法規

第七十五條 日本中央蠶絲會ヲ設立セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員タル資格ヲ有スルモノノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ會則ヲ議定シ役員ヲ選任シ主務大臣ノ認可ヲ受ケベシ

第三十六條第一項ノ規定ハ前項ノ創立總會ノ決議ニ之ヲ準用ス

前二項ノ場合ニ於テ會員タル資格ヲ有スルモノノ員數ノ計算ニ付テハ前條第二項ノ規定ニ依リ會員タル資格ヲ有スル生絲問屋業組合又ハ生絲輸出業組合ニ以上アル場合ニ於テハ之ヲ一箇ノ生絲問屋業組合又ハ生絲輸出業組合ト看做ス

第七十六條 日本中央蠶絲會ニ總會ヲ置ク

總會ハ會長、副會長、議員及特別議員ヲ以テ之ヲ組織ス

日本中央蠶絲會ノ議員ハ其ノ會員タル蠶絲業組合聯合會又ハ蠶絲業組合ニ於テ之ヲ選任シ特別議員ハ主務大臣之ヲ命ズ

特別議員ノ員數ハ議員定數ノ五分ノ一以内トス

前二項ニ規定スルモノノ外議員ノ選任及解任並ニ特別議員ノ命免ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十七條 日本中央蠶絲會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一人

副會長 一人又ハ二人

評議員 數人

前項ノ役員ハ議員及特別議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨グズ

第七十八條 日本中央蠶絲會ノ會員蠶絲業ノ統制ニ關スル施設ヲ行ハントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ日本中央蠶絲會ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

日本中央蠶絲會前項ノ承認ヲ爲スニハ其ノ總會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第三十六條第一項ノ規定ハ前項ノ總會ノ決議ニ之ヲ準用ス

第七十九條 第四條乃至第六條、第九條第一項、第十二條乃至第十四條、第二十八條、第三十三條乃至第三十五條、第三十六條第一項、第三十七條、第四十條、第六十四條及第六十七條ノ規定ハ日本中央蠶絲會ニ之ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

重要物産同業組合法ニ依リ道府縣ヲ地區トシ設置シタル蠶絲業者ノ同業組合ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ之ヲ本法ニ依ル蠶絲業組合ト看做ス

蠶絲法組合法 蠶絲業組合法施行期日ノ件 蠶絲業組合法施行令

一一九

蠶絲業組合法關係法規

第七十五條 日本中央蠶絲會ヲ設立セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員タル資格ヲ有スルモノノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ會則ヲ議定シ役員ヲ選任シ主務大臣ノ認可ヲ受ケベシ

第三十六條第一項ノ規定ハ前項ノ創立總會ノ決議ニ之ヲ準用ス

前二項ノ場合ニ於テ會員タル資格ヲ有スルモノノ員數ノ計算ニ付テハ前條第二項ノ規定ニ依リ會員タル資格ヲ有スル生絲問屋業組合又ハ生絲輸出業組合ニ以上アル場合ニ於テハ之ヲ一箇ノ生絲問屋業組合又ハ生絲輸出業組合ト看做ス

第七十六條 日本中央蠶絲會ニ總會ヲ置ク
總會ハ會長、副會長、議員及特別議員ヲ以テ之ヲ組織ス
日本中央蠶絲會ノ議員ハ其ノ會員タル蠶絲業組合聯合會又ハ蠶絲業組合ニ於テ之ヲ選任シ特別議員ハ主務大臣之ヲ命ズ
特別議員ノ員數ハ議員定數ノ五分ノ一以内トス
前二項ニ規定スルモノノ外議員ノ選任及解任並ニ特別議員ノ命免ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第七十七條 日本中央蠶絲會ニ左ノ役員ヲ置ク
會長 一人
副會長 一人又ハ二人
評議員 數人
前項ノ役員ハ議員及特別議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨グズ
第七十八條 日本中央蠶絲會ノ會員蠶絲業ノ統制ニ關スル施設ヲ行ハントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ日本中央蠶絲會ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス
日本中央蠶絲會前項ノ承認ヲ爲スニハ其ノ總會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス
第三十六條第一項ノ規定ハ前項ノ總會ノ決議ニ之ヲ準用ス
第七十九條 第四條乃至第六條、第九條第一項、第十二條乃至第十四條、第二十八條、第三十三條乃至第三十五條、第三十六條第一項、第三十七條、第四十條、第六十四條及第六十七條ノ規定ハ日本中央蠶絲會ニ之ヲ準用ス
附 則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
重要物産同業組合法ニ依リ道府縣ヲ地區トシ設置シタル蠶絲業者ノ同業組合ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ之ヲ本法ニ依ル蠶絲業組合ト看做ス
蠶絲法組合法 蠶絲業組合法施行期日ノ件 蠶絲業組合法施行令
一一九

日本中央蠶絲會成立シタルトキハ其ノ成立ノ日ヨリ一年以内ニ蠶絲業同業組合中央會ハ解散ヲ爲スコトヲ要ス

蠶絲業組合法施行期日ノ件

昭和六年七月八日勅令第七十四號

蠶絲業組合法ハ昭和六年七月十五日ヨリ之ヲ施行ス

蠶絲業組合法施行令

昭和六年七月九日勅令第七十五號

第一條 蠶絲業組合ノ經費ノ分賦又ハ過怠金ノ徵收ノ通知ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ其ノ蠶絲業組合ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ其ノ蠶絲業組合ノ組合長ハ遲滞ナク決定ヲ爲シ異議申立人ニ之ヲ通知スベシ

第二條 養蠶業組合（道府縣ノ區域ヲ地區トスル養蠶業組合ヲ除ク）ノ組合員ニシテ前條第二項ノ規定ニ依リ決定ヲ受ケタルモノ其ノ決定ニ不服アルトキハ地方長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ農林大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル地方長官ノ裁決ニ付テハ當該養蠶業組合ノ組合長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

道府縣ノ區域ヲ地區トスル養蠶業組合又ハ養蠶業組合以外ノ蠶絲業組合ノ組合員ニシテ前條第二項ノ規定ニ依リ決定ヲ受ケタルモノ其ノ決定ニ不服アルトキハ農林大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三條 前條第一項ノ規定ニ依リ地方長官ニ訴願セントスルトキハ其ノ決定ヲ爲シタル養蠶業組合ヲ經由スベシ

前項ノ規定ハ前條第三項ノ規定ニ依リ農林大臣ニ訴願セントスル場合ニ之ヲ準用ス

第四條 蠶絲業組合法第九條第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ地方長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第五條 異議ノ申立又ハ訴願若ハ行政訴訟ノ提起ハ處分ノ通知又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ起算シ三十日以内ニ之ヲ爲スベシ

異議ノ申立ニ關シテハ訴願法第五條、第八條第三項、第九條、第十條及第十二條乃至第十四條ノ規定ヲ準用ス

第六條 蠶絲業組合解散ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第七條 蠶絲業組合ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第八條 蠶絲業組合解散シタルトキハ組合長ヲ以テ其ノ清算人トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキ又ハ總會ニ於テ選任シタル者アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

算人トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキ又ハ總會ニ於テ選任シタル者アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依リ清算人タル者ナキトキハ行政官廳清算人ヲ選任ス清算人關ケタルトキ亦同ジ

第九條 清算人ハ蠶絲業組合ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

清算方法及財産處分ニ付テハ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第十條 行政官廳必要ト認ムルトキハ清算方法及財産處分ノ變更ヲ命ジ又ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第十一條 蠶絲業組合合併ヲ爲サントスルトキハ各蠶絲業組合ハ其ノ組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

合併ニ因リテ蠶絲業組合ヲ設立セントスル場合ニ於テハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關スル行爲ハ各蠶絲業組合ノ組合長共同シテ之ヲ爲シ各蠶絲業組合ノ總會ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス

前項ノ承認ハ各蠶絲業組合ノ總會ニ於テ組合員半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

第二項ノ總會ニ於テハ組合員ハ他ノ組合員ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席者ト看做ス

前項ノ規定ニ依ル委任ヲ受ケタル者ハ代理權ヲ證スル書面ヲ提出スベシ

第十二條 蠶絲業組合分割ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意ノ外分割ノ各蠶絲業組合ノ組合員又ハ組合員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ總會ヲ開キ命令ノ定ムル所ニ依リ各蠶絲業組合ノ權利義務ノ限度ヲ定メ定款ヲ議定シ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第十三條 合併後存續スル蠶絲業組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル蠶絲業組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル蠶絲業組合ノ權利義務ヲ承繼ス

分割ニ因リテ設立シタル蠶絲業組合ハ前條ノ規定ニ依リテ定リタル限度ニ於テ從前ノ蠶絲業組合ノ權利義務ヲ承繼ス

第十四條 第六條乃至第十條ノ規定ハ蠶絲業組合聯合會及日本中央蠶絲會ニ之ヲ準用ス但シ日本中央蠶絲會ノ解散ノ場合ニ於ケル會員ノ員數ノ計算ニ付テハ蠶絲業組合法第七十四條第二項ノ規定ニ依リ會員タル生絲問屋業組合又ハ生絲輸出業組合ニ以上アル場合ニ於テハ之ヲ一箇ノ生絲問屋業組合又ハ生絲輸出業組合ト看做ス

蠶絲業組合聯合會又ハ日本中央蠶絲會ノ會員前項ノ規定

蠶絲業組合法施行令 蠶絲業組合法施行規則

蠶絲業組合法施行令 蠶絲業組合法施行規則

蠶絲業組合法施行令 蠶絲業組合法施行規則

蠶絲業組合法施行令 蠶絲業組合法施行規則

蠶絲業組合法施行令 蠶絲業組合法施行規則

ニ依リ準用スル第六條ノ同意ヲ爲スニ付テハ其ノ總會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

附 則

本令ハ蠶絲業組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（昭和六年七月十五日ヨリ施行）

蠶絲業組合法施行規則

昭和六年七月十日農林省令第十七號

第一章 蠶絲業組合

第一條 蠶絲業組合法第二十二條第一項ノ規定ニ依ル養蠶實行組合ノ届出アリタルトキハ地方長官ハ養蠶實行組合

ノ名稱、事務所ノ所在地及設立ノ年月日ヲ告示スベシ其ノ告示シタル事項ニ付變更ノ届出アリタルトキ亦同ジ

第二條 蠶絲業組合ヲ設立セントスルトキハ組合員タル資格ヲ有スル者發起人ト爲リ他ノ組合員タル資格ヲ有スル者ニ地區、創立費用、收支豫算及經費ノ分賦收入方法ノ概要ヲ通知シ設立ノ同意ヲ求ムベシ

第三條 發起人創立總會ヲ召集セントスルトキハ少クとも二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ組合員タル資格ヲ有スル者ニ通知シ且之ヲ公告スベシ

第四條 創立總會ニ於テハ組合員タル資格ヲ有スル者ハ他ノ組合員タル資格ヲ有スル者ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行

フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席者ト看做ス
 前項ノ規定ニ依ル委任ヲ受ケタル者ハ代理權ヲ證スル書
 面ヲ提出スベシ
 創立總會ノ議長ハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ム
 第二十一條ノ規定ハ創立總會ニ之ヲ準用ス
 第五條 蠶絲業組合ノ負擔ニ歸スベキ創立費用及其ノ償却
 方法ハ創立總會ノ承認ヲ經ベシ
 第六條 創立總會終了シタルトキハ發起人ハ遲滞ナク設立
 認可申請書ヲ行政官廳ニ提出スベシ
 前項ノ認可申請書ニハ定款、收支豫算及經費ノ分賦收入
 方法ヲ記載シタル書面、設立ニ付法定ノ同意アリタルコ
 トヲ證スル書面、創立費用ノ明細書並ニ議事録ノ謄本ヲ
 添附スベシ
 第二十四條第四項ノ規定ハ第一項ノ認可申請書ニ之ヲ準
 用ス
 蠶絲業組合法第十七條第一項但書ノ場合ニ於テハ前二項
 ノ規定ニ依リ添附スベキ書類ノ外其ノ事由ヲ記載シタル
 書面ヲ添附スベシ
 第七條 農林大臣蠶絲業組合ノ設立ヲ命ジタルトキハ左ニ
 掲グル事項ヲ告示ス

二 區域
 三 創立委員ノ氏名又ハ名稱及住所
 前項第三號ノ創立委員ハ組合員タル資格ヲ有スル者ノ中
 ヨリ之ヲ命ズ
 第八條 創立委員ハ定款ヲ作成シ農林大臣ニ設立ノ認可ヲ
 申請スベシ
 蠶絲業組合成立シタルトキハ創立委員ハ互選ニ依リ最初
 ノ役員ノ就任アル迄組合長ノ職務ヲ行フ者ヲ定ムベシ
 前項ノ組合長ノ職務ヲ行フ者ハ遲滞ナク總會ヲ招集スベ
 シ
 前項ノ總會ニ於テハ役員ヲ選任シ收支豫算及經費ノ分賦
 收入方法ヲ議決スベシ
 蠶絲業組合ノ負擔ニ歸スベキ創立費用及其ノ償却方法ハ
 第三項ノ總會ノ承認ヲ經ベシ
 第九條 蠶絲業組合ノ定款ニハ蠶絲業組合法及同法ニ基キ
 テ發スル命令ニ規定スルモノノ外左ニ掲グル事項ヲ記載
 スベシ
 一 目的
 二 事業
 三 名稱
 四 地區

五 事務所ノ所在地

六 役員ニ關スル規定
 七 會議ニ關スル規定
 八 會計ニ關スル規定

第十條 行政官廳蠶絲業組合ノ設立ヲ認可シタルトキハ其
 ノ蠶絲業組合ノ名稱、地區、事務所ノ所在地及認可ノ年
 月日ヲ告示スベシ其ノ告示シタル事項ニ變更アリタルト
 キ亦同ジ

第十一條 農會、産業組合又ハ産業組合聯合會ニシテ蠶絲業

組合法第三十條第一項ノ規定ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受
 ケテ養蠶業組合ノ組合員ト爲ルコトヲ得ルモノノ左ノ如シ

一 町村農會、市農會又ハ郡農會
 二 販賣組合又ハ販賣組合聯合會

第十二條 蠶絲業組合法第三十條第一項ノ規定ニ依ル認可
 申請書ニハ會則又ハ定款ノ謄本及事業報告書並ニ左ニ掲
 グル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

一 町村農會、市農會又ハ販賣組合ニ在リテハ其ノ會員
 又ハ組合員ノ數並ニ會員又ハ組合員ニシテ養蠶ヲ爲ス
 モノ及養蠶實行組合ノ組合員タルモノノ數
 二 郡農會又ハ販賣組合聯合會ニ在リテハ其ノ會員タル
 町村農會ノ會員又ハ其ノ所屬組合タル販賣組合ノ組合

員ニ付前號ニ掲グル事項

前項ノ書類ノ外行政官廳ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命
 ズルコトアルベシ

第十三條 蠶絲業組合法第三十條第二項ノ規定ニ依ル認可
 申請書ニハ事業報告書及脱退ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ
 添附スベシ

第十四條 左ニ掲グル者ハ製絲業組合ノ組合員ヨリ之ヲ除
 外ス

一 玉絲又ハ野蠶絲ノミノ製造ヲ業トスル者
 二 座繰ノ方法ニ依リテノミ生絲ノ製造ヲ業トスル者

第十五條 蠶絲業組合ハ組合員名簿ヲ調製シ之ヲ事務所ニ
 備ヘ置クベシ

組合員名簿ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
 一 組合員ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所

二 經費賦課ノ基礎ト爲ルベキ事項
 組合員名簿ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ蠶絲業組合
 ハ遲滞ナク之ヲ訂正スベシ

組合員名簿ノ閲覧ヲ求ムル者アリタルトキハ蠶絲業組合
 ハ正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ拒ムコトヲ得ズ
 第十六條 總會ヲ招集セントスルトキハ少クとも二週間前
 ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ總會ヲ組織スル者

ニ通知スベシ

前項ノ期間ハ定款ヲ以テ之ヲ短縮スルコトヲ得

第十七條 總會ニ於テハ前條ノ規定ニ依リ通知シタル事項ニ付テノ議決ヲ爲スコトヲ得但シ定款ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十八條 總會ニ於テハ組合員ハ他ノ組合員ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席者ト看做ス

前項ノ規定ニ依ル委任ヲ受ケタル者ハ代理權ヲ證スル書面ヲ提出スベシ

第十九條 蠶絲業組合法第三十三條第一項ノ規定ニ依リ總會ノ議決ヲ經ベキ統制ニ關スル施設左ノ如シ但シ日本中央蠶絲會又ハ蠶絲業組合聯合會ノ決議ニ依リ行フモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 生産ノ調節ニ關スル施設

二 取引數量及取引價格ノ統制ニ關スル施設

第二十條 總會ノ議長ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外組合長ヲ以テ之ニ充ツ組合長事故アルトキ又ハ蠶絲業組合法第三十四條第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ム

第二十一條 總會ノ議長ハ議事録ヲ作り左ニ掲グル事項ヲ

記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名又ハ記名捺印スベシ

一 開會ノ日時及場所

二 總會ヲ組織スル者ノ員數

三 出席者ノ員數

四 議事ノ要領

五 議決シタル事項及賛否ノ數

第二十二條 蠶絲業組合ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第二十三條 收支豫算及經費ノ分賦收入方法ノ認可申請書ハ毎年二月末日迄ニ行政官廳ニ之ヲ提出スベシ但シ第八條第四項ノ規定ニ依リ議決シタル收支豫算及經費ノ分賦收入方法ノ認可申請書ハ總會終了後遲滞ナク之ヲ提出スベシ

第二十四條 蠶絲業組合法第三十三條第一項第三號、第七號及第八號ニ掲グル事項ノ認可申請書ニハ總會ノ議事録ノ謄本ヲ添附スベシ

定款、收支豫算及經費ノ分賦收入方法ノ變更竝ニ借入金ノ認可申請書ニハ理由書ヲ添附スベシ尙借入金ノ認可申請書ニハ利率、期間、擔保ノ有無及種別、借入先竝ニ償還ノ方法ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

第三十條 蠶絲業組合ノ合併ノ認可申請書ニハ法定ノ同意アリタルコトヲ證スル書面及合併後存續スル蠶絲業組合又ハ合併ニ因リテ設立スル蠶絲業組合ノ定款ヲ添附スベシ

第三十一條 蠶絲業組合法施行令第十二條ノ總會ニ於テハ分割ノ各蠶絲業組合ノ權利義務ノ限度ニ付テハ組合員ノ半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決シ分割ノ各蠶絲業組合ノ定款ニ付テハ各蠶絲業組合ノ組合員又ハ組合員タル資格ヲ有スル者各別ニ之ヲ議決ス

前項ノ定款ノ議事ハ分割ノ當該蠶絲業組合ノ組合員又ハ組合員タル資格ヲ有スル者半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

第三十二條 蠶絲業組合ノ分割ノ認可申請書ニハ法定ノ同意アリタルコトヲ證スル書面、分割ノ各蠶絲業組合ノ定款及其ノ權利義務ノ限度ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

第三十三條 行政官廳蠶絲業組合ノ解散、合併又ハ分割ヲ認可シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第二章 蠶絲業組合聯合會及日本中央蠶絲會

第三十四條 道府縣養蠶業組合聯合會ノ議員ハ其ノ會員タル養蠶業組合ニ於テ其ノ役員又ハ其ノ組合員タル養蠶業

統制ニ關スル施設ノ認可申請書ニハ其ノ施設ヲ行ハントスル事由及施設ノ概要ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

役員選任ノ認可申請書ニハ履歷書ヲ添附スベシ

第二十五條 事業報告及收支決算ハ次ノ事業年度内ニ總會ノ承認ヲ受ケ遲滞ナク行政官廳ニ之ヲ提出スベシ

第二十六條 左ノ場合ニ於テハ蠶絲業組合ハ遲滞ナク其旨行政官廳ニ届出ヅベシ

一 定款ノ施行又ハ事業ノ執行ニ關スル規程ヲ設ケ又ハ之ヲ改廢シタルトキ

二 役員ノ退任アリタルトキ

三 清算人ノ就任又ハ退任アリタルトキ

第二十七條 蠶絲業組合ノ役員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四箇年トス但シ補闕ノ役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トシ新ニ設ケタル役員ノ任期ハ他ノ役員ノ殘任期間トス

役員ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖モ後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十八條 蠶絲業組合ノ解散ノ認可申請書ニハ法定ノ同意アリタルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第二十九條 蠶絲業組合ノ清算結了シタルトキハ清算人ハ清算ニ關スル一切ノ書類ヲ添へ其旨行政官廳ニ届出ヅベシ

行組合、農會、産業組合若ハ産業組合聯合會ノ役員ノ中ヨリ之ヲ選任ス

全國養蠶業組合聯合會ノ議員ハ其ノ會員タル道府縣養蠶業組合ニ在リテハ其ノ役員中ヨリ、養蠶業組合ニ在リテハ其ノ役員又ハ其ノ組合員タル養蠶實行組合、農會、産業組合若ハ産業組合聯合會ノ役員ノ中ヨリ之ヲ選任ス

全國産業組合製絲組合聯合會ノ議員ハ其ノ會員タル産業組合製絲組合ニ於テ其ノ役員又ハ其ノ組合員タル産業組合若ハ産業組合聯合會ノ役員ノ中ヨリ之ヲ選任ス

前三項以外ノ蠶絲業組合聯合會ノ議員ハ其ノ會員タル蠶絲業組合ニ於テ其ノ役員又ハ組合員中ヨリ之ヲ選任ス

第三十五條 蠶絲業組合聯合會ノ會員ハ議員事故アル場合之ニ代ハルベキ豫備議員ヲ選任スベシ

前條ノ規定ハ前項ノ豫備議員ニ之ヲ準用ス
第三十六條 蠶絲業組合聯合會ノ議員及豫備議員ノ定數ハ會則ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第三十七條 第二十七條ノ規定ハ蠶絲業組合聯合會ノ議員及豫備議員ニ之ヲ準用ス

第三十八條 蠶絲業組合聯合會ノ議長ハ會則ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外會長ヲ以テ、會長事故アルトキ

ハ副會長ヲ以テ之ニ充ツ會長及副會長共ニ事故アルトキ又ハ蠶絲業組合法第六十八條ノ規定ニ依リ準用スル同法

第三十四條 第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ム

第三十九條 日本中央蠶絲會設立ノ認可ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク總會ヲ開キ初年度ノ收支豫算及經費ノ分賦收入方法ヲ議決シ其ノ認可申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第四十條 日本中央蠶絲會ノ議員ハ其ノ會員タル蠶絲業組合聯合會、生絲問屋業組合又ハ生絲輸出業組合ニ於テ蠶絲業組合聯合會ニ在リテハ其ノ役員又ハ議員ノ中ヨリ、生絲問屋業組合又ハ生絲輸出業組合ニ在リテハ其ノ役員又ハ組合員ノ中ヨリ之ヲ選任ス

第四十一條 日本中央蠶絲會ノ議員ノ定數ハ三十人以内トシ各會員ニ付之ヲ同數ニ配當スベシ

前項ノ會員ニ付テハ蠶絲業組合法第七十四條第二項ノ規定ニ依リ會員タル生絲問屋業組合又ハ生絲輸出業組合ニ以上アル場合ニ於テハ之ヲ各一箇ノ會員ト看做ス

第四十二條 日本中央蠶絲會ノ會員ハ議員事故アル場合之ニ代ハルベキ豫備議員ヲ選任スベシ

前二條ノ規定ハ前項ノ豫備議員ニ之ヲ準用ス
第四十三條 第二十七條ノ規定ハ日本中央蠶絲會ノ議員、

豫備議員及特別議員ニ之ヲ準用ス

第四十四條 日本中央蠶絲會ノ會員ノ行フ蠶絲業ノ統制ニ關スル施設ニシテ蠶絲業組合法第七十八條第一項ノ規定ニ依リ日本中央蠶絲會ノ承認ヲ受クルコトヲ要スルモノ

左ノ如シ但シ日本中央蠶絲會ノ決議ニ依リ行フモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 生産ノ調節ニ關スル施設
二 取引數量及取引價格ノ統制ニ關スル施設

日本中央蠶絲會ノ會員前項ニ規定スル施設ニ付承認ヲ受ケントスルトキハ其ノ施設ヲ行ハントスル事由及施設ノ概要ヲ具シ承認申請書ヲ日本中央蠶絲會ニ提出スベシ

前項ノ承認申請書ニハ總會ノ議事録ノ謄本ヲ添付スベシ
第四十五條 前條第一項ニ規定スル施設ニ付日本中央蠶絲會ノ會員ノ農林大臣ニ提出スル認可申請書ニハ日本中央蠶絲會ノ承認アリタルコトヲ證スル書面ヲ添付スベシ

第四十六條 第二條、第三條、第四條第三項、第四項、第五條、第六條第一項乃至第三項、第九條、第十條、第十六條、第十七條、第十九條、第二十一條乃至第二十九條

及第三十三條ノ規定ハ蠶絲業組合聯合會及日本中央蠶絲會ニ之ヲ準用ス但シ第三條及第十六條中二週間トアルハ蠶絲業組合法第五十七條第二號乃至第七號ノ蠶絲業組合

蠶絲業組合法施行規則

聯合會及日本中央蠶絲會ニ在リテハ之ヲ三週間トス

第七條及第八條ノ規定ハ蠶絲業組合聯合會ニ之ヲ準用ス
第三十六條及第三十八條ノ規定ハ日本中央蠶絲會ニ之ヲ準用ス但シ第三十八條中第六十八條トアルハ之ヲ第七十九條トス

第三章 雜則

第四十七條 蠶絲業組合及道府縣養蠶業組合聯合會ヨリ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ地方長官ヲ經由スベシ

第四十八條 左ノ場合ニ於テハ地方長官ハ農林大臣ニ報告スベシ
一 養蠶業組合ノ設立、解散、合併又ハ分割ヲ認可シタルトキ

二 蠶絲業組合法第十二條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ若ハ處分ヲ爲シ又ハ同法第十三條ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキ

三 養蠶實行組合ノ設立ノ届出アリタルトキ
四 蠶絲業組合法第三十三條第一項第三號又ハ第七號ニ掲グル事項ノ認可ヲ爲シタルトキ

第四十九條 蠶絲業組合法第十二條及第十三條ニ於テ行政官廳ト稱スルハ地方長官及農林大臣トス
蠶絲業組合法第六十八條及第七十九條ノ規定ニ依リ準用

スル同法第十二條及第十三條ニ於テ行政官廳ト稱スルハ道府縣養蠶業組合聯合會ニ在リテハ地方長官及農林大臣トシ其ノ他ノ蠶絲業組合聯合會及日本中央蠶絲會ニ在リテハ農林大臣トス

蠶絲業組合法第二十二條第一項ニ於テ行政官廳ト稱スルハ地方長官トス

蠶絲業組合法第二十七條第一項、第三十條、第三十三條第二項及第三十四條第三項、第四項ニ於テ行政官廳ト稱スルハ地方長官トス但シ道府縣ノ區域ヲ地區トスル養蠶業組合ニ付テハ農林大臣トス

蠶絲業組合法第四十五條、第五十一條、第五十六條、第六十八條及第七十九條ノ規定ニ依リ準用スル同法第二十七條、第三十三條第二項及第三十四條第三項、第四項ニ於テ行政官廳ト稱スルハ農林大臣トス

蠶絲業組合法施行令第六條、第八條第二項、第九條第二項、第十條、第十一條第一項及第十二條並ニ本則第二十五條、第二十六條及第二十九條ニ於テ行政官廳ト稱スルハ養蠶業組合(道府縣ノ區域ヲ地區トスル養蠶業組合ヲ除ク)ニ在リテハ地方長官トシ道府縣ノ區域ヲ地區トスル養蠶業組合及養蠶業組合以外ノ蠶絲業組合ニ在リテハ農林大臣トス

養蠶實行組合及農事實行組合登記取扱手續

昭和六年六月十六日司法省令第十六號
昭和七年九月二十八日司法省令第三十九號改正

第一條 養蠶實行組合及農事實行組合ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テ之ヲ取扱フ(昭和七年改正)

第二條 養蠶實行組合登記簿及農事實行組合登記簿ハ附録第一號様式ニ依リ地方裁判所長ニ於テ之ヲ調製シ登記所ノ請求ニ因リ交付スベシ(昭和七年改正)

第三條 登記簿ニハ豫メ丁數ヲ記入スベシ
第四條 受附帳ハ附録第二號様式ニ依リ之ヲ調製スベシ
第五條 事變ヲ避クル爲登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ヲ登記所外ニ持出シタルトキハ登記官吏ハ速ニ其ノ旨ヲ司法大臣ニ具申スベシ

第六條 裁判所又ハ豫審判事ヨリ申請書其ノ他ノ附屬書類提出ノ命令又ハ送付ノ囑託アリタルトキハ登記官吏ハ其ノ關係アル部分ニ限り之ヲ送付スベシ

第七條 登記簿ノ全部又ハ一部分が滅失シタルトキハ登記官吏ハ遲滞ナク其ノ事由、年月日、滅失シタル登記簿其ノ

養蠶實行組合及農事實行組合登記取扱手續

蠶絲業組合法施行令第十四條第一項ノ規定ニ依リ準用スル同令第六條、第八條第二項、第九條第二項及第十條並ニ本則第四十六條第一項ノ規定ニ依リ準用スル本則第二十五條、第二十六條及第二十九條ニ於テ行政官廳ト稱スルハ農林大臣トス

附 則

本令ハ蠶絲業組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(昭和六年七月十五日ヨリ施行)

重要物産同業組合法ニ依リ道府縣ヲ地區トシ設置シタル蠶絲業者ノ同業組合蠶絲業組合法ニ依ル蠶絲業組合ト爲ラントスル場合ニ於テハ組合會又ハ總會ヲ開キ蠶絲業組合ノ定款ヲ議定シ役員ヲ選任シ收支豫算及經費ノ分賦收入方法ヲ議決シ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ組合會又ハ總會ニ於テハ之ヲ組織スル者ノ半數以上出席シ其ノ表決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ議決スルコトヲ要ス
第六條第二項及第三項ノ規定ハ第二項ノ認可ノ申請ニ之ヲ準用ス

農林大臣蠶絲業組合法附則第二項ノ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ蠶絲業組合ノ名稱、地區、事務所ノ所在地及認可ノ年月日ヲ告示ス其ノ告示シタル事項ニ變更アリタルトキ亦同ジ

他登記ノ回復ニ必要ナル事項ヲ詳細ニ記載シ且回復登記期間ヲ豫定シ地方裁判所長ニ申報スベシ但シ區裁判所出張所ノ申報ハ管轄區裁判所ヲ經由スベシ

地方裁判所長前項ノ申報ヲ受ケタルトキハ相當ノ調査ヲ爲シタル後司法大臣ニ具申スベシ
第八條 登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類滅失ノ虞アルトキハ詳細其ノ狀況ヲ調査シ且適當ナル處理方法ヲ具シ前條ノ例ニ準ジ申報及具申ヲ爲スベシ

第九條 登記所ニハ印鑑簿、受附帳、申請書類送込帳及附本抄本證明書交付帳其ノ他必要ナル帳簿ヲ備フベシ
第十條 申請書、囑託書、通知書、許可書、管轄轉屬ニ因リ移送ヲ受ケタル登記簿謄本其ノ他附屬書類ハ受附番號ノ順序ニ依リ申請書類送込帳ニ之ヲ編綴スベシ

第十一條 印鑑ハ附録第三號様式ニ依リ之ヲ調製スベシ
第十二條 印鑑簿調製ノ様式及貼附ノ方法等ハ地方裁判所長之ヲ定ムベシ
第十三條 印鑑簿ハ永久ニ之ヲ保存スベシ
受附帳及申請書類送込帳ハ十年間其ノ他ノ帳簿ハ三年間之ヲ保存スベシ

前項ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス
第十四條 登記所ニ於テ登記ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ廢毀

セントストキハ目録ヲ作り地方裁判所長ニ申報スベシ
但シ區裁判所出張所ノ申報ハ管轄區裁判所ヲ經由スベシ
第十五條 登記ノ申請ハ申請人又ハ其ノ代理人登記所ニ出
頭シテ之ヲ爲スベシ

第十六條 代理人ニ依リテ申請又ハ請求ヲ爲ス場合ニ於テ
ハ其ノ權限ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第十七條 理事其ノ他法律ニ依リ登記ノ申請ヲ爲スベキ者
ハ就職後遲滞ナク其ノ印鑑ヲ登記所ニ提出スベシ改印ヲ
爲シタルトキ亦同ジ

第十八條 登記ヲ爲シ又ハ申請書其ノ他登記ニ關スル書面
ヲ作ルニハ字劃ヲ明瞭ニスベシ

年月日及番號ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ文字ヲ用フベシ
文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ズ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲
シタルトキハ其ノ字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ
括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其ノ削除ニ係ル文字ハ仍讀ミ得ベ
キ爲字體ヲ存スベシ

第十九條 申請書ガ數葉ニ涉ルトキハ申請人ハ每葉ノ綴目
ニ契印スベシ但シ其ノ者ガ多數ナルトキハ其ノ一人ノ契
印ヲ以テ足ル

第二十條 登記ノ申請書ニ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ
請求スル場合ニ於テハ申請人ハ其ノ原本ト共ニ原本ニ相

違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ添附スベシ

登記官吏ガ書類ノ原本ヲ還付スルトキハ其ノ謄本ニ原本
還付ノ旨ヲ記載シテ捺印スベシ

第二十一條 登記簿若ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽又
ハ登記簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ申請書ヲ
提出スベシ

第二十二條 登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽ヲ
請求スル場合ニ於テハ申請書ニ閱覽セントスル登記事項
又ハ書類ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スベシ

申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ
申請書ニ利害ノ關係ヲ説明スルニ足ルベキ事由ヲ記載シ
又ハ之ニ其ノ關係ヲ説明スルニ足ルベキ書面ヲ添附スベ
シ

第二十三條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル場合
ニ於テハ申請書ニ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル登記及
手數料ノ金額ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スベシ

抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ前項ニ掲グ
ル事項ノ外其ノ請求スル部分ヲ記載スベシ

第二十四條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ送付ヲ請求スル場合
ニ於ケル郵送料ハ郵便切手ヲ以テ之ヲ納付スベシ

第二十五條 登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナ

キコトノ證明ヲ請求スル者ハ申請書ニ通ヲ提出スベシ
前項ノ申請書ニハ證明ヲ請求スル事項ヲ記載シ申請人之
ニ署名捺印スベシ

登記官吏ハ申請書ノ一通ニ證明文ヲ附シ年月日ヲ記載シ
テ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ押捺シテ之ヲ申請人ニ交付
スベシ

第二十六條 登記ノ申請人ハ申請書ヲ提出シテ登記簿ニ
交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ申請書ニハ登記ノ件名ヲ記載シ申請人之ニ署名捺
印スベシ

登記官吏ハ附錄第四號様式ニ依リ登記簿ニ作製シテ之ヲ
申請人ニ交付スベシ

第二十七條 組合ガ其ノ主タル事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ
移轉シタル場合ニ於テ新所在地ノ登記所ニ移轉ノ登記ヲ
申請スルトキハ申請書ニ舊所在地ニ於ケル登記簿ノ謄本
ニシテ一用紙ノ全部ヲ謄寫シタルモノヲ添附スベシ

第二十八條 登記官吏ガ申請又ハ囑託ニ關スル書類ヲ受取
リタルトキハ遲滞ナク總テノ事項ヲ調査スベシ

第二十九條 登記官吏ガ申請書ヲ受取リタルトキハ受附帳
ニ登記ノ目的、申請人ノ氏名、受附ノ年月日及受附番號
ヲ記載シ申請書ニ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スベシ

養蠶實行組合及農事實行組合登記取扱手續

前項ノ規定ハ登記官吏ガ第十條ニ掲グル書類ヲ受取リタ
ル場合ニ之ヲ準用ス

第三十條 受附帳ニ申請人ノ氏名ヲ記載スル場合ニ於テ多
數ナルトキハ申請書ニ掲ゲタル筆頭ノ者ノミノ氏名及他
ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第三十一條 登記ヲ爲スニハ登記用紙中相當欄ニ登記事項
及登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スベシ

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載スルコトナクシテ登記
ヲ完了シタルトキハ其ノ空欄ニ朱線ヲ交叉スベシ但シ後
日登記スルコトアルベキ事項ノ爲設ケタル欄ニ付テハ此
ノ限ニ在ラズ

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載シタル場合ニ於テ同欄
内ニ餘白アルトキハ其ノ餘白ニ朱線ヲ交叉スベシ

豫備欄又ハ變更欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ左側ニ縱
線ヲ劃シテ餘白ト分界スベシ

第三十二條 申請書ニ記載シタル代理人ノ氏名、住所ハ登
記簿ニ之ヲ記載スルコトヲ要セズ

第三十三條 登記用紙中或欄ガ登記ヲ爲スベキ餘白ナキニ
至リタルトキハ新用紙中登記番號ノ左側ニ其ノ番號ノ第
二ナルコト竝ニ前用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及
其ノ繼續用紙ナルコトヲ記載シ且前用紙中登記番號ノ左

例ニ第一ノ文字竝ニ新用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及之ニ繼續スル旨ヲ記載スベシ
前用紙中他ノ欄ニ餘白アルトキハ其ノ欄ニ登記スベキ事項ニ付テハ仍之ニ登記ヲ爲スベシ
前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第三十四條 組合ノ設立ノ場合ヲ除ク外蠶絲業組合法第二十三條第二項ニ定メタル登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其ノ事由ヲ記載スベシ
破産法第二百二十二條及和議法第八條ノ規定ニ依ル登記ハ豫備欄ニ之ヲ爲スベシ

第三十五條 更正又ハ抹消ノ登記ハ其ノ登記用紙中變更欄ニ之ヲ爲スベシ

第三十六條 行政區劃又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ登記官吏ハ登記用紙中變更欄ニ新舊ノ名稱及變更アリタル旨ヲ記載シ之ニ捺印シ其ノ記載ヲ更正スルコトヲ要ス

第三十七條 蠶絲業組合法第二十六條ニ於テ準用スル非訟事件手續法第五十一條ノ二第一項ノ規定ニ依ル通知書ニハ登記ヲ爲シタル事件ノ表示及其ノ登記方蠶絲業組合法又ハ産業組合法ノ規定ニ依リ許スベカラザルモノナル

轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其ノ部分ニ屬スル登記簿ノ謄本及申請書其ノ他ノ附屬書類又ハ其ノ謄本ヲ乙登記所ニ移送スベシ

前項ノ場合ニ於テハ甲登記所ノ登記用紙中豫備欄ニ乙登記所ニ管轄變更シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ

第四十四條 前條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本及申請書其ノ他ノ附屬書類又ハ其ノ謄本ノ移送ヲ受ケタルトキハ乙登記所ハ登記簿ノ謄本ニ依リ抹消ニ係ラザル部分ノミノ登記ヲ移スベシ

登記簿ニ登記ヲ移スニハ登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其ノ左側ニ前登記管轄ノ表示ヲ爲シ前登記番號ヲ記載シ豫備欄ニ管轄變更ニ因リ登記ヲ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スベシ

第四十五條 登記用紙ヲ閉鎖スルニハ登記番號ヲ朱抹スベシ

第四十六條 登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽ハ登記官吏ノ面前ニ於テ之ヲ爲サシムベシ

第四十七條 登記簿ノ謄本ハ登記簿ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作り其ノ末尾ニ左ノ認證文ヲ記載シタルモノヲ添

養蠶實行組合及農事實行組合登記取扱手續

コトヲ記載スベシ(昭和七年改正)

第三十八條 蠶絲業組合法第二十六條ニ於テ準用スル非訟事件手續法第五十一條ノ四ノ規定ニ依リ抹消ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由ヲモ記載スベシ

第三十九條 蠶絲業組合法第二十六條ニ於テ準用スル非訟事件手續法第五十一條ノ六第二項ノ規定ニ依リ登記ノ更正ヲ爲ス場合ニ於テハ許可アリタル旨及其ノ年月日ヲモ記載スベシ

第四十條 變更、更正又ハ抹消ノ登記ヲ爲シタルトキハ變更、更正又ハ抹消スベキ登記事項ヲ朱抹スベシ但シ抹消ノ登記ヲ爲シタルニ因リ登記用紙ヲ閉鎖スベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

抹消ノ登記ヲ更正スル場合ニ於テハ抹消セラレタル登記ヲ復活スベシ

第四十一條 組合ガ其ノ主タル事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ移轉ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ

第四十二條 破産手續終結ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ但シ強制和議認可決定ノ確定ニ因リ破産手續終結シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

附シテ每葉ノ綴目ニ契印ヲ爲シ登記官吏之ニ年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ押捺スベシ

此ノ謄本ハ登記簿ニ依リ之ヲ作り茲ニ登記簿ト相違ナキコトヲ認證ス

前項ノ規定ハ登記簿ノ抄本ニ之ヲ準用ス但シ抄本用紙ハ半紙異紙ヲ用フベシ

第四十八條 登記簿ノ謄本ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外登記簿一用紙ノ全部ヲ遺漏ナク謄寫シテ之ヲ作ルベシ但シ請求ニ因リ抹消ニ係ラザル登記ノミヲ謄寫シテ之ヲ作ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ認證文ニ其ノ旨ヲ附記スベシ

登記簿ノ謄本ニ餘白アルトキハ其ノ部分ニ朱線ヲ交叉シ又ハ餘白ナルコトヲ表示スベシ

第四十九條 登記官吏ガ其ノ職務上過料ニ處セラルベキ者アルコトヲ知りタルトキハ遲滯ナク其ノ事件ヲ管轄地方裁判所長ニ通知スベシ

附 則

本令ハ蠶絲業組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(昭和六年七月十五日ヨリ施行)

附則(昭和七年九月二十八日司法省令第三十九號)本令ハ昭和七年法律第三十號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(昭

蠶絲業組合法關係法規

和七年十月一日ヨリ施行)

本令施行前調製シタル養蠶實行組合登記簿ハ既ニ登記ヲ爲シタルモノナルト否トヲ問ハズ當分ノ内其ノ儘之ヲ使用スルコトヲ得

本法施行前登記ヲ爲シタル事項ニシテ昭和七年法律第三十號附則第六條ノ規定ニ依リ登記ヲ要セザルニ至リタルモノハ本令施行後遲滞ナク之ヲ朱抹シ其ノ年月日及事由ヲ傍ニ朱書シ登記官吏捺印スベシ

附錄第一號(昭和七年改正)

養蠶實行組合(農事實行組合)登記簿

區 裁 判 所

紙數表紙ヲ除キ

枚

地方裁判所長

登記番號		第 號					登記	
月	日	一	二	三	四	五	六	七
		名	所	目	年	名		
記	官	務	所	的	立	事	由	清
及	印	在	在	的	日	所	及	算
登	登	地	地	的	ノ	ノ	年	人
第	第	ノ	ノ	ノ	氏	氏	月	ノ
一	一	氏	氏	氏	ノ	ノ	年	事
欄	欄	ノ	ノ	ノ	所	所	月	業
マ	マ	所	所	所	住	住	日	事
ヨ	ヨ	所	所	所	住	住	登	業
リ	リ	所	所	所	年	年	記	業
登	登	所	所	所	月	月	日	業
記	記	所	所	所	日	日	登	業
簿	簿	所	所	所	ノ	ノ	記	業
ハ	ハ	所	所	所	氏	氏	簿	業
既	既	所	所	所	ノ	ノ	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	所	所	既	業
登	登	所	所	所	住	住	ニ	業
記	記	所	所	所	年	年	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所	所	所	年	年	ニ	業
記	記	所	所	所	月	月	登	業
簿	簿	所	所	所	日	日	記	業
ハ	ハ	所	所	所	ノ	ノ	簿	業
既	既	所	所	所	所	所	ハ	業
ニ	ニ	所	所	所	住	住	既	業
登	登	所						

附錄第三號(用紙厚紙、十五種、橫三種)(昭和七年改正)

何郡(市)何町(村)何番地
 印鑑 何々養蠶實行組合(農事實行組合)
 何々(實格ヲ) 何
 何々(記ス) 何年何月何日生 某

附錄第四號

登記簿ノ種類	登記簿ノ種類	登記簿ノ種類	登記簿ノ種類	登記簿ノ種類	登記簿ノ種類	登記簿ノ種類	登記簿ノ種類
登記簿ノ番號	登記簿ノ番號	登記簿ノ番號	登記簿ノ番號	登記簿ノ番號	登記簿ノ番號	登記簿ノ番號	登記簿ノ番號
登記ノ件名	登記ノ件名	登記ノ件名	登記ノ件名	登記ノ件名	登記ノ件名	登記ノ件名	登記ノ件名
申請人ノ氏名、住所	申請人ノ氏名、住所	申請人ノ氏名、住所	申請人ノ氏名、住所	申請人ノ氏名、住所	申請人ノ氏名、住所	申請人ノ氏名、住所	申請人ノ氏名、住所
登記ノ年月日	登記ノ年月日	登記ノ年月日	登記ノ年月日	登記ノ年月日	登記ノ年月日	登記ノ年月日	登記ノ年月日
右登記簿ナルコトヲ證ス	右登記簿ナルコトヲ證ス	右登記簿ナルコトヲ證ス	右登記簿ナルコトヲ證ス	右登記簿ナルコトヲ證ス	右登記簿ナルコトヲ證ス	右登記簿ナルコトヲ證ス	右登記簿ナルコトヲ證ス
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
區裁判所	區裁判所	區裁判所	區裁判所	區裁判所	區裁判所	區裁判所	區裁判所

◎司法省令第十七號(昭和六年六月十六日)

蠶絲業組合法ニ於ケル行政官廳一覽表 (蠶絲局調査)

事項	關係條文	養蠶實行組合	道府縣養蠶及其他蠶絲業組合	日本中央蠶絲會
業務報告、定款變更等ノ監督命令	十二、六十八、七十九	地方長官	地方長官	農林大臣
決議ノ取消、事業ノ停止等	十三、六十八、七十九	地方長官	地方長官	農林大臣
設立ノ届出	二十二	地方長官	地方長官	農林大臣

大正十四年司法省令第二十號中「家畜保險組合登記簿」ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ
 養蠶實行組合登記簿
 附 則
 本令ハ蠶絲業組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 ◎司法省令第四十五號(昭和七年十月十日)
 大正十四年司法省令第二十號中「牧野組合登記簿」ノ次ニ左ノ三號ヲ加フ
 商業組合登記簿
 商業組合聯合會登記簿
 農事實行組合登記簿
 附 則
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

設立ノ認可	農會產業組合又ハ產業組合聯合會ノ養蠶組合ノ組合員ト爲ルコトノ認可又ハ之ヨリ脱退スルコトノ認可	三十	地方長官	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣
總會招集認可	總會決議(收支豫算、經費ノ分賦收入方法、統制施設等)ノ認可	三十一、四十五、五十一、五十六、六十八	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣
總會招集者指定		三十四ノ四項、四十五、五十一、五十六、六十八、七十九	地方長官	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣
解散、合併、分割ノ認可		令六、十一、十二、十四	地方長官	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣
清算人選任		令八ノ二項、十四	地方長官	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣
清算方法及財產處分ノ認可		令九ノ二項、十四	地方長官	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣
清算方法、財產處分、變更命令、清算人ノ解任		令十、十四	地方長官	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣
事業報告及收支決算ノ提出		規二十五、四十六	地方長官	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣
定款施行細則制定、役員退任等ノ届出		規二十六、四十六	地方長官	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣
清算結了届出		規二十九、四十六	地方長官	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣

養蠶實行組合解散届出報告ニ關スル件

特別議員任命	七十六					農林大臣
同業組合ノ蠶絲業組合ト爲ルコトノ認可	法附ノ二項					農林大臣

養蠶實行組合解散ノ場合ノ公示ニ關スル件

昭和七年六月蠶局第三二八號蠶絲局長通牒
 養蠶實行組合ノ解散ノ届出アリタル場合ハ蠶絲業組合法施行規則第一條ノ規定ノ趣旨ニ準ジ適宜ノ方法ヲ以テ公示方御取計相成様致度此段及通牒候也

養蠶實行組合解散届出報告ニ關スル件

昭和七年六月蠶局第三〇五號蠶絲局長通牒
 養蠶實行組合解散シ蠶絲業組合法第二十六條ノ規定ニ依リ準用スル民法第七十七條第一項ノ規定ニ依リ清算人ヨリ届出アリタル場合ハ其ノ都度組合名、解散年月日及解散ノ原因ヲ具シ報告相成度此段及通牒候也

蠶絲業組合ノ役員ノ選任ニ關スル件

昭和六年十月二十四日附蠶局第四四八號蠶絲局長通牒
 標記ノ件ニ關シテハ蠶絲業組合法第三十八條第三項、第四十五條、第五十一條、第五十六條、第六十六條第二項等ノ規定ニ依リ原則トシテ組合員又ハ議員中ヨリ之ヲ選任シ特別ノ事由アルトキハ其ノ他ノ者ヨリ選任スルコトヲ妨ゲザルコトト相成居候ニ付テハ特別ノ事情ナキ限り組合員又ハ議員中ヨリ選任スベキモノナルコトハ蠶絲業組合ノ自治的團體ナルニ鑑ミ當然ノ義ニ有之殊ニ監督ノ責ニ在ル府縣關係官吏ヲ役員ニ選任スルハ監督ノ徹底ヲ缺キ蠶絲業組合ノ自治的發達ヲ阻害スルノ嫌ナキニ非ザルヲ以テ可成之ヲ認めザル方針ニ致度此段及通牒候也
 追而組合員又ハ議員ニ非ザル者ヲ役員ニ選任シタル場合ニ於テハ認可申請書ニ其ノ特別ノ事由ヲ詳細附記セシムル様可然御指導相成度申添候

四 製絲業法關係法規

製絲業法

改正 昭和七年九月 七 日法律第二十九號
昭和八年三月二十九日法律第三十一號

第一條 本法ニ於テ製絲業者トハ命令ヲ以テ規定スル者ヲ除クノ外器械生絲ノ製造ヲ業トスル者ヲ謂フ

器械生絲ノ製造工場ヲ有スル産業組合及産業組合聯合會ハ命令ヲ以テ規定スルモノヲ除クノ外第二條乃至第十一條及附則第二項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ製絲業者ト看做ス(昭和八年法律第三十一號ヲ以テ本項ヲ改正)

玉絲ノ製造ヲ業トスル者ハ命令ヲ以テ規定スル者ヲ除クノ外第十二條乃至第二十七條ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ製絲業者ト看做ス(同上本項ヲ追加)

第二條 製造業者タラントスル者ハ主務大臣ノ免許ヲ受ケルベシ

前項ノ免許ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 主務大臣ハ製絲業者ニ對シ製絲業ノ統制上必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第四條 製絲業者免許ヲ受ケタル日ヨリ二年以内ニ事業ヲ開始セザルトキハ主務大臣ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

製絲業法

製絲業者引續キ二年以上其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ爲サザルトキハ主務大臣ハ其ノ免許ヲ取消シ又ハ其ノ事業ヲ制限スルコトヲ得

第五條 製絲業者ノ所爲ニシテ本法ニ基キテ發スル命令若ハ處分ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ免許ヲ取消シ又ハ其ノ事業ヲ制限シ若ハ停止スルコトヲ得

第六條 主務大臣又ハ地方長官取締上必要アリト認ムルトキハ製絲業者ニ對シ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ當該官吏ヲシテ事務所、營業所、工場、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ若ハ帳簿物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該官吏ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證票ヲ拂帶スベシ

第七條 第二條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

(一)本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル制限又ハ禁止ニ違反シタル者(同上本號ヲ削除)

一 第三條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

二 第四條第二項ノ規定ニ依ル制限又ハ第五條ノ規定ニ

依ル制限若ハ停止ノ處分ニ違反シタル者
三 正當ノ理由ナクシテ第六條ノ規定ニ依ル臨檢検査ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シ又ハ其ノ尋問ニ對シ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者(同上本條ヲ改正)

第九條 製絲業者正當ノ理由ナクシテ第六條ノ規定ニ依ル報告ヲ怠リタルトキハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條 製絲業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第十一條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ製絲業者ニ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ(同上以下ヲ追加)

第十二條 製絲業者ハ其ノ製絲業ノ改良發達ヲ圖ル爲共同ノ施設ヲ爲ス目的ヲ以テ生絲共同施設組合ヲ設立スルコトヲ得

第十三條 生絲共同施設組合ハ法人トス

第十四條 生絲共同施設組合ハ組合員ノ製造シタル生絲ニ

施設組合ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第十七條 本法ニ依リ登記スベキ事項ハ登記前ニ在リテハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十八條 本法ニ依リ登記スベキ事項ハ其ノ事實ノ生ジタル後二週間以内ニ之ヲ登記スベシ

登記スベキ事項ニシテ行政官廳ノ認可ヲ要スルモノハ其ノ認可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

第十九條 生絲共同施設組合ノ組合員タル資格ノ制限ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 生絲共同施設組合ヲ設立セントシル者ハ定款ヲ作成シテ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第二十一條 生絲共同施設組合ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載シ各設立者之ニ署名又ハ記名捺印スベシ

- 一 目的
- 二 名稱
- 三 組織
- 四 地區
- 五 事務所ノ所在地
- 六 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法
- 七 組合員ノ有スベキ出資口數ニ關スル規定
- 八 保證責任ノ組合ニ在リテハ保證金額ニ關スル規定

加工シ又ハ加工セズシテ其ノ生絲ノ共同販賣ヲ行フ
生絲共同施設組合ハ前項ノ事業ノ外左ノ事業ヲ行フコトヲ得

- 一 組合員ノ營業ニ必要ナル物ノ共同購入、共同設備ノ設置及資金ノ貸付
- 二 組合員ノ製造シタル生絲ノ検査
- 三 組合員ノ營業ニ關スル指導、研究及調査
- 四 前各號ニ掲グルモノノ外組合ノ目的ヲ達スルニ必要ナル施設

第十五條 生絲共同施設組合ノ組織ハ無限責任、有限責任及保證責任ノ三種トス

無限責任ノ組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハザル場合ニ於テ組合員ノ全員ガ連帶無限ノ責任ヲ負擔シ有責任ノ組合ニ在リテハ組合員ノ全員ガ其ノ出資額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔シ保證責任ノ組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハザル場合ニ於テ組合員ノ全員ガ其ノ出資額ノ外一定ノ金額(保證金額)ヲ限度トシテ責任ヲ負擔ス

第十六條 生絲共同施設組合ハ其ノ名稱中ニ生絲共同施設組合ナル文字及組合ノ組織ヲ示スベキ文字ヲ用フベシ
生絲共同施設組合ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ生絲共同

九 剩餘金處分及損失分擔ニ關スル規定

十 準備金ノ額及其ノ積立ノ方法

十一 組合員タル資格ニ關スル規定

十二 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定

十三 事業及其ノ執行ニ關スル規定

十四 役員ニ關スル規定

十五 會計ニ關スル規定

十六 組合ガ公告ヲ爲ス方法

十七 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

第二十二條 生絲共同施設組合ハ出資ノ第一回ノ拂込アリタル後二週間以内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スベシ

登記スベキ事項左ノ如シ

- 一 前條第一號乃至第四號、第六號、第八號、第十六號及第十七號ニ掲グル事項
- 二 事務所
- 三 出資ノ總口數及拂込ミタル出資ノ總額
- 四 無限責任ノ組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名又ハ名稱及住所
- 五 保證責任ノ組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名又ハ名稱、

住所及保證金額

六 設立認可ノ年月日
 七 理事及監事ノ氏名及住所
 前項ニ掲グル事項中ニ變更ヲ生ジタルトキハ其ノ登記ヲ爲スベシ但シ前項第三號ニ掲グル事項ニ付テハ毎事業年度末日ノ現在ニ依リ事業年度終了後一月以内ニ登記ヲ爲スコトヲ得

第二十三條 生絲共同施設組合ニハ理事及監事ヲ置クベシ理事及監事ハ總會ニ於テ之ヲ選任ス但シ組合設立當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムベシ
 第二十四條 組合員ハ總會ニ於テ各一個ノ議決權ヲ有ス但シ定款ノ定ムル所ニ依リ一人ニ付議決權總數ノ十分ノ三ヲ超エザル範圍内ニ於テ出資口數ニ應ジ二個以上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ得

第二十五條 生絲共同施設組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款ニ違反シタル組合員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得
 第二十六條 組合ノ事業又ハ組合財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ又ハ組合ノ行爲ガ法令、定款若ハ行政官廳ノ命令ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アルトキハ行政官廳ハ總會ノ決議ヲ取消シ、理事、監事若ハ清算人ヲ解任シ、組合ノ事業ヲ停止シ又ハ組合

ヲ解散スルコトヲ得

第二十七條 民法第四十四條第一項、第四十五條第二項第三項、第四十八條、第五十條、第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條、第五十九條、第六十一條第一項、第六十二條、第六十四條、第六十六條、第七十條、第七十三條、第七十四條、第七十八條乃至第八十一條及第八十四條第一號、非訟事件手續法第一百七條、第一百九條乃至第一百二十二條、第三百三十八條、第三百三十八條ノ三、第三百四十一條乃至第三百五十八條、第三百六十五條、第三百七十五條乃至第三百七十八條及第二百六條乃至第二百八條並ニ產業組合法第五條、第六條、第十條、第十一條第一項、第十二條、第十七條第一項、第十八條乃至第二十四條、第二十六條乃至第三十一條ノ三、第三十三條、第三十四條ノ二乃至第三十七條、第三十九條乃至第四十六條、第四十七條、第四十八條、第四十九條乃至第五十八條、第六十條、第六十條ノ二、第六十二條(第一項第四號ヲ除ク)、第六十三條第一項、第六十三條ノ二乃至第六十五條、第六十六條第一項、第六十七條、第六十八條、第七十條乃至第七十四條、第七十四條ノ二第一項、第九十三條ノ二及第四百四條ノ規定ハ生絲共同施設組合ニ之ヲ準用ス但シ民法第四十五條第三項及第四十八條第一項中一週間トア

銀行法第八條第四項中「產業組合」ノ下ニ「生絲共同施設組合」ヲ加フ

民法中準用條文

第四十四條第一項 法人ハ理事其他ノ代理人ガ其職務ヲ行フニ付キ他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責ニ任ズ
 第四十五條(第一項略)
 法人ノ設立ハ其主タル事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非ザレバ之ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ズ
 法人設立ノ後新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ一週間内ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第四十八條 法人ガ其事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ一週間内ニ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ同期間内ニ第四十六條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス
 同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其移轉ノミノ登記ヲ爲スコトヲ要ス
 第五十條 法人ノ住所ハ其主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第五十二條第二項 理事數人アル場合ニ於テ定款又ハ寄附行爲ニ別段ノ定ナキトキハ法人ノ事務ハ理事ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

ルハ二週間トシ同法第八十四條中二百圓トアルハ三百圓トシ非訟事件手續法第二百十條第二項中定款トアルハ定款及出資ノ第一回ノ拂込アリタルコトヲ證スル書面トシ產業組合法中主務大臣、地方長官又ハ監督官廳トアルハ行政官廳トシ同法第二十九條ノ二第一號中各組合員ノ氏名、住所トアルハ各組合員ノ氏名又ハ名稱及住所並ニ其ノ製絲工場ノ名稱、所在地及線絲機ノ釜數トス

附 則 (昭和七年法律第二十九號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和七年勅令第三百一十一號ヲ以テ昭和七年十月二十日ヨリ施行)
 本法施行ノ際現ニ製絲業者タル者又ハ其ノ承繼人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法施行ノ日ヨリ之ヲ本法ニ依リ免許ヲ受ケタル者ト看做ス

附 則 (昭和八年法律第三十一號)

本法施行ノ日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和八年勅令第壹百九十四號ヲ以テ昭和八年七月二十日ヨリ施行)
 登錄稅法第十九條第七號中「產業組合同中央會」ノ下ニ「生絲共同施設組合」ヲ、「產業組合法」ノ下ニ「製絲業法」ヲ加フ

日本勸業銀行法第十五條第三項及第三十二條第二項第三號、農工銀行法第七條ノ五及第二十三條第三號並ニ北海道拓殖

第五十三條 理事ハ總テ法人ノ事務ニ付キ法人ヲ代表ス但定款ノ規定又ハ寄附行爲ノ趣旨ニ違反スルコトヲ得ズ又社團法人ニ在リテハ總會ノ決議ニ從フコトヲ要ス

第五十四條 理事ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第五十五條 理事ハ定款、寄附行爲又ハ總會ノ決議ニ依リテ禁止セラレザルトキニ限り特定ノ行爲ノ代理ヲ他人ニ委任スルコトヲ得

第五十九條 監事ノ職務左ノ如シ

一 法人ノ財産ノ狀況ヲ監査スルコト

二 理事ノ業務執行ノ狀況ヲ監査スルコト

三 財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付キ不整ノ廉アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ總會又ハ主務官廳ニ報告スルコト

四 前號ノ報告ヲ爲ス爲メ必要アルトキハ總會ヲ召集スルコト

第六十一條第一項 社團法人ノ理事ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ召集スルコトヲ得

第六十二條 總會ノ召集ハ少クトモ五日前ニ其會議ノ目的タル事項ヲ示シ定款ニ定メタル方法ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第六十四條 總會ニ於テハ第六十二條ノ規定ニ依リテ豫メ通知ヲ爲シタル事項ニ付テノ決議ヲ爲スコトヲ得但定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第六十六條 社團法人ト或社員トノ關係ニ付キ議決ヲ爲ス場合ニ於テハ其社員ハ表決權ヲ有セズ

第七十條 法人ガ其債務ヲ完済スルコト能ハザルニ至リタルトキハ裁判所ハ理事若クハ債權者ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産ノ宣告ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ理事ハ直チニ破産宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第七十三條 解散シタル法人ハ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ其清算ノ終了ニ至ルマデ尙ホ存続スルモノト看做ス

第七十四條 法人ガ解散シタルトキハ破産ノ場合ヲ除ク外理事其清算人ト爲ル但定款若クハ寄附行爲ニ別段ノ定アルトキ又ハ總會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此限ニ在ラズ

第七十八條 清算人ノ職務左ノ如シ

一 現務ノ終了

二 債權ノ取立及ビ債務ノ辨濟

三 殘餘財産ノ引渡

清算人ハ前項ノ職務ヲ行フ爲メニ必要ナル一切ノ行爲ヲ

爲スコトヲ得

第七十九條 清算人ハ其就職ノ日ヨリ二箇月内ニ少クトモ三回ノ公告ヲ以テ債權者ニ對シ一定ノ期間内ニ其請求ノ申出ヲ爲スベキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス但其期間ハ二箇月ヲ下ルコトヲ得ズ

前項ノ公告ニハ債權者ガ期間内ニ申出ヲ爲サザルトキハ其債權ハ清算ヨリ除斥セラレベキ旨ヲ附記スルコトヲ要ス但清算人ハ知レタル債權者ヲ除斥スルコトヲ得ズ

清算人ハ知レタル債權者ニハ各別ニ其申出ヲ催告スルコトヲ要ス

第八十條 前條ノ期間後ニ申出デタル債權者ハ法人ノ債務完済ノ後未ダ歸屬權利者ニ引渡サザル財産ニ對シテノミ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十一條 清算中ニ法人ノ財産ガ其債務ヲ完済スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキハ清算人ハ直チニ破産宣告ノ請求ヲ爲シテ其旨ヲ公告スルコトヲ要ス

清算人ハ破産管財人ニ其事務ヲ引渡シタルトキハ其任ヲ終リタルモノトス

本條ノ場合ニ於テ既ニ債權者ニ支拂ヒ又ハ歸屬權利者ニ引渡シタルモノアルトキハ破産管財人ハ之ヲ取戻スコトヲ得

第八十四條 法人ノ理事、監事又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上二百圓以下ノ過料ニ處セラレ

一 本章ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

非訟事件手續法中準用條文

第一百十七條 法人ノ登記ニ付テハ法人ノ事務所所在地ノ區裁判所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第一百十九條 各登記所ニ法人登記簿及ビ夫婦財産契約登記簿ヲ備フ

第二百十條 法人設立ノ登記ハ理事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ定款、理事ノ資格ヲ證スル書面及ビ主務官廳ノ許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第二百十一條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ビ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許可書又ハ其ノ認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル理事又ハ假理事ガ同一登記所ニ第一項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其資格ヲ證スル書面

ヲ添附スルコトヲ要セズ
第二百二十二條 法人ノ解散ノ登記ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ解散ノ事由ヲ證スル書面及ビ理事ガ清算人タラザル場合ニ於テハ清算人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第三百三十八條 左ニ掲ゲタル者ハ清算人トシテ之ヲ選任スルコトヲ得ズ

- 一 未 成 年 者
- 二 禁治産者及ビ準禁治産者
- 三 剝奪公権者及ビ停止公権者
- 四 裁判所ニ於テ解任セラレタル清算人
- 五 破 産 者

第三百三十八條ノ三 第二百二十九條ノ三及ビ第二百二十九條ノ四ノ規定ハ裁判所ガ清算人又ハ前條ノ規定ニ依リ検査ヲ爲スベキ者ヲ選任シタル場合ニ之ヲ準用ス

(第二百二十九條ノ三) 商法第二百二十四條又ハ第九十八條ノ規定ニ依リ裁判所ガ検査役ヲ選任シタル場合ニ於テハ會社ヲシテ之ニ報酬ヲ與ヘシムルコトヲ得其額ハ取締役及ビ監査役ノ陳述ヲ聽キ裁判所之ヲ定ム

第四百一十一條 各登記所ニ各商業登記簿ノ見出帳ヲ備フ

適當ナル新聞紙ナシト認ムルトキハ新聞紙上ノ公告ニ代ヘ登記所及ビ其管轄内ノ市町村役場ノ揭示場ニ公告ヲ爲スコトヲ得

第四百十七條 登記スベキ事項ノ登記、其變更又ハ消滅ノ登記ハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外當事者ノ申請アルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第四百十八條 當事者ハ登記ヲ受ケタル後其登記ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ管轄登記所ニ其更正ヲ申請スルコトヲ得

第四百十八條ノ二 當事者ハ登記ヲ受ケタル後其登記ガ商法又ハ本法ノ規定依リテ許スベカラザルモノナルコトヲ發見シタルトキハ管轄登記所ニ其抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四百十九條 登記ノ申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス
申請書ニハ左ノ記項ヲ記載シ申請人又ハ其代理人之ニ署名、捺印スベシ

- 一 申請人ノ氏名、住所、會社ガ申請人ナルトキハ其商號及ビ本店又ハ支店
- 二 代理人ニ依リテ申請ヲ爲ストキハ其氏名、住所
- 三 登記ノ目的及ビ事由

第四百二十二條 登記所ハ何人ニモ登記簿ノ閲覧ヲ許シ又ハ手數料ヲ納付スルトキハ之ニ其謄本若クハ抄本ヲ交付スベシ

登記所ハ登記上利害ノ關係ヲ疏明シテ申請ヲ爲シタル者ニハ其ノ關係アル部分ニ限り登記簿ノ附屬書類ノ閲覧ヲ許スベシ

郵送料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ請フトキハ登記所ハ之ヲ送付スベシ

第四百十三條 登記所ハ申請ニ因リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ爲スベシ

第四百十四條 登記シタル事項ノ公告ハ官報及ビ新聞紙上ニ少クモ一回之ヲ爲スコトヲ要ス

公告ハ之ヲ掲載シタル最終ノ官報及ビ新聞紙發行ノ日ノ翌日之ヲ爲シタルモノト看做ス

第四百十五條 區裁判所ハ毎年十二月ニ翌年登記事項ノ公告ヲ掲載セシムベキ新聞紙ヲ選定シ官報及ビ新聞紙ヲ以テ之ヲ公告スベシ

公告ヲ掲載セシムベキ新聞紙ガ休刊又ハ廢刊ヲ爲ストキハ更ニ他ノ新聞紙ヲ選定シ前項ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ公告スベシ

第四百十六條 區裁判所ハ其管轄内ニ公告ヲ爲サシムルニ

四 年 月 日
五 登記所ノ表示

第五百十條 本章ノ規定ニ依リ連署ヲ以テ申請ヲ爲スベキ場合ニ於テ正當ノ事由ニ因リ連署スルコト能ハザル者アルトキハ其他ノ者ノミニテ申請ヲ爲スコトヲ得

連署ヲ爲スコト能ハザル事由ハ之ヲ證明スルコトヲ要ス
第五百十條ノ二 官廳ノ許可ヲ要スル事項ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ官廳ノ許可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第五百十條ノ三 本店及ビ支店ノ所在地ニ於テ登記スベキ事項ニ付支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ申請スルニハ申請書ニ本店ノ所在地ニ於テ爲シタル登記ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス此場合ニ於テハ各本條ニ定メタル書類ハ之ヲ添附スルコトヲ要セズ

第五百十一條 登記所ハ登記ノ申請ガ商法又ハ本章ノ規定ニ適セザルトキハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ却下スベシ此決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ決定ハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ之ヲ申請人ニ送達スルコトヲ要ス
第五百十一條ノ二 登記所ハ登記ヲ爲シタル後其登記ガ商法又ハ本法ノ規定ニ依リテ許スベカラザルモノナルコト

ヲ發見シタルトキハ登記ヲ爲シタル者ニ對シ一ヶ月ヲ超
エザル期間ヲ定メ其期間内ニ異議ノ申立ナキトキハ登記
ヲ抹消スベキ旨ヲ通知スベシ

登記ヲ爲シタル者ノ住所又ハ居所ガ知レザルトキハ前項
ノ通知ニ代ヘ登記事項ノ公告ト同一ノ方法ヲ以テ公告ス
ベシ

登記所ハ右ノ外相當ト認ムル新聞紙ニ同一ノ公告ヲ掲載
セシムルコトヲ得

第五百一十一條ノ三 異議ノ申立アリタルトキハ登記所ハ理
由ヲ附シタル決定ヲ以テ其裁判ヲ爲スベシ

前項ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執
行停止ノ效力ヲ有ス

第五百一十一條ノ四 異議ノ申立ナキトキ又ハ異議ヲ却下ス
ル裁判ガ確定シタルトキハ登記所ハ職權ヲ以テ登記ヲ抹
消スベシ

第五百一十一條ノ五 前三條ノ規定ハ本店及ビ支店ノ所在地
ニ於テ登記スベキ事項ノ登記ニ付テハ本店ノ所在地ニ於
テ爲シタル登記ニノミ之ヲ適用ス

前項ノ場合ニ於テ本店所在地ノ登記所ガ登記ヲ抹消シタ
ルトキハ遲滞ナク其旨ヲ支店所在地ノ登記所ニ通知スベ
シ

支店所在地ノ登記所ガ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞
ナク登記ヲ抹消スベシ

第五百一十一條ノ六 登記所ハ登記ヲ爲シタル後其登記ニ錯
誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ遲滞ナク登記ヲ
爲シタル者ニ其旨ヲ通知スベシ但其錯誤又ハ遺漏ガ登記
所ノ過誤ニ出デタルトキハ此限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テハ登記所ハ遲滞ナク地方裁判所長
ノ許可ヲ得テ登記ノ更正ヲ爲スベシ

第五百一十四條 商業登記簿ノ全部又ハ一部ガ滅失シタル場
合ニ於テハ司法大臣ハ一定ノ期間ヲ定メテ登記ノ回復ニ
必要ナル處分ヲ命ズルコトヲ得

第五百一十五條 司法大臣ハ數個ノ登記所ノ管轄ニ屬スベキ
商業登記ノ事務ヲ其一登記所ニ委任スルコトヲ得

第五百一十六條 登記簿ノ調製其他登記ニ關スル施行細則ハ
司法大臣之ヲ定ム

第五百一十七條 不動産登記法第十條、第十三條、第十八條、
第二十條、第二十二條、第二十四條及ビ第五十九條ノ規
定ハ商業登記ニ之ヲ準用ス

(不動産登記法第十條) 登記所ニ於テ其事務ヲ停止セ
ザルコトヲ得ザル事故ノ生ジタルトキハ司法大臣ハ期
間ヲ定メテ其停止ヲ命ズルコトヲ得

タルトキ亦同ジ

第五百一十八條 商號ノ登記ハ同市町村内ニ於テハ同一ノ營
業ノ爲メ他人ガ登記シタルモノト判然區別シ得ルトキニ
非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第五百一十五條 登記所ガ第五百一十一條ノ六第二項ノ規定ニ
依リ商號ニ關スル登記ノ更正ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク
登記ヲ爲シタル者ニ其旨ヲ通知スベシ

第五百一十五條 清算人ニ關スル登記ハ清算ヲ爲スベキ會社
ノ登記所ノ管轄トス

前項ノ登記ハ會社ノ登記ニ記載シテ之ヲ爲ス

第五百一十六條 清算人ノ選任ノ申請書ニハ其選任及
ビ商法第九十條第二號並ニ第三號ニ掲ゲタル事項ヲ證ス
ル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第五百一十七條 商法第九十條ニ掲ゲタル事項ノ變更ノ登記
ハ會社ヲ代表スベキ現任清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス
申請書ニハ變更ノ理由ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要
ス

第五百一十八條 清算ノ終了ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ
清算人ガ其計算ノ承認ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附
スルコトヲ要ス

第二百六條 民法第八十四條、第一千七百七條及ビ民法施行法

(同第十三條) 登記官吏ガ其職務ノ執行ニ付キ申請人
其他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其損害ガ登記官吏ノ
故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生ジタル場合ニ限り之
ヲ賠償スル責ニ任ズ

(同第十八條) 登記簿ニハ地方裁判所長其枚數ヲ表紙
ノ裏面ニ記載シ職氏名ヲ署シ職印ヲ捺捺シ且毎葉ノ綴
目ニ職印ヲ以テ契印ヲ爲スコトヲ要ス

(同第二十條) 登記簿、見出帳、共同人名簿及ビ圖面
ハ永久ニ之ヲ保存スルコトヲ要ス

申請書其他ノ附屬書類ハ申請書受付ノ日ヨリ十年間之
ヲ保存スルコトヲ要ス

(同第二十二條) 登記簿及ビ其附屬書類ハ事變ヲ避ケ
ル爲メニスル場合ヲ除ク外登記所外ニ持出スコトヲ得
ズ但第二十條第二項ニ掲ゲタル書類ニ付テハ裁判所又
ハ豫審判事ノ命令又ハ囑託アリタルトキハ此限ニ在ラ
ズ

(同第二十四條) 登記簿及ビ其附屬書類ノ滅失スル虞
アルトキハ司法大臣ハ必要ナル處分ヲ命ズルコトヲ得

(同第五十九條) 行政區劃又ハ其名稱ノ變更アリタル
トキハ登記簿ニ記載シタル行政區劃又ハ其名稱ハ當然
之ヲ變更シタルモノト看做ス字又ハ其名稱ノ變更アリ

第二十二條及ビ商法第十八條第二項、第二百六十二條、第二百六十二條ノ二、第五百三十六條及ビ商法施行法第十一條第二項、第二十七條、第三十九條第二項、第五十四條、第六十條第二項、第六十九條、第七十五條第三項、第八十七條ニ定メタル事件ハ過料ニ處セラレベキ者ノ住所地ノ地方裁判所ノ管轄トス

第二百七條 過料ノ裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スベシ

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前當事者ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムベシ

當事者及ビ檢事ハ過料ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

手續ノ費用ハ過料ニ處スル言渡アリタル場合ニ於テハ其言渡ヲ受ケタル者ノ負擔トシ其他ノ場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス

抗告裁判所ガ當事者ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタルトキハ抗告手續ノ費用及ビ前審ニ於テ當事者ノ負擔ニ歸シタル費用ハ國庫ノ負擔トス

第二百八條 過料ノ裁判ハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス此命令ハ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效力ヲ有ス

過料ノ裁判ノ執行ハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス但執行ヲ爲ス前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セズ

産業組合法中準用條文

第五條 産業組合ニハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外商法及商法施行法中商人ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條 産業組合ニハ所得稅、營業收益稅及營業稅ヲ課セズ

第十條 産業組合ハ其ノ組合員ノ數ヲ限定スルコトヲ得ズ

第十一條 第一項 出資一口ノ金額ハ均一ニ之ヲ定ムベシ

第十二條 組合ガ其ノ設立ノ許可ヲ受ケタルトキハ滯滞ナク各組合員ヲシテ第一回ノ拂込ヲ爲サシムベシ

第十七條 第一項 組合員ハ出資一口以上ヲ有スベシ

第十八條 組合員ハ組合ニ拂込ムベキ出資額ニ付相殺ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十九條 組合員ハ組合ノ承諾アルニ非ザレバ其ノ持分ヲ讓渡スコトヲ得ズ

組合員ニ非ザル者ニシテ持分ヲ讓受ケムトスルトキハ加入ノ例ニ依ルベシ

第二十一條 組合員ハ持分ヲ共有スルコトヲ得ズ

第二十二條 持分ノ讓受人ハ其ノ持分ニ付讓渡人ノ權利義務ヲ承繼ス

第二十二條 新ニ組合ニ加入シタル組合員ハ其ノ加入前ニ

二 各組合員ノ出資口數

三 各組合員ノ拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日

四 出資各口ノ取得ノ年月日

五 保證責任組合ニ在リテハ各組合員ノ保證金額

第三十條 理事ハ通常總會ノ會日ヨリ一週間前ニ財産目錄、貸借對照表、事業報告書及餘剰金處分案ヲ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フベシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ゲタル書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第三十一條 理事ハ前條第一項ニ掲ゲル書類及監事ノ意見書ヲ通常總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ

第三十一條ノ二 産業組合ガ其ノ組合員ニ對シテ爲ス通知又ハ催告ハ組合員名簿ニ記載シタル組合員ノ住所又ハ其ノ者ガ組合ニ通知シタル住所ニ宛ツルヲ以テ足ル

前項ノ通知又ハ催告ハ通常其ノ到達スベカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス

第三十一條ノ三 理事ハ少クトモ毎事業年度一回通常總會開クコトヲ要ス

第三十三條 監事ハ理事其ノ他組合ノ事務員ト相兼ヌルコトヲ得ズ

第三十四條ノ二 理事缺ケタルトキハ總會ノ招集ハ監事之

生シタル組合ノ債務ニ付テモ亦責任ヲ負擔ス

第二十三條 組合員ハ總會ノ招集手續又ハ其ノ決議ノ方法ガ法令又ハ定款ニ違背スト認ムルトキハ決議ノ日ヨリ一箇月内ニ其ノ決議ノ取消ヲ地方長官ニ請求スルコトヲ得

第二十四條 組合員ニシテ總會ノ招集手續又ハ其ノ決議ノ方法ガ法令又ハ定款ニ違背スト認ムルトキハ決議ノ日ヨリ一箇月内ニ其ノ決議ノ取消ヲ地方長官ニ請求スルコトヲ得

第二十六條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十七條 理事又ハ監事ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十八條 理事及監事ノ選任及解任ハ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ爲ス但シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ決ス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十九條 理事ハ定款及總會ノ決議ヲ各事務所ニ備ヘ置キ且組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クベシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ゲタル書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第二十九條ノ二 組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 各組合員ノ氏名、住所

ヲ行フ
 理事が第二十三條ノ規定ニ依ル請求アリタル日ヨリ二週
 間内ニ正當ノ事由ナクシテ總會招集ノ手續ヲ爲サザルト
 キハ監事ハ其ノ總會ヲ招集スベシ
 第三十五條 組合ガ理事ト契約ヲ爲ス場合ニ於テハ監事組
 合ヲ代表ス組合ト理事トノ間ノ訴訟ニ付テモ亦同シ
 第三十六條 總會ノ議決ハ本法又ハ定款ニ別段ノ定アル場
 合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ
 之ヲ爲ス
 第三十七條 組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得
 此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス但シ組合員ニ非ザレ
 バ代理人タルコトヲ得ズ
 代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スベシ
 第三十九條 定款ノ變更ハ總會ノ議決ニ依ルベシ
 第二十八條ノ規定ハ前項ノ議決ニ之ヲ準用ス
 定款ノ變更ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ効
 カヲ生ゼズ
 第四十條 組合ガ出資一口ノ金額ノ減少ノ議決ヲ爲シタル
 トキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目録及貸借對照
 表ヲ作ルベシ
 組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アラバ一定

ノ期間内ニ之ヲ述ベキ旨ヲ定款ノ定ムル方法ニ從ヒテ
 公告シ且知レタル債權者ニ各別ニ之ヲ催告スベシ但シ其
 ノ期間ハ二箇月ヲ下ルコトヲ得ズ
 第四十一條 債權者ガ前條第二項ノ期間内ニ出資ノ減少ニ
 對シテ異議ヲ述ベザリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看
 做ス
 債權者ガ異議ヲ述ベタルトキハ組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又
 ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非ザレバ出資ヲ減少スルコトヲ
 得ズ
 第四十二條 前二條ノ規定ハ保證責任組合ガ組合員ノ保證
 金額ヲ減少スル場合ニ之ヲ準用ス
 第四十三條 組合員ガ其ノ出資ノ拂込ヲ終ル迄ハ之ニ配當
 スベキ剩餘金ハ其ノ拂込ニ充ツベシ但シ取扱ヒタル物ノ
 數量、價格其ノ他事業ノ分量ニ對シテ配當スベキ剩餘金
 ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
 組合員ニ配當スベキ剩餘金又ハ持分ノ計算ニ付テハ計算
 ノ基礎トナルベキ金額ニシテ計算上不便ナル端數金額ハ
 之ヲ切捨ツルコトヲ得
 第四十四條 組合ハ損失ヲ填補シタル後ニ非ザレバ剩餘金
 ノ處分ヲ爲スコトヲ得ズ
 剩餘金配當ニ關スル制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十五條 組合ハ第五十三條ノ場合ヲ除クノ外持分ノ拂
 戻ヲ爲スコトヲ得ズ
 第四十六條 組合ハ定款ヲ以テ定メタル準備金ノ額ニ達ス
 ル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツベシ
 第四十七條 組合ノ事業年度ハ一箇年トス但シ定款ヲ以テ
 六箇月ト爲スコトヲ得
 第四十八條 組合ハ組合員ノ持分ヲ取得シ又ハ質權ノ目的
 トシテ之ヲ受クルコトヲ得ズ
 第四十九條 組合員ノ加入ハ無限責任組合ニ在リテハ總組
 合員ノ同意アルコトヲ要ス
 前項ノ同意ニ付テハ組合ハ總組合員ニ對シ加入ニ異議ア
 ラバ二週間ヲ下ラザル一定ノ期間内ニ之ヲ述ベキ旨ヲ
 催告スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ其ノ期間内ニ異議ヲ述
 ベサル者ハ同意ヲ爲シタルモノト看做ス
 第五十條 定款ヲ以テ組合ノ存立時期ヲ定メタルト否トヲ
 問ハズ組合員ハ六箇月前ニ豫告ヲ爲シ事業年度ノ終ニ於
 テ脱退スルコトヲ得但シ第四十七條但書ノ規定ニ依リ事
 業年度ヲ六箇月ト爲シタル組合ニ在リテハ豫告ハ三箇月
 前ニ之ヲ爲スヲ以テ足ル
 前項ノ豫告期間ハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得但シ
 二箇年ヲ超ユルコトヲ得ス

第五十一條 組合員ハ左ノ事由ニ因リテ脱退ス
 一 組合員タル資格ノ喪失
 二 死 亡
 三 破 産
 四 禁 治 産
 五 除 名
 第五十二條 除名ノ事由ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム
 除名ハ總會ノ議決ニ依ル但シ除名シタル組合員ニ其ノ旨
 ヲ通知スルニ非ザレバ之ヲ以テ其ノ組合員ニ對抗スルコ
 トヲ得ズ
 第二十八條ノ規定ハ前項ノ議決ニ之ヲ準用ス
 第五十三條 脱退シタル組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其
 ノ持分ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得
 第五十四條 脱退シタル組合員ノ持分ハ其ノ脱退シタル事
 業年度ノ終ニ於ケル組合財産ニ依リテ之ヲ定ム但シ定款
 ノ定ムル所ニ依リ脱退當時ノ財産ニ依リテ之ヲ定ムルコ
 トヲ得
 第五十五條 持分ノ拂戻ハ事業年度ノ終ヨリ三箇月内ニ之
 ヲ爲スベシ但シ前條但書ノ場合ニ於テハ脱退ノ時ヨリ三
 箇月内ニ之ヲ爲スベシ
 持分拂戻ノ請求權ハ前項ノ期間經過ノ後二箇年間之ヲ行